

厚生労働科学研究費補助金

エイズ対策政策研究事業

職域での健診機会を利用した検査機会拡大のための新たなHIV検査体制の構築に向けた研究

令和4年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 横幕 能行

独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター

令和5（2023）年 3月

## 目 次

I. 総括研究報告	
職域での健診機会を利用した検査機会拡大のための新たな HIV 検査体制の構築に向けた研究	1
横幕 能行	
II. 分担研究報告	
1. 4企業による意識調査の解析（R4年度調査より）	6
高橋 秀人	
2. 職域におけるHIV対策法令・ガイドラインの現状と新たなHIV検査体制構築のための 今後の法令等の在り方に関する研究	98
増田 将史	
3. 職場におけるHIV検査実施に必要とされる配慮と環境に関する研究	103
生島 嗣	
4. 健診センターにおけるオプション検査としての実施の可能性の検討	106
石丸 知宏	
5. 職域での健診機会を利用した検査機会拡大のための新たな HIV 検査体制の構築に 向けた研究	127
今橋 真弓	
III. 研究成果の刊行に関する一覧	132

職域での健診機会を利用した検査機会拡大のための  
新たなHIV検査体制の構築に向けた研究

研究代表者 横幕 能行  
名古屋医療センター エイズ総合診療部長

### 研究要旨

職域で HIV 感染症/AIDS 及び梅毒の検査機会の提供を試みた。参画企業の担当者によって広報及び知識普及啓発を行った。個人端末からの web 申し込みによる郵送検査キットの利用により利用者に不利益なく検査機会を提供することが可能であった。また、健診センターにおいても、郵送検査キットを利用してオプション検査として検査機会を提供することが可能であることが示された。労使双方に健康情報の取扱に不安不信が大きく、現在、プライバシー確保に格段の配慮を求められる HIV 検査を広く職域で実施することは困難な状況であることも示されたが、現在、策定が進められている健康取扱規程が各企業で整えられ、労使及び産業保健従事者で HIV 感染症/AIDS が他の疾病と同等に扱われるようになれば、HIV 感染症/AIDS の正しい知識の普及啓発及び検査機会提供の場として職域が重要な領域になり得ると考えられる。

### A. 研究目的

平成30年度（2018年度）から、職域における健康診断の機会を利用してHIV感染症/エイズ及び梅毒（以下、エイズ等）の同時検査を実施することで検査の利用機会拡大とエイズ等の早期発見・早期治療を促進するモデル事業が開始された。本研究班はこのモデル事業の実施主体として、また、その効果の検証を行うために設置された。我々は先行研究において本モデル事業を実施する愛知県から業務を委託され、平成7年に発出された「職場におけるエイズ問題に関するガイドライン」（以下ガイドライン）を遵守して、平成30年度以降、最大で5業種9企業の健診等の機会にエイズ等の検査機会提供を行ってきた。モデル事業は終了となったが、平成31年度（令和元年度）から令和4年度の期間、研究として3企業でエイズ等検査機会提供が継続されている。

現在のガイドライン下では、全体で検査機会提供が可能な事業所は主に外資系の一部企業に限られることが実態である。先行研究の知見も併せて検討すると、職域でエイズ等検査機会を提供するためには、職域健診の機会等に個別に任意の施設でオプション検査としてエイズ等検査を選択できる仕組みを構築する方が現実的である。また、健診センターでのエイズ等検査機会提供経験の蓄積は、産業医や健診医の疾病理解を促進し、職域におけるHIVと共に生きる人々の療養環境改善に寄与すると期待される。

平成31年3月に「保健所における HIV 検査の実施について」の通知が発出され、保健所でのエイズ等検査の外部委託等が積極的に考慮・実施し得る状

況となった。健診センターも外部委託先の候補の一つである。実際に京都市では、平日・夜間・休日全てのエイズ等検査が健診施設に委託されている。しかしながら、健診センターがエイズ等検査を受託する事例はごく限られている。

ガイドラインは、HIVと共に生きる人々を、職域におけるエイズに対する差別偏見から被る不利益から守ってきた。その一方で、ガイドラインが「職域ではHIVの課題は扱ってはいけない」と「読まれた」結果、職域にはエイズ等の検査機会やHIVに関する情報が提供されてこなかった。加えて、先行研究では、労使双方の健康情報の秘密保持が適切に行われていないという認識と、ガイドライン中の格段の配慮が必要な疾病との記載が、HIV感染症/AIDSを「職域では特に扱うべきでない課題」にしていることを明らかにした。その結果、職域では、古い事実や知見に基づくHIVと共に生きる人々に対する差別偏見が解消されないままとなっている。

本研究では、同じ事業所で継続してエイズ等検査機会を提供した場合の効果等の検証を行う。また、健診センターでオプション検査としてエイズ等検査を提供する場合の課題を検討する。さらに、新型コロナウイルス感染拡大に伴い自己検査キット提供先等として重要な役割を果たしている薬局でエイズ等検査機会の提供を試みる。また、職域で行われているエイズ等検査に対するガイドラインの問題点を検証する。

### B. 研究方法

研究協力企業での継続的なエイズ等検査機会提供

## による従業員の受検動向の調査

名古屋医療センターが主体となりガイドラインを遵守して行う。対象は原則としてモデル事業で研究協力が得られた企業の正規従業員とする。研究参加企業は雇用保障、プライバシー管理及び健康支援のポリシーを保証する。企業が主体となってエイズ等の疾病知識の普及啓発の取組みを行う。啓発時に用いる資材は研究班が作成し提供し、啓発は企業の担当者が行う。エイズ等検査機会は郵送検査キットによって提供する。郵送検査キットは、企業のサーバーを介さず個人端末から専用webページにアクセスして入手する。継続的な検査機会提供の受検行動や疾病理解に対する効果を調査する。

## 健診センターにおけるオプション検査としての実施

福岡県内の健診機関Aで健診業務に医師、看護師、保健師、検査技師、医療事務を対象に郵送検査キットを用いた健診サービスを提供し、当該サービスが滞りなく提供できるか実証的に確認する。検査は、郵送検査キットを用いる。研究協力機関の職員会議室に仮設の受付、記入スペース、採血スペース、回収スペースを設け、以下の手順で実施する。研究対象者は事前配布したHIV検査希望の用紙を受付に提出→受付で郵送検査キットと検査申込書を受領後記入用スペースで検査申込書に必要事項を記入→採血スペースに移動してランセット針を用いた指先での採血を行い、ろ紙に塗布→採血後のろ紙と検査申込書を袋に入れた後に回収スペースにある回収ボックスに提出しアンケート用紙と検査申込書の控えを受領→後日委託会社が提供する検査結果の閲覧サイトにアクセスし自身の検査結果を確認。自由記入式アンケートからは、①全体、②手続き（申し込み、検査の流れ、導線）、③郵送検査キット（採血の行為、器具、説明書）、④検査の環境（部屋）、⑤検査のスタッフ（人員配置、サポート）、⑥検査結果の確認、⑦その他、に関する意見（良かった点・改善が必要な点など）を得る。それぞれの意見をまとめ、郵送検査キットを用いた健診サービスの課題を整理し、運用マニュアルを作成する。

## 薬局におけるエイズ等検査機会提供

愛知県内の2企業のそれぞれ1店舗（ドラッグストア、調剤薬局）で、郵送式のエイズ等検査キットを配布する。両店舗ともそれぞれが提供しているアプリ登録者を対象に当事業について周知する。キット受領の申し込みは、①キット申し込み用の電話番号に希望者が直接電話（調剤薬局）、②周辺系列他店配布されたチラシを直接持参、によって行う。いずれの店舗でも先着100キットを無料で配布する。結果サイトログイン時にアンケートを実施する。

## データ解析

継続的にHIV検査機会を提供した企業での受検希望者及び受検者数、受啓発効果等の解析を行う。受検希望者及び受検者数の解析は、研究参画企業から従業員に対する受検勧奨圧力が生じないようにとの要望を受け、研究終了時点で参画企業全体を対象に解析を行う。企業個別の結果は公表しない。

## （倫理面への配慮）

本研究班の研究活動において、患者個人のプライバシーの保護、人権擁護に関しては最優先される。本研究班における臨床研究によっては、人を対象とする医学系研究に関する倫理審査を当該施設において適宜受けてこれを実施する。職場健診におけるエイズ検査の実施に際しては、「職場におけるエイズ問題に関するガイドライン」を遵守する。情報の収集、解析及び公開等について、国立病院機構名古屋医療センター臨床研究審査委員会（整理番号：2018-039、2018-035、2018-105）及び産業医科大学倫理委員会の承認（受付番号R4-018）を得て実施した。

## C. 研究結果

### 職域でのエイズ等検査機会提供

2企業で先行研究を含め2019年度から2022年度の全期間で継続的に郵送検査キットによるエイズ等検査機会提供を行った。2018年度、2019年度は研究班の研究者が検査機会提供開始時に啓発イベントを実施した。その後は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、企業担当者が研究班の資材を利用して検査機会提供の周知や啓発を行なった。2018年度から2022年度までに7企業でエイズ等検査機会提供を行い、3,530キットが取り寄せられ、1,857キットが使用された。2019年以降、継続して検査機会を提供している企業A（正社員数約3,200人）のキット取り寄せ者数（キット使用者数）は、638（425）→232（153）→197（125）→229（134）、企業B（正社員数約2,800人）では411（298）→137（95）→139（95）→68（47）であった。検査機会利用者に不利益は生じなかった。

### 健診センターでのエイズ等検査機会提供の試み

2022年8月2日に本実証を行い、6名が参加した（有効回答率100%）。本実証では、特に大きなトラブルも発生せず、参加者全員が郵送キットを用いたエイズ等検査を実施した。参加者の属性は医師が2名、看護師が4名だった。市販の郵送検査キットを用いることで、プライバシーの保護に留意したサービスの提供が可能であった。アンケートの結果から検査結果の確認、医療機関の紹介、結果消去の機能などに高い満足度が得られることがわかった。参加者から本実証を通してエイズ等検査の受検のみならず、HIVそのものについて改めて学習するよい機会となったとの声があがった。その一方で、プライバシーの保護に関して、名前ではなく番号で呼び

出しを行う、パーテーションを設置する、など様々な意見が出ており、健診センターでのエイズ等検査の実施にあたっては追加配慮が必要であることが明らかとなった。

#### **薬局におけるエイズ等検査機会提供**

2022年12月24日から2023年1月20日まで配布/検査受付を行った。ドラッグストア、調剤薬局でそれぞれ6キット、9キット配布し、5キット、1キットが使用された。

#### **ガイドラインの検討**

新たな分担研究者の参画を得て、産業医の視点から現ガイドラインの問題点等を検討した。海外赴任時等に旅券取得のためにHIV検査が該当従業員に課されている現状は、現在のガイドラインを逸脱する状況にあることが指摘された。個人情報管理に関する危惧が労使双方にある点については、労働安全衛生法の改正により、2019年4月から事業所で「健康情報取扱規程」の策定が義務づけられたことから、プライバシー確保に格段の配慮を要するが故にHIV検査機会提供を不可とするのは理由にならないと評価された。

### **D. 考察**

#### **研究協力企業での継続的なエイズ等検査機会提供による従業員の受検動向の調査**

研究参画企業では知識普及の取り組みや検査機会提供が根付いている。「よい企業」であれば現在も問題なく職域でHIV検査機会は提供可能である。イベント型の啓発を行うことは受検者数増に貢献する可能性があるが、広く企業で同様の試みを行う場合は現実的ではない。新型コロナウイルス感染症の影響ではあったが結果として企業の担当者による周知啓発による受検動向の変化を観察できたことは有意義であった。それらの企業では、エイズ等検査機会提供は、がん等検査啓発と同様に扱われ、従業員が適切な情報に基づき判断して受検する環境が整った。継続して検査機会を提供している企業においては年々受検者数が減少しているが、受検歴や感染リスクに基づいた受検行動の結果と推測される。先行研究によって、自己採血に関わる問題がキット未使用の理由であることが明らかになっているが、この課題は継続して検査提供を行っても解決はできなかった。この形態で行う場合は20%以上の検査キットが未使用となる可能性がある。

#### **健診センターでのエイズ等検査機会提供の試み**

健診センターにおけるオプション検査として、郵送式HIV検査キットを用いたサービスが一つの提供モデルとなりうる事が証明された。市販の郵送式HIV検査キットを用いることで、プライバシーの保護に留意したサービスを提供でき、アンケートの結果から高い満足度が得られることがわかった。参加者から本実証を通してHIVそのものについ

て改めて学習するよい機会となったとの声があがったことから、健診センターにおけるオプション検査の提供は労働者のHIV感染症の教育機会としても寄与する可能性がある。

その一方で、プライバシーの保護に関して、名前ではなく番号で呼び出しを行う、パーテーションを設置する、など様々な意見が出ており、健診センターでのHIV検査の実施にあたっては追加配慮が必要であることが明らかとなった。そのような意見を集約し、「健診施設における郵送キットを用いたHIV検査マニュアル」を作成、研究班HPで公開した。また、自己採血に関する恐怖や痛み、再採血など、検査キットに対する不満の声が上がった。そのため、残血清を使用したHIV検査など、受検者の負担の少ないHIV検査のあり方について引き続き検討する必要があると思われた。

#### **薬局におけるエイズ等検査機会提供**

先行研究において、iTesting@Aichi & NMCで有償検査にもエイズ等検査のニーズに応えることができることが明らかになった。また、新型コロナウイルスのセルフテスト実施に薬局が重要な役割を果たしている。薬局が空気・飛沫感染ではないエイズ等検査の機会提供の場所として役割を果たすようになる可能性がある。今回、従業員が企業から一定の補助を受けてセルフテストキットを購入して検査をするという場面を想定し、薬局でのエイズ等検査キット販売を考え、実際に試みたが、配布や販売の広報の対象や方法には検討の余地がある。拠点病院等は市中の薬局に勤務する薬剤師の研修等を受け入れることで、検査機会拡充に貢献できると思われる。

#### **ガイドラインの検討**

先行研究で実施した巡回健診契約事業所（341事業所）に対する郵送式アンケート調査では、「健康情報取扱規程」策定義務化を知っている事業所が35.9%、「健康情報取扱規程」を策定している事業所は17.6%に留まっていたことが明らかになっている。プライバシー確保に格段の配慮を要するとされることがHIV検査の職域等での実施が忌避される要因の一つであったが、本規定によれば、すべての従業員の健康情報は同様に格段の配慮をもって扱われるべきであると定められている。本規定が適正に運用されればガイドラインを別途定める必要がない、すなわち、職域においてHIV感染症/AIDSもガンをはじめとする様々な健康の課題の一つとして扱われるようになるのではと思われる。

### **E. 結論**

企業や健診センターにおける職域健診時等に一斉のエイズ等検査機会の提供は現時点では極めて困難であった。しかしながら、エイズ等の正しい知識の普及啓発効果に大きな意義があり、エイズ等の予防及びまん延の防止にも資すると思われる。職

域では知識普及・啓発を促し、従業員が健診センターで健診を受検する際にオプション検査として選択し得る環境を整えるという方向性が現実的である。エイズ等は今もなお職域において関わってはいけない疾病と位置付けられているが、「健康情報取扱規程」の遵守及び「職場におけるエイズ問題に関するガイドライン」の適正な運用・改正等により、職域で労使共にHIVに係る課題に適切に対応することは可能になることが期待される。

(予定を含む。)

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

## F. 健康危険情報

特になし。

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

1) Yoshihiro Nakata, Hirotaka Ode, Mai Kubota, Takaaki Kasahara, Kazuhiro Matsuoka, Atsuko Sugimoto, Mayumi Imahashi, Yoshiyuki Yokomaku, Yasumasa Iwatani. Cellular APOBEC3A deaminase drives mutations in the SARS-CoV-2 genome. *Nucleic Acids Res*. 2023 Jan 25;51(2):783-795. doi: 10.1093/nar/gkac1238.

2) Mori M, Ode H, Kubota M, Nakata Y, Kasahara T, Shigemi U, Okazaki R, Matsuda M, Matsuoka K, Sugimoto A, Hachiya A, Imahashi M, Yokomaku Y, Iwatani Y. Nanopore Sequencing for Characterization of HIV-1 Recombinant Forms. *Microbiol Spectr*. 2022 Aug 31;10(4):e0150722. doi: 10.1128/spectrum.01507-22. Epub 2022 Jul 27. PMID: 35894615; PMCID: PMC9431566.

3) Hirotaka Ode, Yoshihiro Nakata, Mami Nagashima, Masaki Hayashi, Takako Yamazaki, Hiroyuki Asakura, Jun Suzuki, Mai Kubota, Kazuhiro Matsuoka, Masakazu Matsuda, Mikiko Mori, Atsuko Sugimoto, Mayumi Imahashi, Yoshiyuki Yokomaku, Kenji Sadamasu, Yasumasa Iwatani. Molecular epidemiological features of SARS-CoV-2 in Japan, 2020-1. *Virus Evol*. 2022;8(1):veac034. doi:10.1093/ve/veac034. eCollection 2022.

4) Shigemi U, Yamamura Y, Matsuda M, Okazaki R, Kubota M, Ibe S, Nemoto M, Maejima-Kitagawa M, Sukegawa S, Imahashi M, Kikuchi T, Sugiyama W, Iwatani Y, Hachiya A, Yokomaku Y; Japanese Drug Resistance HIV-1 Surveillance Network. Evaluation of the Geenius HIV 1/2 confirmatory assay for HIV-2 samples isolated in Japan. *J Clin Virol*. 2022 Jul;152:105189. doi: 10.1016/j.jcv.2022.105189. Epub 2022 May 21. PMID: 35640401.

## H. 知的財産権の出願・登録状況

## 職域健診機会を利用した検査機会拡大のための新たな HIV 検査体制の研究

-4企業による意識調査の解析(R4年度調査より)-

研究分担者 高橋秀人

国立保健医療科学院 統括研究官

### 研究要旨

本課題は、企業及びその被保険者に対し近年罹患患者数の増加が著しい HIV・梅毒の検診の普及啓発を行った上で、企業等の被保険者のうち希望する者(以下受検者)に検査を実施し、その結果を受けて当該検査が保健所検査を補完する事業となり得るかを検討するものである。この全体研究の中で、受検者に「受診動機」等に関する質問紙調査を実施している。本研究はこの質問紙調査の結果から、受診行動を促進する要因を探索し、HIV 職域検診の拡大に繋げることを目的としている。

職域検診の許可をいただいた A 社～C 社(計 3 社)で HIV・梅毒検査と検査の同意書を兼ねて質問紙調査(HIV・梅毒検査質問紙調査)を実施した(2022 年 11 月 28 日から 2022 年 12 月 19 日)。検査キット 323 個配布し、受検者数 196 人(受診割合 60.4%)の中で回答のあった 140 人を対象者とした。

「性別」、「年齢」、「同居形態」、および Q4 これまでの本プログラム(本研究)を利用、Q5 本プログラム(本研究)以外で HIV の血液検査の経験、Q6HIV の血液検査を直近で受けたのはいつ頃ですか。Q7 会社の健診時での HIV の血液検査の実施希望と、

Q8\_1HIVは、感染している人と握手をしても感染しない

Q8\_2HIVは、感染している人と話をしても感染しない

Q8\_3HIVは、感染している人と一緒に仕事をしても感染しない

Q8\_4HIVは、感染している人と食器を共用しても感染しない

Q8\_5HIVは、感染している人とキスをしても感染しない

Q8\_6HIVは、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない

Q8\_7HIVは、感染している人と無防備に性行為を行った場合、感染することがある

Q8\_8HIVは、感染している人とカミソリやピアス、注射器などを共用した場合に感染することがある

Q8\_9HIVは、感染している人の血液や精液、膣分泌液に触れることで感染する

Q8\_10HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる

Q8\_11HIVは、適切に治療することにより他の人への感染を予防することができる

Q8\_12HIVは、蚊によってうつされることはない

Q8\_13HIVは、血液検査によって感染しているかどうか分かる

Q8\_14保健所では無料でHIV検査が受けられる

Q8\_15HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない

Q8\_16健診などで異常がなくても、HIVに感染していることがある

Q8\_17特に自覚症状がなくても、HIVに感染していることがある

Q8\_18健康そうに見えても、HIVに感染していることがある

であるQ8の質問項目間の関連であるが、各質問項目の「はい」「いいえ」と回答状況と他の質問項目の「はい」「いいえ」の回答割合に差がある項目(特異的な質問項目)の項目数は、Q8(1)14、Q8(2)14、Q8(3)6、Q8(4)10、Q8(5)11、Q8(6)7、Q8(7)14、Q8(8)14、Q8(9)4、Q8(10)9、Q8(11)7、Q8(12)10、Q8(13)8、Q8(14)9、Q8(15)8、Q8(16)5、Q8(17)5、Q8(18)5、であり、Q8(1)～Q8(18)のすべての質問項目で5以上であり、Q8(1)、Q8(2)、Q8(4)、Q8(5)、Q8(7)、Q8(8)、Q8(12)は、10項目以上と関連していた。

Q3(4)友人、Q3(8)兄弟は、Q8の18項目中、14項目と関連しており、HIVに関する基本知識は友人、および兄弟から得ているのではないかと思われる。逆にQ3(1)一人、Q3(2)夫婦はそれぞれ関連項目数0、残りのQ3(5)子、Q3(6)父母、Q3(7)祖父母等は4～5項目であり、あまり関連していなかった。

Q4本プログラムの利用、Q5HIV検査の受検は、HIVに関する知識との関連は5～6項目であり、あまり関連していなかった。

Q8(5)「HIVは、感染している人とキスをしても感染しない」(78.4%)、Q8(12)「蚊によってうつされることはない」(77.7%)、Q8(14)「保健所では無料でHIV検査が受けられる」(82.0%)については、知っている人の割合が90%未満と他の項目に比べて低いので、この点は受検の有無に関わらず、より積極的に知識を広める必要がある。

## A. 研究目的

「性感染症に関する特定感染症予防指針」(2018年1月に厚労大臣より)が発表され、「性感染症は、早期発見及び早期治療により治癒、重症化の防止又は感染の拡大防止が可能な疾患であり、性感染症の予防には、正しい知識とそれに基づく注意深い行動が重要である。このため、性感染症に対する予防対策としては、感染する又は感染を広げる可能性がある者への普及啓発及び性感染症の予防を支援する環境づくりが重要である。」と記載された。これに関し、これを推進するにあたり、1.原因の究明、2.発生の予防及びまん延の防止、3.医療の提供、4.研究開発の推進、5.国際的な連携、6.施策の評価及び関係機関との連携などが記載され、特に「2.発生の予防及び蔓延の防止」において、「性感染症がある等の情報について、国及び都道府県等は民間企業とも連携しながら普及啓発に努めるべきである」と記載された点は、国と民間企業の連携の下に、普及啓発活動を推進する必要があると定められたと解釈できる。

前年度までの4年間の研究においては「普及啓発の状況」として、計8社に企業検診でのHIV感染症のスクリーニング検査(以下エイズ検査)を実施していただくなど、少しずつ啓発は進んでいるが、これからも「性感染症全般」について、正確な情報の周知による①適切な医療行動の確保、②差別・偏見の収束、③疫学調査実施の土壌醸成が、必須である。そのため「職域での健診機会を利用した検査機会拡大のための新たなHIV検査体制」に係る研究が必要となる。

本課題では、企業及びその被保険者に対し近年罹患患者数の増加が著しいHIV・梅毒の検診の普及啓発を行った上で、企業等の被保険者の中で自発的に検査をされた受検者に「HIV知識」に関する質問紙調査を実施した。本研究はこの質問紙調査の結果から、どのような知識が必要とされているのか、また受診行動とこれらの知識の関連を明らかにし、HIV職域検診の拡大に繋げることを目的としている。

## B. 研究方法

対象企業は雇用保障、プライバシー管理及び健康支援のポリシーを保証し、本事業に協力していただける企業、対象者はその正規従業員とした。検査機会提供に先立ってエイズ等の疾病知識の普及啓発の取組みを行うことを必須の条件とし、エイズ等検査機会は郵送検査キットによって提供し、受検者には質問紙調査を実施した。質問項目は

Q1性別

Q2年齢階級

Q3\_1現在、あなたが同居している人は誰ですか(一人暮らし)

Q3\_2現在、あなたが同居している人は誰ですか(夫・妻)

Q3\_3現在、あなたが同居している人は誰ですか(パートナー・恋人)

Q3\_4現在、あなたが同居している人は誰ですか(友人)

Q3\_5現在、あなたが同居している人は誰ですか(子)

Q3\_6現在、あなたが同居している人は誰ですか(父母)

Q3\_7現在、あなたが同居している人は誰ですか(祖父母)

Q3\_8現在、あなたが同居している人は誰ですか(兄弟)

Q3\_9現在、あなたが同居している人は誰ですか(その他)

Q4これまでにあなたは本プログラム(本研究)を利用したことがありますか

Q5これまでにあなたは本プログラム(本研究)以外でHIVの血液検査を1度でも受けたことがありますか

Q6あなたが本プログラム(本研究)以外でHIVの血液検査を直近で受けたのはいつ頃ですか。

(Q5で「はい」と回答した人のみお答えください)

Q7会社の健診時にHIVの血液検査を実施してほしい費用の負担は考慮しないでください

Q8\_1HIVは、感染している人と握手をしても感染しない

Q8\_2HIVは、感染している人と話をしても感染しない

Q8\_3HIVは、感染している人と一緒に仕事をしても感染しない

Q8\_4HIVは、感染している人と食器を共用しても感染しない

Q8\_5HIVは、感染している人とキスをしても感染しない

Q8\_6HIVは、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない

Q8\_7HIVは、感染している人と無防備に性行為を行った場合、感染することがある

Q8\_8HIVは、感染している人とカミソリやピアス、注射器などを共用した場合に感染することがある

Q8\_9HIVは、感染している人の血液や精液、膣分泌液に触れることで感染する

Q8\_10HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる

Q8\_11HIVは、適切に治療することにより他の人への感染を予防することができる

Q8\_12HIVは、蚊によってうつされることはない

Q8\_13HIVは、血液検査によって感染しているかどうかかわかる

Q8\_14保健所では無料でHIV検査が受けられる

Q8\_15HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない

Q8\_16健診などで異常がなくても、HIVに感染していることがある

Q8\_17特に自覚症状がなくても、HIVに感染していることがある

Q8\_18健康そうに見えても、HIVに感染していることがある

年齢を20歳代、30歳代、40歳代、50歳代とし、各変数の2×2分割表を作成、関連性を明示した。統計学的検定について、適合度は $\chi^2$ 検定、関連性はFisher直接確率検定を実施した。

## C. 研究結果

結果確認は246件の返送数に対し、研究終了日の令和3年12月23日時点で140人(49.2%)の検査結果確認があった。対象者は、男性の割合(71.9%)が有意に女性より高く、40歳代(40.7%)、30歳代(23.6%)の割合が高く、60歳代の割



合(1.4%)が低い等、有意に年齢階級の割合が異なる集団である。Q4～Q5, Q8(1)～(18)に関する「はい」または「知っていた」の割合はそれぞれ下記のとおりである。

- Q4 これまでの本プログラム(本研究)を利用 (54.0%),  
Q5 本プログラム(本研究)以外で HIV の血液検査の経験 (36.0%),  
Q8\_1HIVは、感染している人と握手をしても感染しない (100%),  
Q8\_2HIVは、感染している人と話をしても感染しない (100%),  
Q8\_3HIVは、感染している人と一緒に仕事をしても感染しない(99.3%),  
Q8\_4HIVは、感染している人と食器を共用しても感染しない(97.8%),  
Q8\_5HIVは、感染している人とキスをしても感染しない (78.4%),  
Q8\_6HIVは、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない(92.8%),  
Q8\_7HIVは、感染している人と無防備に性行為を行った場合、感染することがある(100%),  
Q8\_8HIVは、感染している人とカミソリやピアス、注射器などを共用した場合に感染することがある(100%),  
Q8\_9HIVは、感染している人の血液や精液、膣分泌液に触れることで感染する(99.3%),  
Q8\_10HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる(98.6%),  
Q8\_11HIVは、適切に治療することにより他の人への感染を予防することができる(97.8%),  
Q8\_12HIVは、蚊によってうつされることはない(77.7%)  
Q8\_13HIVは、血液検査によって感染しているかどうか分かる(98.6%),  
Q8\_14保健所では無料でHIV検査が受けられる (82.0%)  
Q8\_15HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない (89.9%),  
Q8\_16健診などで異常がなくても、HIVに感染していることがある(91.4%),  
Q8\_17特に自覚症状がなくても、HIVに感染していることがある(98.6%),  
Q8\_18健康そうに見えても、HIVに感染していることがある(98.6%)。

また、Q6HIVの血液検査を直近で受けたのはいつ頃ですか。Q7会社の健診時でのHIVの血液検査の実施希望については、

- Q6「1年以内」(20%), 「1～3年以内」(24%), 「3年以上前」(50%), 「わからない」(6%), 「答えたくない」(0%),  
Q7「思う」(48.2%), 「やや思う」(20.9%), 「あまり思わない」(12.9%), 「思わない」(9.4%), 「わからない」(8.6%), であった。

この対象者において、統計学的有意となる関連性が認

められた項目は、下記の通りである。表番号の右に左の項目の二群のそれぞれの項目「男性・女性」、「知っている・知らない」等に対する、左の項目の「知っている」「知らない」の回答割合(%)をそれぞれ記した。

- Q1性別×年齢(P=0.0014)表3 (43.8歳vs38.4歳)  
Q1性別×Q3-1(P=0.0005)表4-1 (33%vs66.7%)  
Q1性別×Q3-2(P<0.0001)表4-2 (66%vs25.6%)  
Q1性別×Q3-3(P=0.0022)表4-3 (1%vs 0%)  
Q1性別×Q3-5(P=0.0022)表4-5 (40%vs12.8%)  
性別は、「年齢」、「同居(一人暮らし)」、「同居(夫・妻)」、「同居(パートナー)」、「同居(子)」と有意な関連が認められた。男性は40歳以上の割合、および妻と同居している割合、子供と同居している割合が高く、女性は「一人暮らし」の割合が高い。

- Q2年齢×Q3-2(P=0.045)表10-2  
「20代」、「30代」、「40代」、「50代」、「60代」  
(29.4%,51.5%,53.6%,71%,100%)  
Q2年齢×Q3-5(P=0.0033)表10-5  
(0%,27.3%,39.3%,45.2%,0%)  
Q2年齢×Q8-10(P=0.0429)表15-10  
(88.2%,100%,100%,100%,100%)

年齢は、「同居(夫・妻)」、「同居(子)」、「HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる」と有意な関連が認められた。20歳代は一人暮らしが多く、「HIVは、感染している人とキスをしても感染しない」、「HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない」と思う割合が低い。50代が配偶者あるいは子どもとの同居の割合が高い。

- Q3-4×Q4(P<0.0001)表35(54.3%)  
Q3-4×Q5(P<0.0001)表36(36%)  
Q3-4×Q6(P<0.0001)表37(7.2%) ※1年以内  
Q3-4×Q7(P<0.0001)表38(48.2%)  
Q3-4×Q8-3(P<0.0001)表39-3(99.3%)  
Q3-4×Q8-4(P<0.0001)表39-4(97.8%)  
Q3-4×Q8-5(P<0.0001)表39-5(78.4%)  
Q3-4×Q8-6(P<0.0001)表39-6(92.8%)  
Q3-4×Q8-9(P<0.0001)表39-9(99.3%)  
Q3-4×Q8-10(P<0.0001)表39-10(98.6%)  
Q3-4×Q8-11(P<0.0001)表39-11(97.8%)  
Q3-4×Q8-12(P<0.0001)表39-12(77.7%)  
Q3-4×Q8-13(P<0.0001)表39-13(98.6%)  
Q3-4×Q8-14(P<0.0001)表39-14(82%)  
Q3-4×Q8-15(P<0.0001)表39-15(89.9%)  
Q3-4×Q8-16(P<0.0001)表39-16(91.4%)  
Q3-4×Q8-17(P<0.0001)表39-17(98.6%)  
Q3-4×Q8-18(P<0.0001)表39-18(98.6%)

「同居(友人)」は、「これまでにあなたは本プログラムを利用したことがありますか」、「これまでにあなたは本プログラム以外でHIVの血液検査を1度でも受けたことがあります

か」,「あなたが本プログラム以外でHIVの血液検査を直近で受けたのはいつ頃ですか」,「会社の健診時にHIVの血液検査を実施してほしい」,「HIVは、感染している人と一緒に仕事をしても感染しない」,「HIVは、感染している人と食器を共用しても感染しない」,「HIVは、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない」,「HIVは、感染している人の血液や精液、膣分泌液に触れることで感染する」,「HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる」,「HIVは、適切に治療することにより、他の人への感染を予防することができる」,「HIVは、蚊によってうつされることはない」,「HIVは、血液検査によって感染しているかどうか分かる」,「保健所では無料でHIV検査が受けられる」,「HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない」,「健診などで異常がなくても、HIVに感染していることがある」,「特に自覚症状がなくても、HIVに感染していることがある」,「健康そうに見えても、HIVに感染していることがある」と有意な関連が認められた。「同居(友人)」の有無に関しては全てが無であった。有意差が認められた理解の割合は上記の通りである。

Q3-5×Q8-11(P=0.0324)表45-11(100%vs93.2%)

「同居(子)」は、「HIVは、適切に治療することにより、他の人への感染を予防することができる」と有意な関連が認められた。

Q3-6×Q7 (P=0.0071)表50(49.3%vs0%)

「同居(父母)」は、「会社の健診時にHIVの血液検査を実施してほしい」と有意な関連が認められた。

Q3-7×Q6(P=0.0269)表55(6.6%vs33.3%)※1年以内

「同居(祖父母)」は、「あなたが本プログラム以外でHIVの血液検査を直近で受けたのはいつ頃ですか」と有意な関連が認められた。

Q3-8×Q4 (P<0.0001)表59(54.3%)  
Q3-8×Q5 (P<0.0001)表60(36%)  
Q3-8×Q6 (P=0.0002)表61(7.2%)※1年以内  
Q3-8×Q7 (P<0.0001)表62(48.2%)  
Q3-8×Q8-3(P<0.0001)表63-3(99.3%)  
Q3-8×Q8-4(P<0.0001)表63-4(97.8%)  
Q3-8×Q8-5(P<0.0001)表63-5(78.4%)  
Q3-8×Q8-6(P<0.0001)表63-6(92.8%)  
Q3-8×Q8-9(P<0.0001)表63-9(99.3%)  
Q3-8×Q8-10(P<0.0001)表63-10(98.6%)  
Q3-8×Q8-11(P<0.0001)表63-11(97.8%)

Q3-8×Q8-12(P<0.0001)表63-12(77.7%)  
Q3-8×Q8-13(P<0.0001)表63-13(98.6%)  
Q3-8×Q8-14(P<0.0001)表63-14(82%)  
Q3-8×Q8-15(P<0.0001)表63-15(89.9%)  
Q3-8×Q8-16(P<0.0001)表63-16(91.4%)  
Q3-8×Q8-17(P<0.0001)表63-17(98.6%)  
Q3-8×Q8-18(P<0.0001)表63-18(98.6%)

「同居(兄弟)」は、「これまでにあなたは本プログラムを利用したことがありますか」,「これまでにあなたは本プログラム以外でHIVの血液検査を1度でも受けたことがありますか」,「あなたが本プログラム以外でHIVの血液検査を直近で受けたのはいつ頃ですか」,「会社の健診時にHIVの血液検査を実施してほしい」,「HIVは、感染している人と一緒に仕事をしても感染しない」,「HIVは、感染している人と食器を共用しても感染しない」,「HIVは、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない」,「HIVは、感染している人の血液や精液、膣分泌液に触れることで感染する」,「HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる」,「HIVは、適切に治療することにより、他の人への感染を予防することができる」,「HIVは、蚊によってうつされることはない」,「HIVは、血液検査によって感染しているかどうか分かる」,「保健所では無料でHIV検査が受けられる」,「HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない」,「健診などで異常がなくても、HIVに感染していることがある」,「特に自覚症状がなくても、HIVに感染していることがある」,「健康そうに見えても、HIVに感染していることがある」と有意な関連が認められた。

「同居(兄弟)」の有無に関しては全てが無であった。有意差が認められた理解の割合は上記の通りである。

Q4 ×Q5 (P=0.0132)表69(38.7%vs33.3%)

Q4 ×Q8-15(P=0.0242)表72-15(96%vs82.5%)

「これまでにあなたは本プログラムを利用したことがありますか」は、「これまでにあなたは本プログラム以外でHIVの血液検査を1度でも受けたことがありますか」,「HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない」と有意な関連が認められた。

Q5 ×Q8-12(P=0.0409)表75-12

「はい」,「いいえ」,「わからない」,「答えたくない」  
(72%, 82.4%, 0%, 100%)

Q5 ×Q8-14(P<0.0001)表75-14

(98%, 74.1%, 0%, 100%)

「これまでにあなたは本プログラム以外でHIVの血液検査を1度でも受けたことがありますか」は、「HIVは、蚊によってうつされることはない」,「保健所では無料でHIV検査が受けられる」と有意な関連が認められた。

Q7 × Q8-15(P=0.0099)表78-15

「思う」、「やや思う」、「あまり思わない」、「思わない」、  
「わからない」(97%,79.3%,94.4%,84.6%,75%)

「会社の健診時にHIVの血液検査を実施してほしい」は、  
「HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない」と有意な関連が認められた。

Q8-1 × Q8-3(P<0.0001)表79-2(99.3%)

Q8-1 × Q8-4(P<0.0001)表79-3(97.8%)

Q8-1 × Q8-5(P<0.0001)表79-4(78.4%)

Q8-1 × Q8-6(P<0.0001)表79-5(92.8%)

Q8-1 × Q8-9(P<0.0001)表79-8(99.3%)

Q8-1 × Q8-10(P<0.0001)表79-9(98.6%)

Q8-1 × Q8-11(P<0.0001)表79-10(97.8%)

Q8-1 × Q8-12(P<0.0001)表79-11(77.7%)

Q8-1 × Q8-13(P<0.0001)表79-12(98.6%)

Q8-1 × Q8-14(P<0.0001)表79-13(82%)

Q8-1 × Q8-15(P<0.0001)表79-14(89.9%)

Q8-1 × Q8-16(P<0.0001)表79-15(91.4%)

Q8-1 × Q8-17(P<0.0001)表79-16(98.6%)

Q8-1 × Q8-18(P<0.0001)表79-17(98.6%)

「HIVは、感染している人と握手をしても感染しない」の理解(知っていた, 知らなかった)に関して, 知らなかった人がいなかった。有意差が認められた理解の割合は上記の通りである。

Q8-2 × Q8-3(P<0.0001)表80-1(99.3%)

Q8-2 × Q8-4(P<0.0001)表80-2(97.8%)

Q8-2 × Q8-5(P<0.0001)表80-3(78.4%)

Q8-2 × Q8-6(P<0.0001)表80-4(92.8%)

Q8-2 × Q8-9(P<0.0001)表80-7(99.3%)

Q8-2 × Q8-10(P<0.0001)表80-8(98.6%)

Q8-2 × Q8-11(P<0.0001)表80-9(97.8%)

Q8-2 × Q8-12(P<0.0001)表80-10(77.7%)

Q8-2 × Q8-13(P<0.0001)表80-11(98.6%)

Q8-2 × Q8-14(P<0.0001)表80-12(82%)

Q8-2 × Q8-15(P<0.0001)表80-13(89.9%)

Q8-2 × Q8-16(P<0.0001)表80-14(91.4%)

Q8-2 × Q8-17(P<0.0001)表80-15(98.6%)

Q8-2 × Q8-18(P<0.0001)表80-16(98.6%)

「HIVは、感染している人と話をしても感染しない」の理解(知っていた, 知らなかった)のに関して, 知らなかった人がいなかった。有意差が認められた理解の割合は上記の通りである。

Q8-3 × Q8-4(P=0.0216)表81-1(98.6% vs 0%)

Q8-3 × Q8-5(P=0.0216)表81-2(79% vs 0%)

「HIVは、感染している人と一緒に仕事をしても感染しない」の理解(知っていた, 知らなかった)の各群における「HIVは、感染している人と食器を共用しても感染しない」の理解の割合(98.6% VS 0%), 「HIVは、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない」の理解の割合(79% VS 0%)と有意差が認められた。

「HIVは、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない」の理解の割合(98.6% VS 0%), 「HIVは、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない」の理解の割合(79% VS 0%)と有意差が認められた。

Q8-4 × Q8-5(P=0.0093)表82-1(80.1% vs 0%)

Q8-4 × Q8-6(P=0.0093)表82-2(94.1% vs 33.3%)

Q8-4 × Q8-10(P=0.0093)表82-6(99.3% vs 66.7%)

Q8-4 × Q8-12(P=0.0103)表82-8(79.4% vs 0%)

Q8-4 × Q8-13(P=0.0429)表82-9(99.3% vs 66.7%)

「HIVは、感染している人と食器を共用しても感染しない」の理解(知っていた, 知らなかった)の各群における「HIVは、感染している人とキスをしても感染しない」の理解の割合(80.1% VS 0%), 「HIVは、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない」の理解の割合(94.1% VS 33.3%), 「HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる」の理解の割合(99.3% VS 66.7%), 「HIVは、蚊によってうつされることはない」の理解の割合(79.4% VS 0%), 「HIVは、血液検査によって感染しているかどうか分かる」の理解の割合(99.3% VS 66.7%)と有意差が認められた。

Q8-5 × Q8-6(P<0.0001)表83-1(99.1% vs 70%)

Q8-5 × Q8-10(P=0.0454)表83-5(100% vs 93.3%)

Q8-5 × Q8-11(P=0.0093)表83-6(100% vs 90%)

Q8-5 × Q8-12(P<0.0001)表83-7(89.9% vs 33.3%)

Q8-5 × Q8-14(P=0.0058)表83-9(87.2% vs 63.3%)

「HIVは、感染している人とキスをしても感染しない」の理解(知っていた, 知らなかった)の各群における「HIVは、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない」の理解の割合(99.1% VS 70%), 「HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる」の理解の割合(100% VS 93.3%), 「HIVは、適切に治療することにより他の人への感染を予防することができる」の理解の割合(100% VS 90%), 「HIVは、蚊によってうつされることはない」の理解の割合(89.9% VS 33.3%), 「保健所では無料でHIV検査が受けられる」の理解の割合(87.2% VS 63.3%)と有意差が認められた。

Q8-6 × Q8-12(P=0.0085)表84-6(80.6% vs 40%)

「HIVは、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない」の理解(知っていた, 知らなかった)の各群における「HIVは、蚊によってうつされることはない」の理解の割合(80.6% VS 40%), 有意差が認められた。

Q8-7 × Q8-9(P<0.0001)表85-2(99.3%)

Q8-7 × Q8-10(P<0.0001)表85-3(98.6%)

Q8-7 × Q8-11(P<0.0001)表85-4(97.8%)

Q8-7 × Q8-12(P<0.0001)表85-5(77.7%)

Q8-7 × Q8-13(P<0.0001)表85-6(98.6%)

Q8-7 × Q8-14(P<0.0001)表85-7(82%)

Q8-7×Q8-15(P<0.0001)表85-8(89.9%)

Q8-7×Q8-16(P<0.0001)表85-9(91.4%)

Q8-7×Q8-17(P<0.0001)表85-10(98.6%)

Q8-7×Q8-18(P<0.0001)表85-11(98.6%)

「HIVは、感染している人と無防備に性行為を行った場合、感染することがある」の理解(知っていた, 知らなかった)に関して, 知らなかった人がいなかった. 有意差が認められた理解の割合は上記の通りである.

Q8-8×Q8-9(P<0.0001)表86-1(99.3%)

Q8-8×Q8-10(P<0.0001)表86-2(98.6%)

Q8-8×Q8-11(P<0.0001)表86-3(97.8%)

Q8-8×Q8-12(P<0.0001)表86-4(77.7%)

Q8-8×Q8-13(P<0.0001)表86-5(98.6%)

Q8-8×Q8-14(P<0.0001)表86-6(82%)

Q8-8×Q8-15(P<0.0001)表86-7(89.9%)

Q8-8×Q8-16(P<0.0001)表86-8(91.4%)

Q8-8×Q8-17(P<0.0001)表86-9(98.6%)

Q8-8×Q8-18(P<0.0001)表86-10(98.6%)

「HIVは、感染している人とカミソリやピアス、注射器などを共用した場合に感染することがある」の理解(知っていた, 知らなかった)に関して, 知らなかった人がいなかった. 有意差が認められた理解の割合は上記の通りである.

Q8-10×Q8-12(P=0.0485)表88-2(78.8%vs 0%)

Q8-10×Q8-13(P=0.0287)表88-3(99.3%vs 50%)

Q8-10×Q8-14(P=0.0312)表88-4(83.2%vs 0%)

「HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる」の理解(知っていた, 知らなかった)の各群における「HIVは、蚊によってうつされることはない」の理解の割合(78.8% VS 0%), 「HIVは、血液検査によって感染しているかどうか分かる」の理解の割合(99.3% VS 50%), 「保健所では無料でHIV検査が受けられる」の理解の割合(83.2% VS 0%)に有意差が認められた.

Q8-11×Q8-12(P=0.0103)表89-1(79.4%vs 0%)

Q8-11×Q8-15(P=0.0268)表89-4(91.2%vs 33.3%)

「HIVは、適切に治療することにより他の人への感染を予防することができる」の理解(知っていた, 知らなかった)の各群における「HIVは、蚊によってうつされることはない」の理解の割合(79.4% VS 0%), 「HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない」の理解の割合(91.2% VS 33.3%)に有意差が認められた.

Q8-12×Q8-14(P=0.0024)表90-2(88%vs 61.3%)

「HIVは、蚊によってうつされることはない」の理解(知っていた, 知らなかった)の各群における「保健所では無料でHIV検査が受けられる」の理解の割

合(88% VS 61.3%)に有意差が認められた.

Q8-13×Q8-14(P=0.0313)表91-1(83.2%vs 0%)

Q8-13×Q8-15(P=0.0095)表91-2(91.2%vs 0%)

「HIVは、血液検査によって感染しているかどうか分かる」の理解(知っていた, 知らなかった)の各群における「保健所では無料でHIV検査が受けられる」の理解の割合(83.2% VS 0%), 「HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない」(91.2% VS 0%)に有意差が認められた.

Q8-14×Q8-15(P=0.0206)表92-1(93%vs 76%)

「保健所では無料でHIV検査が受けられる」の理解(知っていた, 知らなかった)の各群における「健診などで異常がなくても、HIVに感染していることがある」の理解の割合(93% VS 76%)に有意差が認められた.

Q8-15×Q8-16(P=0.0203)表93-1(93.6%vs 71.4%)

「HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない」の理解(知っていた, 知らなかった)の各群における「健診などで異常がなくても、HIVに感染していることがある」の理解の割合(93.6% VS 71.4%)に有意差が認められた.

Q8-17×Q8-18(P=0.0001)表95(100%vs 0%)

「特に自覚症状がなくても、HIVに感染していることがある」の理解(知っていた, 知らなかった)の各群における「健康そうに見えても、HIVに感染していることがある」の理解の割合(100% VS 0%)に有意差が認められた.

以上の結果をまとめると、下記ようになる.

- ・ Q1「性別」は「年齢」, 「同居形態(一人暮らし, 夫・妻, パートナー, 子)」で有意差があったが, その他の項目については有意差が認められなかった.
- ・ Q2「年齢」は「同居形態(夫・妻, 子)」, 「性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる」で有意差があったが, その他の項目については有意差が認められなかった.
- ・ Q3(1)「同居形態(一人暮らし)」, Q3(2)「同居形態(夫・妻)」, Q3(3)「同居形態(パートナー・恋人)」はどの項目についても有意差が認められなかった.
- ・ Q3(4)「同居形態(友人)」はQ4「これまでにあなたは本プログラムを利用したことがありますか」, Q5「これまでにあなたは本プログラム以外でHIVの血液検査を1度でも受けたことがありますか」, Q6「あなたが本プログラム以外でHIVの血液検査を直近で受けたのはいつ頃ですか」, Q7「会社の健診時にHIVの血液検査を

実施してほしい」, Q8(3)「HIVは、感染している人と一緒に仕事をしても感染しない」, Q8(4)「HIVは、感染している人と食器を共用しても感染しない」, Q8(5)「HIVは、感染している人とキスをしても感染しない」, Q8(6)「HIVは、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない」, Q8(9)「HIVは、感染している人の血液や精液、膣分泌液に触れることで感染する」, Q8(10)「HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる」, Q8(11)「HIVは、適切に治療することにより、他の人への感染を予防することができる」, Q8(12)「HIVは、蚊によってうつされることはない」, Q8(13)「HIVは、血液検査によって感染しているかどうか分かる」, Q8(14)「保健所では無料でHIV検査が受けられる」, Q8(15)「HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない」, Q8(16)「健診などで異常がなくても、HIVに感染していることがある」, Q8(17)「特に自覚症状がなくても、HIVに感染していることがある」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。

- Q3(5)「同居形態(子)」はQ8(11)「HIVは、適切に治療することにより、他の人への感染を予防することができる」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。
- Q3(6)「同居形態(父母)」はQ7「同居(父母)」は、「会社の健診時にHIVの血液検査を実施してほしい」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。
- Q3(7)「同居形態(祖父母)」はQ6「あなたが本プログラム以外でHIVの血液検査を直近で受けたのはいつ頃ですか」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。
- Q3(8)「同居形態(兄弟)」はQ4「これまでにあなたは本プログラムを利用したことがありますか」, Q5「これまでにあなたは本プログラム以外でHIVの血液検査を1度でも受けたことがありますか」, Q6「あなたが本プログラム以外でHIVの血液検査を直近で受けたのはいつ頃ですか」, Q7「会社の健診時にHIVの血液検査を実施してほしい」, Q8(3)「HIVは、感染している人と一緒に仕事をしても感染しない」, Q8(4)「HIVは、感染している人と食器を共用しても感染しない」, Q8(5)「HIVは、感染している人とキスをしても感染しない」, Q8(6)「HIVは、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない」, Q8(9)「HIVは、感染している人の血液や精液、膣分泌液に触れることで感染する」, Q8(10)「HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる」, Q8(11)「HIVは、適切に治療することにより、他の人への感染を予防することができる」, Q8(12)「HIVは、蚊によってうつされることはない」, Q8(13)「HIVは、血液検査によって感染しているかどうか分かる」, Q8(14)「保健所では無料でHIV検査が受けられる」, Q8(15)「HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない」, Q8(16)「健診

などで異常がなくても、HIVに感染していることがある」, Q8(17)「特に自覚症状がなくても、HIVに感染していることがある」, Q8(18)「健康そうに見えても、HIVに感染していることがある」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。

- Q3(9)「同居形態(その他)」はどの項目についても有意差が認められなかった。
  - Q4「これまでにあなたは本プログラム(本研究)を利用したことがありますか」は、Q5「これまでにあなたは本プログラム以外でHIVの血液検査を1度でも受けたことがありますか」, Q8(15)「HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。
  - Q5「これまでにあなたは本プログラム(本研究)以外でHIVの血液検査を1度でも受けたことがありますか」は、Q8(12)「HIVは、蚊によってうつされることはない」, Q8(14)「保健所では無料でHIV検査が受けられる」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。
  - Q6「あなたが本プログラム(本研究)以外でHIVの血液検査を直近で受けたのはいつ頃ですか。(Q5で「はい」と回答した人のみお答えください)」はどの項目についても有意差が認められなかった。
  - Q7「会社の健診時にHIVの血液検査を実施してほしい 費用の負担は考慮しないでお答えください」は、Q8(15)「HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。
  - Q8(1)「HIVは、感染している人と握手をしても感染しない」はQ8(3)「HIVは、感染している人と一緒に仕事をしても感染しない」, Q8(4)「HIVは、感染している人と食器を共用しても感染しない」, Q8(5)「HIVは、感染している人とキスをしても感染しない」, Q8(6)「HIVは、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない」, Q8(9)「HIVは、感染している人の血液や精液、膣分泌液に触れることで感染する」, Q8(10)「HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる」, Q8(11)「HIVは、適切に治療することにより、他の人への感染を予防することができる」, Q8(12)「HIVは、蚊によってうつされることはない」, Q8(13)「HIVは、血液検査によって感染しているかどうか分かる」, Q8(14)「保健所では無料でHIV検査が受けられる」, Q8(15)「HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない」, Q8(16)「健診などで異常がなくても、HIVに感染していることがある」, Q8(17)「特に自覚症状がなくても、HIVに感染していることがある」, Q8(18)「健康そうに見えても、HIVに感染していることがある」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。
- (Q8の他の項目との関連は14)
- Q8(2)「HIVは、感染している人と話をしても感染しない」は、Q8(3)「HIVは、感染している人と一緒に仕事をしても感染しない」, Q8(4)「HIVは、感染している人

と食器を共用しても感染しない」、Q8(5)「HIVは、感染している人とキスをして感染しない」、Q8(6)「HIVは、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない」、Q8(9)「HIVは、感染している人の血液や精液、膣分泌液に触れることで感染する」、Q8(10)「HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる」、Q8(11)「HIVは、適切に治療することにより、他の人への感染を予防することができる」、Q8(12)「HIVは、蚊によってうつされることはない」、Q8(13)「HIVは、血液検査によって感染しているかどうか分かる」、Q8(14)「保健所では無料でHIV検査が受けられる」、Q8(15)「HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない」、Q8(16)「健診などで異常がなくても、HIVに感染していることがある」、Q8(17)「特に自覚症状がなくても、HIVに感染していることがある」、Q8(18)「健康そうに見えても、HIVに感染していることがある」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。

(Q8の他の項目との関連は14)

- Q8(3)「HIVは、感染している人と一緒に仕事をしても感染しない」は、Q8(4)「HIVは、感染している人と食器を共用しても感染しない」、Q8(5)「HIVは、感染している人とキスをして感染しない」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。

(Q8の他の項目との関連は2)

- Q8(4)「HIVは、感染している人と食器を共用しても感染しない」は、Q8(5)「HIVは、感染している人とキスをして感染しない」、Q8(6)「HIVは、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない」、Q8(10)「HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる」、Q8(12)「HIVは、蚊によってうつされることはない」、Q8(13)「HIVは、血液検査によって感染しているかどうか分かる」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。

(Q8の他の項目との関連は5)

- Q8(5)「HIVは、感染している人とキスをして感染しない」は、Q8(6)「HIVは、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない」、Q8(10)「HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる」、Q8(11)「HIVは、適切に治療することにより、他の人への感染を予防することができる」、Q8(12)「HIVは、蚊によってうつされることはない」、Q8(14)「保健所では無料でHIV検査が受けられる」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。

(Q8の他の項目との関連は5)

- Q8(6)「HIVは、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない」は、Q8(12)「HIVは、蚊によってうつされることはない」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。

(Q8の他の項目との関連は1)

- Q8(7)「HIVは、感染している人と無防備に性行為を行った場合、感染することがある」は、Q8(9)「HIVは、感染している人の血液や精液、膣分泌液に触れることで感染する」、Q8(10)「HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる」、Q8(11)「HIVは、適切に治療することにより、他の人への感染を予防することができる」、Q8(12)「HIVは、蚊によってうつされることはない」、Q8(13)「HIVは、血液検査によって感染しているかどうか分かる」、Q8(14)「保健所では無料でHIV検査が受けられる」、Q8(15)「HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない」、Q8(16)「健診などで異常がなくても、HIVに感染していることがある」、Q8(17)「特に自覚症状がなくても、HIVに感染していることがある」、Q8(18)「健康そうに見えても、HIVに感染していることがある」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。

(Q8の他の項目との関連は10)

- Q8(8)「HIVは、感染している人とカミソリやピアス、注射器などを共用した場合に感染することがある」は、Q8(9)「HIVは、感染している人の血液や精液、膣分泌液に触れることで感染する」、Q8(10)「HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる」、Q8(11)「HIVは、適切に治療することにより、他の人への感染を予防することができる」、Q8(12)「HIVは、蚊によってうつされることはない」、Q8(13)「HIVは、血液検査によって感染しているかどうか分かる」、Q8(14)「保健所では無料でHIV検査が受けられる」、Q8(15)「HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない」、Q8(16)「健診などで異常がなくても、HIVに感染していることがある」、Q8(17)「特に自覚症状がなくても、HIVに感染していることがある」、Q8(18)「健康そうに見えても、HIVに感染していることがある」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。

(Q8の他の項目との関連は10)

- Q8(9)「HIVは、感染している人の血液や精液、膣分泌液に触れることで感染する」は、どの項目についても有意差が認められなかった。

(Q8の他の項目との関連は0)

- Q8(10)「HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる」は、Q8(12)「HIVは、蚊によってうつされることはない」、Q8(13)「HIVは、血液検査によって感染しているかどうか分かる」、Q8(14)「保健所では無料でHIV検査が受けられる」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。

(Q8の他の項目との関連は3)

- Q8(11)「HIVは、適切に治療することにより他の人への感染を予防することができる」は、Q8(12)「HIVは、蚊によってうつされることはない」、Q8(15)「HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認め

られなかった。

(Q8の他の項目との関連は2)

- Q8(12)「HIVは、蚊によってうつされることはない」は、Q8(14)「保健所では無料でHIV検査が受けられる」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。

(Q8の他の項目との関連は1)

- Q8(13)「HIVは、血液検査によって感染しているかどうか分かる」は、Q8(14)「保健所では無料でHIV検査が受けられる」、Q8(15)「HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。

(Q8の他の項目との関連は2)

- Q8(14)「保健所では無料でHIV検査が受けられる」は、Q8(15)「HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。

(Q8の他の項目との関連は1)

- Q8(15)「HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない」は、Q8(16)「健診などで異常がなくても、HIVに感染していることがある」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。

(Q8の他の項目との関連は1)

- Q8(16)「健診などで異常がなくても、HIVに感染していることがある」は、どの項目についても有意差が認められなかった。

(Q8の他の項目との関連は0)

- Q8(17)「特に自覚症状がなくても、HIVに感染していることがある」は、Q8(18)「健康そうに見えても、HIVに感染していることがある」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。

(Q8の他の項目との関連は1)

#### D. 考察

Q1「性別」とQ2「年齢」、

Q1「性別」と「Q3同居形態(夫・妻、パートナー、子、父母)」、

Q2「年齢」と「Q3同居形態(夫・妻、子)」、

Q2「年齢」とQ8(10)「HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる」、

に関連がある。これは例えば女性の方が若い年齢の集団である、年齢が高くなるほど感染しないという知識を有する割合が高くなっているという点で、夫婦間で受検に関する情報を共有しているなど、常識的に解釈可能である。

Q3(4)「同居形態(友人)」は多くの項目との関連があることから、HIVの情報については友人と共有していることがうかがえる。

Q3(5)「同居形態(子)」はQ8\_11「HIVは、適切に治療することにより他の人への感染を予防することができる」で有意差があったが、その他の項目につい

ては有意差が認められなかったことから、「同居形態(子)」のカテゴリーに属さない人は属する人よりも若干知識が少ない。子供と同居していない世帯に対するアプローチが重要である可能性が示唆された。

Q3(6)「同居形態(父母)」は、Q8(7)「会社の健診時にHIVの血液検査を実施してほしい 費用の負担は考慮しないで教えてください」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。「同居形態(父母)」のカテゴリーに属する人はそれ以外の方よりも若干知識が少ない。「同居形態(父母)」のカテゴリーに属する世帯へのアプローチが重要である可能性が示唆された。

Q3(7)「同居形態(祖父母)」は、Q6「あなたが本プログラム以外でHIVの血液検査を直近で受けたのはいつ頃ですか」で有意差があったが、その他の項目については有意差が認められなかった。Q3(7)「同居形態(祖父母)」について、同居無し 9/136=6.6% VS 1/3=33.3%によるものと考えられる。

Q3(8)「同居形態(兄弟)」は多くの項目との関連があることから、HIVの情報については兄弟と共有していることがうかがえる。

Q4はQ6、Q8(15)と、Q5はQ8(12)、Q8(14)と、Q6はなし、Q7はQ8(15)とのみ、有意な関連が認められた点について、HIVの受検経験は知識の向上に大きくは関連していない表れと考えられる。

Q8の質問項目間の関連であるが、各質問項目の「はい」「いいえ」と回答状況と他の質問項目の「はい」「いいえ」の回答割合に差がある項目(特異的な質問項目)の項目数は、

Q8\_1HIVは、感染している人と握手をしても感染しない

Q8\_2HIVは、感染している人と話をしても感染しない

Q8\_3HIVは、感染している人と一緒に仕事をしても感染しない

Q8\_4HIVは、感染している人と食器を共用しても感染しない

Q8\_5HIVは、感染している人とキスをしても感染しない

Q8\_6HIVは、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない

Q8\_7HIVは、感染している人と無防備に性行為を行った場合、感染することがある

Q8\_8HIVは、感染している人とカミソリやピアス、注射器などを共用した場合に感染することがある

Q8\_9HIVは、感染している人の血液や精液、膣分泌液に触れることで感染する

Q8\_10HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる

Q8\_11HIVは、適切に治療することにより他の人への感染を予防することができる

Q8\_12HIVは、蚊によってうつされることはない

Q8\_13HIVは、血液検査によって感染しているかどうか分かる

Q8\_14保健所では無料でHIV検査が受けられる

Q8\_15HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない

Q8\_16健診などで異常がなくても、HIVに感染していることがある

Q8\_17特に自覚症状がなくても、HIVに感染していることがある

Q8\_18健康そうに見えても、HIVに感染していることがある

Q8(1)14, Q8(2)14, Q8(3)2, Q8(4)5, Q8(5)5, Q8(6)1, Q8(7)10, Q8(8)10, Q8(9)0, Q8(10)3, Q8(11)2, Q8(12)1, Q8(13)2, Q8(14)1, Q8(15)1, Q8(16)0, Q8(17)1

であり、3以上の質問項目は、Q8(1), Q8(2), Q8(4), Q8(5), Q8(7), Q8(8), Q8(10)であり、すなわち、

Q8\_1 HIVは、感染している人と握手をしても感染しない

Q8\_2 HIVは、感染している人と話をしても感染しない

Q8\_4 HIVは、感染している人と食器を共用しても感染しない

Q8\_5 HIVは、感染している人とキスをしても感染しない

Q8\_7 HIVは、感染している人と無防備に性行為を行った場合、感染することがある

Q8\_8 HIVは、感染している人とカミソリやピアス、注射器などを共用した場合に感染することがある

Q8\_10 HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる

の項目は、より広めていく重要性があると考えられる。

2. 学会発表 なし

H. 知的財産権の出願・登録状況  
(予定を含む.)

1. 特許取得 なし

2. 実用新案登録 なし

3. その他 なし

## E. 結論

HIVに関する基本知識は、兄弟、友人と情報を共有している可能性が高いことがあきらかになった。

本プログラムの利用、またはHIV検査の受検はHIVに関する知識との関連は小さかった。「HIVは、感染している人とキスをしても感染しない」、「蚊によってうつされることはない」、「保健所では無料でHIV検査が受けられる」については、知っている人の割合が90%未満と他の項目に比べて低いので、この点は受検の有無に関わらず、より積極的に知識を広める必要がある。

## F. 健康危険情報

## G. 研究発表

1. 論文発表 なし



表1

Q1		度数	%
	男性	100	71.94
	女性	39	28.06
	計	139	100.00

X 2検定

2.29E-07

その他=1例を除いた

表2

Q21年齢階	度数	%
20-29	17	12.14
30-39	33	23.57
40-49	57	40.71
50-59	31	22.14
60-69	2	1.43
	140	100

X 2検定

3.33E-12

表3

Q1		Q21年齢階級					計(n,%)
		20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	
	男性	9	20	42	27	2	100
	%	9.00	20.00	42.00	27.00	2.00	100
	女性	8	13	14	4	0	39
	%	20.51	33.33	35.90	10.26	0.00	100

X 2検定

-

Fisher直接確率検定

0.041841

表4-1

Q1		Q3_一人	%
	男性	67	33
	女性	13	26
			66.7

X 2検定

0.00063306

Fisher直接確率検定

0.00049986

表4-2

Q1		Q3_夫婦	%
	男性	34	66
	女性	29	10
			25.6

X 2検定

0.00004

Fisher直接確率検定

0.00002

表4-3

Q1		Q3_パートナー	%
	男性	99	1
	女性	39	0
			0

X 2検定

0.0040385

Fisher直接確率検定

0.0022236

表4-4

Q1		Q3_友人	%
	男性	100	0
	女性	39	0
			0

X 2検定

2.2919E-07

Fisher直接確率検定

-

表4-5

		Q3_子		%
Q1		0	1	
	男性	60	40	40
	女性	34	5	12.8
X 2検定				0.004039
Fisher直接確率検定				0.0022236

表4-6

		Q3_父母		%
Q1		0	1	
	男性	99	1	1
	女性	37	2	5.1
X 2検定				-
Fisher直接確率検定				0.19005

表4-7

		Q3_祖父母		%
Q1		0	1	
	男性	97	3	3
	女性	39	0	0
X 2検定				-
Fisher直接確率検定				0.55924

表4-8

		Q3_兄弟		%
Q1		0	1	
	男性	100	0	0
	女性	39	0	0
X 2検定				2.2919E-07
Fisher直接確率検定				-

表4-9

		Q3_その他		%
Q1		0	1	
	男性	99	1	1
	女性	39	0	0
X 2検定				-
Fisher直接確率検定				1

表5

		Q4		% ある
Q1		1 ある	2 ない	
	男性	53	46	53.5
	女性	22	17	56.4
X 2検定				-
Fisher直接確率検定				0.89219
その他=1例を除いた				

表6

		Q5				% はい
Q1		はい	いいえ	わからない	答えたくない	
	男性	34	63	1	2	34
	女性	16	22	1	0	41
X 2検定						-
Fisher直接確率検定						0.58368

表7

		Q6					% 1年以内
Q1		1年以内	1-3年	3年以上前	わからない	NA	
	男性	6	9	17	2	66	6
	女性	4	3	8	1	23	10.3

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.92799

表8

		Q7					% 思う
Q1		思う	やや思う	あまり思わない	思わない	わからない	
	男性	45	21	15	10	9	45
	女性	22	8	3	3	3	56.4

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.7535

表9-1

		Q8_1		% 1 知っていた
Q1		1 知っていた	2 知らなかった	
	男性	100	0	100
	女性	39	0	100

X 2検定 2.2919E-07  
Fisher直接確率検定 -

表9-2

		Q8_2		% 1 知っていた
Q1		1 知っていた	2 知らなかった	
	男性	100	0	100
	女性	39	0	100

X 2検定 2.2919E-07  
Fisher直接確率検定 -

表9-3

		Q8_3		% 1 知っていた
Q1		1 知っていた	2 知らなかった	
	男性	100	0	100
	女性	38	1	97.4

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.28058

表9-4

		Q8_4		% 1 知っていた
Q1		1 知っていた	2 知らなかった	
	男性	99	1	99
	女性	37	2	94.9

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.19005

表9-5

		Q8_5		% 1 知っていた
Q1		1 知っていた	2 知らなかった	
	男性	81	19	81
	女性	28	11	71.8

X 2検定 0.33919  
Fisher直接確率検定 0.25628

表9-6

		Q8_6		% 1 知っていた
Q1		1	2	
	男性	94	6	94
	女性	35	4	89.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.4665

表9-7

		Q8_7		% 1 知っていた
Q1		1 知ってし	2 知らなかつた	
	男性	100	0	100
	女性	39	0	100

X 2検定 2.2919E-07  
Fisher直接確率検定 -

表9-8

		Q8_8		% 1 知っていた
Q1		1 知ってし	2 知らなかつた	
	男性	100	0	100
	女性	39	0	100

X 2検定 2.2919E-07  
Fisher直接確率検定 -

表9-9

		Q8_9		% 1 知っていた
Q1		1 知ってし	2 知らなかつた	
	男性	99	1	99
	女性	39	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表9-10

		Q8_10		% 1 知っていた
Q1		1 知ってし	2 知らなかつた	
	男性	98	2	98
	女性	39	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表9-11

		Q8_11		% 1 知っていた
Q1		1 知ってし	2 知らなかつた	
	男性	97	3	97
	女性	39	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.55924

表9-12

		Q8_12		% 1 知っていた
Q1		1 知ってし	2 知らなかつた	
	男性	82	18	82
	女性	26	13	66.7

X 2検定 0.084643  
Fisher直接確率検定 0.069025

表9-13

		Q8_13		% 1 知っていた
Q1		1 知ってし	2 知らなかった	
	男性	99	1	99
	女性	38	1	97.4

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.48389

表9-14

		Q8_14		% 1 知っていた
Q1		1 知ってし	2 知らなかった	
	男性	81	19	81
	女性	33	6	84.6

X 2検定 0.80039  
Fisher直接確率検定 0.80648

表9-15

		Q8_15		% 1 知っていた
Q1		1 知ってし	2 知らなかった	
	男性	90	10	90
	女性	35	4	89.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表9-16

		Q8_16		% 1 知っていた
Q1		1 知ってし	2 知らなかった	
	男性	91	9	91
	女性	36	3	92.3

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表9-17

		Q8_17		% 1 知っていた
Q1		1 知ってし	2 知らなかった	
	男性	98	2	98
	女性	39	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表9-18

		Q8_18		% 1 知っていた
Q1		1 知ってし	2 知らなかった	
	男性	98	2	98
	女性	39	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表10-1

		Q3_一人		%
Q2_1		0	1	
	20-29	6	11	64.7
	30-39	18	15	45.5
	40-49	33	23	41.1
	50-59	21	10	32.3
	60-69	2	0	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.18177

表10-2

		Q3_夫婦		%
Q2_1		0	1	
	20-29	12	5	29.4
	30-39	16	17	51.5
	40-49	26	30	53.6
	50-59	9	22	71
	60-69	0	2	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.044989

表10-3

		Q3_パートナー		%
Q2_1		0	1	
	20-29	17	0	0
	30-39	33	0	0
	40-49	55	1	1.8
	50-59	31	0	0
	60-69	2	0	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表10-4

		Q3_友人		%
Q2_1		0	1	
	20-29	17	0	0
	30-39	33	0	0
	40-49	56	0	0
	50-59	31	0	0
	60-69	2	0	0

X 2検定 7.32E-12  
Fisher直接確率検定 -

表10-5

		Q3_子		%
Q2_1		0	1	
	20-29	17	0	0
	30-39	24	9	27.3
	40-49	34	22	39.3
	50-59	17	14	45.2
	60-69	2	0	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.0033399

表10-6

		Q3_父母		%
Q2_1		0	1	
	20-29	17	0	0
	30-39	33	0	0
	40-49	55	1	1.8
	50-59	29	2	6.5
	60-69	2	0	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.31449

表10-7

		Q3_祖父母	%	
Q2_1		0	1	
	20-29	17	0	0
	30-39	32	1	3
	40-49	55	1	1.8
	50-59	30	1	3.2
	60-69	2	0	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表10-8

		Q3_兄弟	%	
Q2_1		0	1	
	20-29	17	0	0
	30-39	33	0	0
	40-49	56	0	0
	50-59	31	0	0
	60-69	2	0	0

X 2検定 7.32E-12  
Fisher直接確率検定 -

表10-9

		Q3_その他	%	
Q2_1		0	1	
	20-29	16	1	5.9
	30-39	33	0	0
	40-49	56	0	0
	50-59	31	0	0
	60-69	2	0	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.13669

表11

		Q4		% ある
Q2_1		1 ある	2 ない	
	20-29	6	11	35.3
	30-39	17	15	53.1
	40-49	32	24	57.1
	50-59	19	12	61.3
	60-69	1	1	50

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.46395  
その他=1例を除いた

表12

		Q5				% はい
Q2_1		はい	いいえ	わからない	答えたくない	
	20-29	5	12	0	0	29.4
	30-39	12	20	0	1	36.4
	40-49	21	34	1	0	37.5
	50-59	10	19	1	1	32.3
	60-69	2	0	0	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.6327

表13

		Q6					% 1年以内
Q2_1		1年以内	1-3年	3年以上前	わからない	NA	
	20-29	1	3	1	0	12	5.9
	30-39	3	2	7	0	21	9.1
	40-49	5	5	10	1	35	2
	50-59	1	1	6	2	21	6.7
	60-69	0	1	1	0	0	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.58273

表14

		Q7					% 思う
Q2_1		思う	やや思う	あまり思わない	思わない	わからない	
	20-29	11	2	2	1	1	64.7
	30-39	20	7	1	3	2	60.6
	40-49	24	14	10	3	5	9.4
	50-59	10	6	5	6	4	28.6
	60-69	2	0	0	0	0	#DIV/0!

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定

表15-1

		Q8_1		% 1 知っていた
Q2_1		1 知って	2 知らなかった	
	20-29	17	0	100
	30-39	33	0	100
	40-49	56	0	100
	50-59	31	0	100
	60-69	2	0	100

X 2検定 7.32E-12  
Fisher直接確率検定 -

表15-2

		Q8_2		% 1 知っていた
Q2_1		1 知って	2 知らなかった	
	20-29	17	0	100
	30-39	33	0	100
	40-49	56	0	100
	50-59	31	0	100
	60-69	2	0	100

X 2検定 7.32E-12  
Fisher直接確率検定 -

表15-3

		Q8_3		% 1 知っていた
Q2_1		1 知って	2 知らなかった	
	20-29	17	0	100
	30-39	33	0	100
	40-49	55	1	98.2
	50-59	31	0	100
	60-69	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1



表15-4

		Q8_4		% 1 知っていた
Q2_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	20-29	16	1	94.1
	30-39	33	0	100
	40-49	54	2	96.4
	50-59	31	0	100
	60-69	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.37427

表15-5

		Q8_5		% 1 知っていた
Q2_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	20-29	12	5	70.6
	30-39	25	8	75.8
	40-49	43	13	76.8
	50-59	27	4	87.1
	60-69	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.62174

表15-6

		Q8_6		% 1 知っていた
Q2_1		1	2	
	20-29	15	2	88.2
	30-39	32	1	97
	40-49	50	6	89.3
	50-59	30	1	96.8
	60-69	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.46725

表15-7

		Q8_7		% 1 知っていた
Q2_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	20-29	17	0	100
	30-39	33	0	100
	40-49	56	0	100
	50-59	31	0	100
	60-69	2	0	100

X 2検定 7.32E-12  
Fisher直接確率検定 -

表15-8

		Q8_8		% 1 知っていた
Q2_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	20-29	17	0	100
	30-39	33	0	100
	40-49	56	0	100
	50-59	31	0	100
	60-69	2	0	100

X 2検定 7.32E-12  
Fisher直接確率検定 -

表15-9

		Q8_9		% 1 知っていた
Q2_1		1 知ってし	2 知らなかつた	
	20-29	17	0	100
	30-39	33	0	100
	40-49	56	0	100
	50-59	30	1	96.8
	60-69	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.35971

表15-10

		Q8_10		% 1 知っていた
Q2_1		1 知ってし	2 知らなかつた	
	20-29	15	2	88.2
	30-39	33	0	100
	40-49	56	0	100
	50-59	31	0	100
	60-69	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.042853

表15-11

		Q8_11		% 1 知っていた
Q2_1		1 知ってし	2 知らなかつた	
	20-29	17	0	100
	30-39	31	2	93.9
	40-49	56	0	100
	50-59	30	1	96.8
	60-69	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.21533

表15-12

		Q8_12		% 1 知っていた
Q2_1		1 知ってし	2 知らなかつた	
	20-29	14	3	82.4
	30-39	24	9	72.7
	40-49	43	13	76.8
	50-59	25	6	80.6
	60-69	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.91844

表15-13

		Q8_13		% 1 知っていた
Q2_1		1 知ってし	2 知らなかつた	
	20-29	16	1	94.1
	30-39	33	0	100
	40-49	55	1	98.2
	50-59	31	0	100
	60-69	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.35909

表15-14

		Q8_14		% 1 知っていた
Q2_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	20-29	13	4	76.5
	30-39	28	5	84.8
	40-49	48	8	85.7
	50-59	23	8	74.2
	60-69	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.61773

表15-15

		Q8_15		% 1 知っていた
Q2_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	20-29	13	4	76.5
	30-39	31	2	93.9
	40-49	50	6	89.3
	50-59	29	2	93.5
	60-69	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.35478

表15-16

		Q8_16		% 1 知っていた
Q2_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	20-29	17	0	100
	30-39	32	1	97
	40-49	50	6	89.3
	50-59	26	5	83.9
	60-69	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.27226

表15-17

		Q8_17		% 1 知っていた
Q2_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	20-29	17	0	100
	30-39	33	0	100
	40-49	54	2	96.4
	50-59	31	0	100
	60-69	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.62632

表15-18

		Q8_18		% 1 知っていた
Q2_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	20-29	17	0	100
	30-39	33	0	100
	40-49	54	2	96.4
	50-59	31	0	100
	60-69	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.62632

表16-1

		Q3_夫婦		%
Q3_一人		0	1	
	0	6	74	92.5
	1	57	2	3.4

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 2.22E-16

表16-2

		Q3_パートナー		%
Q3_一人		0	1	
	0	79	1	1.3
	1	59	0	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表16-3

		Q3_友人		%
Q3_一人		0	1	
	0	80	0	0
	1	59	0	0

X 2検定 0.07488  
Fisher直接確率検定 -

表16-4

		Q3_子		%
Q3_一人		0	1	
	0	37	43	53.8
	1	57	2	3.4

X 2検定 1.14E-09  
Fisher直接確率検定 2.29E-11

表16-5

		Q3_父母		%
Q3_一人		0	1	
	0	78	2	2.5
	1	58	1	1.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表16-6

		Q3_祖父母		%
Q3_一人		0	1	
	0	77	3	3.8
	1	59	0	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.26181

表16-7

		Q3_兄弟		%
Q3_一人		0	1	
	0	80	0	0
	1	59	0	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.07488

表16-8

		Q3_その他		%
Q3_一人		0	1	
	0	79	1	1.3
	1	59	0	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表17

		Q4		% ある
Q3_一人		1 ある	2 ない	
	0	43	37	53.8
	1	32	26	55.2

X2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.64779  
その他=1例を除いた

表18

		Q5				% はい
Q3_一人		はい	いいえ	わからない	答えたくない	
	0	29	49	1	1	1.3
	1	21	36	1	1	1.7

X2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表19

		Q6					% 1年以内
Q3_一人		1年以内	1-3年	3年以上前	わからない	NA	
	0	3	7	16	3	51	3.8
	1	7	5	9	0	38	11.9

X2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.14666

表20

		Q7					% 思う
Q3_一人		思う	やや思う	あまり思わない	思わない	わからない	
	0	40	16	10	8	6	50
	1	27	13	8	5	6	45.8

X2検定 0.96439  
Fisher直接確率検定 0.96515

表21-1

		Q8_1		% 1 知っていた
Q3_一人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	80	0	100
	1	59	0	100

X2検定 0.07488  
Fisher直接確率検定 -

表21-2

		Q8_2		% 1 知っていた
Q3_一人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	80	0	100
	1	59	0	100

X2検定 0.07488  
Fisher直接確率検定 -

表21-3

		Q8_3		% 1 知っていた
Q3_一人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	79	1	98.8
	1	59	0	100

X2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表21-4

		Q8_4		% 1 知っていた
Q3_一人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	77	3	96.3
	1	59	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.26481

表21-5

		Q8_5		% 1 知っていた
Q3_一人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	63	17	78.8
	1	46	13	78

X 2検定 1  
Fisher直接確率検定 1

表21-6

		Q8_6		% 1 知っていた
Q3_一人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	74	6	92.5
	1	55	4	93.2

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表21-7

		Q8_7		% 1 知っていた
Q3_一人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	80	0	100
	1	59	0	100

X 2検定 0.07488  
Fisher直接確率検定 -

表21-8

		Q8_8		% 1 知っていた
Q3_一人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	80	0	100
	1	59	0	100

X 2検定 0.07488  
Fisher直接確率検定 -

表21-9

		Q8_9		% 1 知っていた
Q3_一人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	80	0	100
	1	58	1	98.3

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.42446

表21-10

		Q8_10		% 1 知っていた
Q3_一人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	79	1	98.8
	1	58	1	98.3

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表21-11

		Q8_11		% 1 知っていた
Q3_一人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	77	3	96.3
	1	59	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.26181

表21-12

		Q8_12		% 1 知っていた
Q3_一人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	64	16	80
	1	44	15	74.6

X 2検定 0.58018  
Fisher直接確率検定 0.53727

表21-13

		Q8_13		% 1 知っていた
Q3_一人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	79	1	98.8
	1	58	1	98.3

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表21-14

		Q8_14		% 1 知っていた
Q3_一人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	67	13	83.8
	1	47	12	79.7

X 2検定 0.69137  
Fisher直接確率検定 0.65575

表21-15

		Q8_15		% 1 知っていた
Q3_一人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	71	9	88.8
	1	54	5	91.5

X 2検定 0.80082  
Fisher直接確率検定 0.77706

表21-16

		Q8_16		% 1 知っていた
Q3_一人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	71	9	88.8
	1	56	3	94.9

X 2検定 0.33021  
Fisher直接確率検定 0.23706

表21-17

		Q8_17		% 1 知っていた
Q3_一人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	78	2	97.5
	1	59	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.50787

表21-18

		Q8_18		% 1 知っていた
Q3_一人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	78	2	97.5
	1	59	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.50787

表22-1

		Q3_パートナー		%
Q3_夫婦		0	1	
	0	62	1	1.6
	1	76	0	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.45324

表22-2

		Q3_友人		%
Q3_夫婦		0	1	
	0	63	0	0
	1	76	0	0

X 2検定 0.27018  
Fisher直接確率検定 -

表22-3

		Q3_子		%
Q3_夫婦		0	1	
	0	61	2	3.2
	1	33	43	56.6

X 2検定 7.19E-11  
Fisher直接確率検定 1.22E-12

表22-4

		Q3_父母		%
Q3_夫婦		0	1	
	0	61	2	3.2
	1	75	1	1.3

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.59006

表22-5

		Q3_祖父母		%
Q3_夫婦		0	1	
	0	63	0	0
	1	73	3	3.9

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.25117

表22-6

		Q3_兄弟		%
Q3_夫婦		0	1	
	0	63	0	0
	1	76	0	0

X 2検定 0.27018  
Fisher直接確率検定 -



表22-7

		Q3_その他		%
Q3_夫婦		0	1	
	0	62	1	1.6
	1	76	0	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.45324

表23

		Q4		% ある
Q3_夫婦		1 ある	2 ない	
	0	34	28	54.8
	1	41	35	53.9

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.72358  
その他=1例を除いた

表24

		Q5			% はい
Q3_夫婦		はい	いいえ	わからない	答えたくない
	0	24	37	1	1 38.1
	1	26	28	1	1 46.4

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.93037

表25

		Q6			% 1年以内
Q3_夫婦		1年以内	1-3年	3年以上前	わからない NA
	0	7	6	11	0 39 11.1
	1	3	6	14	3 50 3.9

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.2134

表26

		Q7			% 思う
Q3_夫婦		思う	やや思う	あまり思わない	思わない わからない
	0	29	13	9	5 7 46
	1	38	16	9	8 5 50

X 2検定 0.85441  
Fisher直接確率検定 0.85974

表27-1

		Q8_1		% 1 知っていた
Q3_夫婦		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	63	0	100
	1	76	0	100

X 2検定 0.27018  
Fisher直接確率検定 -

表27-2

		Q8_2		% 1 知っていた
Q3_夫婦		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	63	0	100
	1	76	0	100

X 2検定 0.27018  
Fisher直接確率検定 -

表27-3

		Q8_3		% 1 知っていた
Q3_夫婦		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	63	0	100
	1	75	1	98.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表27-4

		Q8_4		% 1 知っていた
Q3_夫婦		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	63	0	100
	1	73	3	96.1

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.25117

表27-5

		Q8_5		% 1 知っていた
Q3_夫婦		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	49	14	77.8
	1	60	16	78.9

X 2検定 1  
Fisher直接確率検定 1

表27-6

		Q8_6		% 1 知っていた
Q3_夫婦		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	59	4	93.7
	1	70	6	92.1

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表27-7

		Q8_7		% 1 知っていた
Q3_夫婦		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	63	0	100
	1	76	0	100

X 2検定 0.27018  
Fisher直接確率検定 -

表27-8

		Q8_8		% 1 知っていた
Q3_夫婦		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	63	0	100
	1	76	0	100

X 2検定 0.27018  
Fisher直接確率検定 -

表27-9

		Q8_9		% 1 知っていた
Q3_夫婦		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	63	0	100
	1	75	1	98.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表27-10

		Q8_10		% 1 知っていた
Q3_夫婦		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	62	1	98.4
	1	75	1	98.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表27-11

		Q8_11		% 1 知っていた
Q3_夫婦		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	63	0	100
	1	73	3	96.1

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.25117

表27-12

		Q8_12		% 1 知っていた
Q3_夫婦		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	47	16	74.6
	1	61	15	80.3

X 2検定 0.55295  
Fisher直接確率検定 0.53972

表27-13

		Q8_13		% 1 知っていた
Q3_夫婦		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	62	1	98.4
	1	75	1	98.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表27-14

		Q8_14		% 1 知っていた
Q3_夫婦		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	51	12	81
	1	63	13	82.9

X 2検定 0.94021  
Fisher直接確率検定 0.82636

表27-15

		Q8_15		% 1 知っていた
Q3_夫婦		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	58	5	92.1
	1	67	9	88.2

X 2検定 0.63224  
Fisher直接確率検定 0.57486

表27-16

		Q8_16		% 1 知っていた
Q3_夫婦		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	60	3	95.2
	1	67	9	88.2

X 2検定 0.2395  
Fisher直接確率検定 0.22451

表27-17

		Q8_17		% 1 知っていた
Q3_夫婦		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	63	0	100
	1	74	2	97.4

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.50078

表27-18

		Q8_18		% 1 知っていた
Q3_夫婦		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	63	0	100
	1	74	2	97.4

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.50078

表28-1

		Q3_友人		%
Q3_パートナー		0	1	
	0	138	0	0
	1	1	0	0

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表28-2

		Q3_子		%
Q3_パートナー		0	1	
	0	93	45	32.6
	1	1	0	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表28-3

		Q3_父母		%
Q3_パートナー		0	1	
	0	135	3	2.2
	1	1	0	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表28-4

		Q3_祖父母		%
Q3_パートナー		0	1	
	0	135	3	2.2
	1	1	0	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表28-5

		Q3_兄弟		%
Q3_パートナー		0	1	
	0	138	0	0
	1	1	0	0

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表28-6

		Q3_その他		%
Q3_パートナー		0	1	
	0	137	1	0.7
	1	1	0	0

X2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表29

		Q4		% ある
Q3_パートナー		1 ある	2 ない	
	0	75	62	54.7
	1	0	1	0

X2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.46043  
その他=1例を除いた

表30

		Q5				% はい
Q3_パートナー		はい	いいえ	わからない	答えたくない	
	0	49	85	2	2	35.5
	1	1	0	0	0	100

X2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.38849

表31

		Q6					% 1年以内
Q3_パートナー		1年以内	1-3年	3年以上前	わからない	NA	
	0	10	11	25	3	89	7.2
	1	0	1	0	0	0	0

X2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.5

表32

		Q7					% 思う
Q3_パートナー		思う	やや思う	あまり思わない	思わない	わからない	
	0	67	29	18	12	12	48.6
	1	0	0	0	1	0	0

X2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.17986

表33-1

		Q8_1		% 1 知っていた
Q3_パートナー		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	138	0	100
	1	1	0	100

X2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表33-2

		Q8_2		% 1 知っていた
Q3_パートナー		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	138	0	100
	1	1	0	100

X2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表33-3

		Q8_3		% 1 知っていた
Q3_パートナー		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	137	1	99.3
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表33-4

		Q8_4		% 1 知っていた
Q3_パートナー		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	135	3	97.8
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表33-5

		Q8_5		% 1 知っていた
Q3_パートナー		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	108	30	78.3
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表33-6

		Q8_6		% 1 知っていた
Q3_パートナー		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	128	10	92.8
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表33-7

		Q8_7		% 1 知っていた
Q3_パートナー		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	138	0	100
	1	1	0	100

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表33-8

		Q8_8		% 1 知っていた
Q3_パートナー		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	138	0	100
	1	1	0	100

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表33-9

		Q8_9		% 1 知っていた
Q3_パートナー		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	137	1	99.3
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表33-10

		Q8_10		% 1 知っていた
Q3_パートナー		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	136	2	98.6
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表33-11

		Q8_11		% 1 知っていた
Q3_パートナー		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	135	3	97.8
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表33-12

		Q8_12		% 1 知っていた
Q3_パートナー		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	107	31	77.5
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表33-13

		Q8_13		% 1 知っていた
Q3_パートナー		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	136	2	98.6
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表33-14

		Q8_14		% 1 知っていた
Q3_パートナー		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	113	25	81.9
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表33-15

		Q8_15		% 1 知っていた
Q3_パートナー		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	124	14	89.9
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表33-16

		Q8_16		% 1 知っていた
Q3_パートナー		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	126	12	91.3
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表33-17

		Q8_17		% 1 知っていた
Q3_パートナー		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	136	2	98.6
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表34-1

		Q8_18		% 1 知っていた
Q3_パートナー		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	136	2	98.6
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表34-2

		Q3_子		%
Q3_友人		0	1	
	0	94	45	32.4
	1	0	0	-

X 2検定 0.000032369  
Fisher直接確率検定 -

表34-3

		Q3_父母		%
Q3_友人		0	1	
	0	136	3	2.2
	1	0	0	-

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表34-4

		Q3_祖父母		%
Q3_友人		0	1	
	0	136	3	2.2
	1	0	0	-

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表34-5

		Q3_兄弟		%
Q3_友人		0	1	
	0	139	0	0
	1	0	0	-

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 -

表34-6

		Q3_その他		%
Q3_友人		0	1	
	0	138	1	0.7
	1	0	0	-

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -



表35

		Q4		% ある
Q3_友人		1 ある	2 ない	
	0	75	63	54.3
	1	0	0	-
		X 2検定		1.64E-15
		Fisher直接確率検定		-
		その他=1例を除いた		

表36

		Q5				% はい
Q3_友人		はい	いいえ	わからない	答えたくない	
	0	50	85	2	2	36
	1	0	0	0	0	-
		X 2検定				2.22E-16
		Fisher直接確率検定				-

表37

		Q6				% 1年以内
Q3_友人		1年以内	1-3年	3年以上前	わからない	NA
	0	10	12	25	3	89
	1	0	0	0	0	0
		X 2検定				0.0001514
		Fisher直接確率検定				-

表38

		Q7				% 思う
Q3_友人		思う	やや思う	あまり思わない	思わない	わからない
	0	67	29	18	13	12
	1	0	0	0	0	0
		X 2検定				1.46E-15
		Fisher直接確率検定				-

表39-1

		Q8_1		% 1 知っていた
Q3_友人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	139	0	100
	1	0	0	-
		X 2検定		-
		Fisher直接確率検定		-

表39-2

		Q8_2		% 1 知っていた
Q3_友人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	139	0	100
	1	0	0	-
		X 2検定		-
		Fisher直接確率検定		-

表39-3

		Q8_3		% 1 知っていた
Q3_友人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	138	1	99.3
	1	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定		-

表39-4

		Q8_4		% 1 知っていた
Q3_友人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	136	3	97.8
	1	0	0	-
X 2検定				2.22E-16
Fisher直接確率検定				-

表39-5

		Q8_5		% 1 知っていた
Q3_友人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	109	30	78.4
	1	0	0	-
X 2検定				2.07E-11
Fisher直接確率検定				-

表39-6

		Q8_6		% 1 知っていた
Q3_友人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	129	10	92.8
	1	0	0	-
X 2検定				2.22E-16
Fisher直接確率検定				-

表39-7

		Q8_7		% 1 知っていた
Q3_友人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	139	0	100
	1	0	0	-
X 2検定				-
Fisher直接確率検定				-

表39-8

		Q8_8		% 1 知っていた
Q3_友人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	139	0	100
	1	0	0	-
X 2検定				-
Fisher直接確率検定				-

表39-9

		Q8_9		% 1 知っていた
Q3_友人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	138	1	99.3
	1	0	0	-
X 2検定				2.22E-16
Fisher直接確率検定				-

表39-10

		Q8_10		% 1 知っていた
Q3_友人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	137	2	98.6
	1	0	0	-
X 2検定				2.22E-16
Fisher直接確率検定				-

表39-11

		Q8_11		% 1 知っていた
Q3_友人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	136	3	97.8
	1	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表39-12

		Q8_12		% 1 知っていた
Q3_友人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	108	31	77.7
	1	0	0	-
		X 2検定		6.53E-11
		Fisher直接確率検定	-	

表39-13

		Q8_13		% 1 知っていた
Q3_友人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	137	2	98.6
	1	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表39-14

		Q8_14		% 1 知っていた
Q3_友人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	114	25	82
	1	0	0	-
		X 2検定		4.39E-14
		Fisher直接確率検定	-	

表39-15

		Q8_15		% 1 知っていた
Q3_友人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	125	14	89.9
	1	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表39-16

		Q8_16		% 1 知っていた
Q3_友人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	127	12	91.4
	1	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表39-17

		Q8_17		% 1 知っていた
Q3_友人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	137	2	98.6
	1	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表39-18

		Q8_18		% 1 知っていた
Q3_友人		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	137	2	98.6
	1	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定		-

表40-1

		Q3_父母		%
Q3_子		0	1	
	0	92	2	2.1
	1	44	1	2.2
		X 2検定		-
		Fisher直接確率検定		1

表40-2

		Q3_祖父母		%
Q3_子		0	1	
	0	93	1	1.1
	1	43	2	4.4
		X 2検定		-
		Fisher直接確率検定		0.24487

表40-3

		Q3_兄弟		%
Q3_子		0	1	
	0	94	0	0
	1	45	0	0
		X 2検定		0.000032369
		Fisher直接確率検定		-

表40-4

		Q3_その他		%
Q3_子		0	1	
	0	93	1	1.1
	1	45	0	0
		X 2検定		-
		Fisher直接確率検定		1

表41

		Q4		% ある
Q3_子		1 ある	2 ない	
	0	53	40	57
	1	22	23	48.9
		X 2検定		-
		Fisher直接確率検定		0.639
		その他=1例を除いた		

表42

		Q5			% はい
Q3_子		はい	いいえ	わからない	答えたくない
	0	35	56	1	2
	1	15	29	1	0
		X 2検定		-	
		Fisher直接確率検定		0.76331	

表43

	Q6						% 1年以内
Q3_子	1年以内	1-3年	3年以上前	わからない	NA		
0	8	11	14	2	59	8.5	
1	2	1	11	1	30	4.4	

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.12005

表44

	Q7					% 思う
Q3_子	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	わからない	
0	44	21	14	7	8	46.8
1	23	8	4	6	4	51.1

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.67694

表45-1

	Q8_1		% 1 知っていた
Q3_子	1 知っていた	2 知らなかった	
0	94	0	100
1	45	0	100

X 2検定 0.000032369  
Fisher直接確率検定 -

表45-2

	Q8_2		% 1 知っていた
Q3_子	1 知っていた	2 知らなかった	
0	94	0	100
1	45	0	100

X 2検定 0.000032369  
Fisher直接確率検定 -

表45-3

	Q8_3		% 1 知っていた
Q3_子	1 知っていた	2 知らなかった	
0	94	0	100
1	44	1	97.8

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.32374

表45-4

	Q8_4		% 1 知っていた
Q3_子	1 知っていた	2 知らなかった	
0	92	2	97.9
1	44	1	97.8

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表45-5

	Q8_5		% 1 知っていた
Q3_子	1 知っていた	2 知らなかった	
0	74	20	78.7
1	35	10	77.8

X 2検定 1  
Fisher直接確率検定 1

表45-6

		Q8_6		% 1 知っていた
Q3_子		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	88	6	93.6
	1	41	4	91.1

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.72733

表45-7

		Q8_7		% 1 知っていた
Q3_子		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	94	0	100
	1	45	0	100

X 2検定 0.000032369  
Fisher直接確率検定 -

表45-8

		Q8_8		% 1 知っていた
Q3_子		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	94	0	100
	1	45	0	100

X 2検定 0.000032369  
Fisher直接確率検定 -

表45-9

		Q8_9		% 1 知っていた
Q3_子		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	94	0	100
	1	44	1	97.8

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.32374

表45-10

		Q8_10		% 1 知っていた
Q3_子		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	92	2	97.9
	1	45	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表45-11

		Q8_11		% 1 知っていた
Q3_子		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	94	0	100
	1	41	3	93.2

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.032398

表45-12

		Q8_12		% 1 知っていた
Q3_子		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	74	20	78.7
	1	34	11	75.6

X 2検定 0.83986  
Fisher直接確率検定 0.66936

表45-13

		Q8_13		% 1 知っていた
Q3_子		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	92	2	97.9
	1	45	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表45-14

		Q8_14		% 1 知っていた
Q3_子		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	78	16	83
	1	36	9	80

X 2検定 0.84786  
Fisher直接確率検定 0.64605

表45-15

		Q8_15		% 1 知っていた
Q3_子		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	84	10	89.4
	1	41	4	91.1

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表45-16

		Q8_16		% 1 知っていた
Q3_子		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	89	5	94.7
	1	38	7	84.4

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.056421

表45-17

		Q8_17		% 1 知っていた
Q3_子		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	94	0	100
	1	43	2	95.6

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.10322

表45-18

		Q8_18		% 1 知っていた
Q3_子		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	94	0	100
	1	43	2	95.6

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.10322

表46-1

		Q3_祖父母		%
Q3_父母		0	1	
	0	133	3	2.2
	1	3	0	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表46-2

		Q3_兄弟		%
Q3_父母		0	1	
	0	136	0	0
	1	3	0	0

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表46-3

		Q3_その他		%
Q3_父母		0	1	
	0	135	1	0.7
	1	3	0	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表47

		Q4		% ある
Q3_父母		1 ある	2 ない	
	0	73	62	54.1
	1	2	1	66.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1  
その他=1例を除いた

表48

		Q5				% はい
Q3_父母		はい	いいえ	わからない	答えたくない	
	0	50	82	2	2	36.8
	1	0	3	0	0	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.35472

表49

		Q6					% 1年以内
Q3_父母		1年以内	1-3年	3年以上前	わからない	NA	
	0	10	12	25	3	86	7.4
	1	0	0	0	0	3	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表50

		Q7					% 思う
Q3_父母		思う	やや思う	あまり思わない	思わない	わからない	
	0	67	29	18	11	11	49.3
	1	0	0	0	2	1	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.0071143

表51-1

		Q8_1		% 1 知っていた
Q3_父母		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	136	0	100
	1	3	0	100

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表51-2

		Q8_2		% 1 知っていた
Q3_父母		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	136	0	100
	1	3	0	100

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -



表51-3

		Q8_3		% 1 知っていた
Q3_父母		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	135	1	99.3
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表51-4

		Q8_4		% 1 知っていた
Q3_父母		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	133	3	97.8
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表51-5

		Q8_5		% 1 知っていた
Q3_父母		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	107	29	78.7
	1	2	1	66.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.52069

表51-6

		Q8_6		% 1 知っていた
Q3_父母		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	126	10	92.6
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表51-7

		Q8_7		% 1 知っていた
Q3_父母		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	136	0	100
	1	3	0	100

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表51-8

		Q8_8		% 1 知っていた
Q3_父母		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	136	0	100
	1	3	0	100

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表51-9

		Q8_9		% 1 知っていた
Q3_父母		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	135	1	99.3
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表51-10

		Q8_10		% 1 知っていた
Q3_父母		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	134	2	98.5
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表51-11

		Q8_11		% 1 知っていた
Q3_父母		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	133	3	97.8
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表51-12

		Q8_12		% 1 知っていた
Q3_父母		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	106	30	77.9
	1	2	1	66.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.53388

表51-13

		Q8_13		% 1 知っていた
Q3_父母		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	134	2	98.5
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表51-14

		Q8_14		% 1 知っていた
Q3_父母		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	113	23	83.1
	1	1	2	33.3

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.083335

表51-15

		Q8_15		% 1 知っていた
Q3_父母		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	122	14	89.7
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表51-16

		Q8_16		% 1 知っていた
Q3_父母		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	124	12	91.2
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表51-17

		Q8_17		% 1 知っていた
Q3_父母		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	134	2	98.5
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表51-18

		Q8_18		% 1 知っていた
Q3_父母		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	134	2	98.5
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表52-1

		Q3_兄弟		%
Q3_祖父母		0	1	
	0	136	0	0
	1	3	0	0

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表52-2

		Q3_その他		%
Q3_祖父母		0	1	
	0	135	1	0.7
	1	3	0	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表53

		Q4		% ある
Q3_祖父母		1 ある	2 ない	
	0	74	61	54.8
	1	1	2	33.3

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.60085  
その他=1例を除いた

表54

		Q5				% はい
Q3_祖父母		はい	いいえ	わからない	答えたくない	
	0	48	84	2	2	35.3
	1	2	1	0	0	66.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.59246

表55

		Q6					% 1年以内
Q3_祖父母		1年以内	1-3年	3年以上前	わからない	NA	
	0	9	12	25	2	88	6.6
	1	1	0	0	1	1	33.3

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.026939

表56

	Q7					% 思う	
Q3_祖父母	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	わからない		
	0	66	29	16	13	12	48.5
	1	1	2	2	0	0	20

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.1816

表57-1

	Q8_1		% 1 知っていた	
Q3_祖父母	1 知ってし	2 知らなかった		
	0	136	0	100
	1	3	0	100

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表57-2

	Q8_2		% 1 知っていた	
Q3_祖父母	1 知ってし	2 知らなかった		
	0	136	0	100
	1	3	0	100

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表57-3

	Q8_3		% 1 知っていた	
Q3_祖父母	1 知ってし	2 知らなかった		
	0	135	1	99.3
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表57-4

	Q8_4		% 1 知っていた	
Q3_祖父母	1 知ってし	2 知らなかった		
	0	133	3	97.8
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表57-5

	Q8_5		% 1 知っていた	
Q3_祖父母	1 知ってし	2 知らなかった		
	0	106	30	77.9
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表57-6

	Q8_6		% 1 知っていた	
Q3_祖父母	1 知ってし	2 知らなかった		
	0	127	9	93.4
	1	2	1	66.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.20203

表57-7

		Q8_7		% 1 知っていた
Q3_祖父母		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	136	0	100
	1	3	0	100

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表57-8

		Q8_8		% 1 知っていた
Q3_祖父母		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	136	0	100
	1	3	0	100

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表57-9

		Q8_9		% 1 知っていた
Q3_祖父母		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	135	1	99.3
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表57-10

		Q8_10		% 1 知っていた
Q3_祖父母		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	134	2	98.5
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表57-11

		Q8_11		% 1 知っていた
Q3_祖父母		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	133	3	97.8
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表57-12

		Q8_12		% 1 知っていた
Q3_祖父母		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	106	30	77.9
	1	2	1	66.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.53388

表57-13

		Q8_13		% 1 知っていた
Q3_祖父母		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	134	2	98.5
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表57-14

		Q8_14		% 1 知っていた
Q3_祖父母		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	111	25	81.6
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表57-15

		Q8_15		% 1 知っていた
Q3_祖父母		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	122	14	89.7
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表57-16

		Q8_16		% 1 知っていた
Q3_祖父母		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	124	12	91.2
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表57-17

		Q8_17		% 1 知っていた
Q3_祖父母		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	134	2	98.5
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表57-18

		Q8_18		% 1 知っていた
Q3_祖父母		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	134	2	98.5
	1	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表58

		Q3_その他		%
Q3_兄弟		0	1	
	0	138	1	0.7
	1	0	0	-

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表59

		Q4		% ある
Q3_兄弟		1 ある	2 ない	
	0	75	63	54.3
	1	0	0	-

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1.64E-15  
その他=1例を除いた

表60

		Q5				% はい	
Q3_兄弟		はい	いいえ	わからない	答えたくない		
	0	50	85	2	2	36	
	1	0	0	0	0	0	-

X 2検定 **2.22E-16**  
Fisher直接確率検定 -

表61

		Q6					% 1年以内	
Q3_兄弟		1年以内	1-3年	3年以上前	わからない	NA		
	0	10	12	25	3	89	7.2	
	1	0	0	0	0	0	0	-

X 2検定 **0.0001514**  
Fisher直接確率検定 -

表62

		Q7				% 思う	
Q3_兄弟		思う	やや思う	あまり思わない	思わない	わからない	
	0	67	29	18	13	12	48.2
	1	0	0	0	0	0	-

X 2検定 **1.46E-15**  
Fisher直接確率検定 -

表63-1

		Q8_1		% 1 知っていた	
Q3_兄弟		1 知って	2 知らなかつた		
	0	139	0	100	
	1	0	0	0	-

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 -

表63-2

		Q8_2		% 1 知っていた	
Q3_兄弟		1 知って	2 知らなかつた		
	0	139	0	100	
	1	0	0	0	-

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表63-3

		Q8_3		% 1 知っていた	
Q3_兄弟		1 知って	2 知らなかつた		
	0	138	1	99.3	
	1	0	0	0	-

X 2検定 **2.22E-16**  
Fisher直接確率検定 -

表63-4

		Q8_4		% 1 知っていた	
Q3_兄弟		1 知って	2 知らなかつた		
	0	136	3	97.8	
	1	0	0	0	-

X 2検定 **2.22E-16**  
Fisher直接確率検定 -

表63-5

		Q8_5		% 1 知っていた
Q3_兄弟		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	109	30	78.4
	1	0	0	-

X 2検定 2.07E-11  
Fisher直接確率検定 -

表63-6

		Q8_6		% 1 知っていた
Q3_兄弟		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	129	10	92.8
	1	0	0	-

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表63-7

		Q8_7		% 1 知っていた
Q3_兄弟		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	139	0	100
	1	0	0	-

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 -

表63-8

		Q8_8		% 1 知っていた
Q3_兄弟		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	139	0	100
	1	0	0	-

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 -

表63-9

		Q8_9		% 1 知っていた
Q3_兄弟		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	138	1	99.3
	1	0	0	-

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表63-10

		Q8_10		% 1 知っていた
Q3_兄弟		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	137	2	98.6
	1	0	0	-

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表63-11

		Q8_11		% 1 知っていた
Q3_兄弟		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	136	3	97.8
	1	0	0	-

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -



表63-12

		Q8_12		% 1 知っていた
Q3_兄弟		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	108	31	77.7
	1	0	0	-

X 2検定 **6.53E-11**  
Fisher直接確率検定 -

表63-13

		Q8_13		% 1 知っていた
Q3_兄弟		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	137	2	98.6
	1	0	0	-

X 2検定 **2.22E-16**  
Fisher直接確率検定 -

表63-14

		Q8_14		% 1 知っていた
Q3_兄弟		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	114	25	82
	1	0	0	-

X 2検定 **4.39E-14**  
Fisher直接確率検定 -

表63-15

		Q8_15		% 1 知っていた
Q3_兄弟		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	125	14	89.9
	1	0	0	-

X 2検定 **2.22E-16**  
Fisher直接確率検定 -

表63-16

		Q8_16		% 1 知っていた
Q3_兄弟		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	127	12	91.4
	1	0	0	-

X 2検定 **2.22E-16**  
Fisher直接確率検定 -

表63-17

		Q8_17		% 1 知っていた
Q3_兄弟		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	137	2	98.6
	1	0	0	-

X 2検定 **2.22E-16**  
Fisher直接確率検定 -

表63-18

		Q8_18		% 1 知っていた
Q3_兄弟		1 知ってし	2 知らなかつた	
	0	137	2	98.6
	1	0	0	-

X 2検定 **2.22E-16**  
Fisher直接確率検定 -

表64

		Q4		% ある
Q3_その他		1 ある	2 ない	
	0	75	62	54.7
	1	0	1	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.46043  
その他=1例を除いた

表65

		Q5				% はい
Q3_その他		はい	いいえ	わからない	答えたくない	
	0	49	85	2	2	35.5
	1	1	0	0	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.38849

表66

		Q6					% 1年以内
Q3_その他		1年以内	1-3年	3年以上前	わからない	NA	
	0	10	12	24	3	89	7.2
	1	0	0	1	0	0	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表67

		Q7					% 思う
Q3_その他		思う	やや思う	あまり思わない	思わない	わからない	
	0	67	29	17	13	12	48.6
	1	0	0	1	0	0	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.30935

表68-1

		Q8_1		% 1 知っていた
Q3_その他		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	138	0	100
	1	1	0	100

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表68-2

		Q8_2		% 1 知っていた
Q3_その他		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	138	0	100
	1	1	0	100

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表68-3

		Q8_3		% 1 知っていた
Q3_その他		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	137	1	99.3
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表68-4

		Q8_4		% 1 知っていた
Q3_その他		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	135	3	97.8
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表68-5

		Q8_5		% 1 知っていた
Q3_その他		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	108	30	78.3
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表68-6

		Q8_6		% 1 知っていた
Q3_その他		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	128	10	92.8
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表68-7

		Q8_7		% 1 知っていた
Q3_その他		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	138	0	100
	1	1	0	100

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表68-8

		Q8_8		% 1 知っていた
Q3_その他		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	138	0	100
	1	1	0	100

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表68-9

		Q8_9		% 1 知っていた
Q3_その他		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	137	1	99.3
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表68-10

		Q8_10		% 1 知っていた
Q3_その他		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	136	2	98.6
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表68-11

		Q8_11		% 1 知っていた
Q3_その他		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	135	3	97.8
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表68-12

		Q8_12		% 1 知っていた
Q3_その他		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	107	31	77.5
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表68-13

		Q8_13		% 1 知っていた
Q3_その他		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	136	2	98.6
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表68-14

		Q8_14		% 1 知っていた
Q3_その他		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	113	25	81.9
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表68-15

		Q8_15		% 1 知っていた
Q3_その他		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	124	14	89.9
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表68-16

		Q8_16		% 1 知っていた
Q3_その他		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	126	12	91.3
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表68-17

		Q8_17		% 1 知っていた
Q3_その他		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	136	2	98.6
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表68-18

		Q8_18		% 1 知っていた
Q3_その他		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	136	2	98.6
	1	1	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表69

		Q5				% はい
Q4		はい	いいえ	わからない	答えたくない	
	0	29	46	0	0	38.7
	1	21	39	2	1	33.3

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.013225  
答えたくない=1例を除いた

表70

		Q6					% 1年以内
Q4		1年以内	1-3年	3年以上前	わからない	NA	
	0	7	9	10	3	46	9.3
	1	3	3	15	0	42	4.8

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.06219  
その他=1例を除いた

表71

		Q7					% 思う
Q4		思う	やや思う	あまり思わない	思わない	わからない	
	0	41	15	9	5	5	54.7
	1	26	14	9	8	6	41.3

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.28118  
その他=1例を除いた

表72-1

		Q8_1		% 1 知っていた
Q4		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	75	0	100
	1	63	0	100

X 2検定 1.64E-15  
Fisher直接確率検定 -  
その他=1例を除いた

表72-2

		Q8_2		% 1 知っていた
Q4		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	75	0	100
	1	63	0	100

X 2検定 1.64E-15  
Fisher直接確率検定 -  
その他=1例を除いた

表72-3

		Q8_3		% 1 知っていた
Q4		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	74	1	98.7
	1	63	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1  
その他=1例を除いた

表72-4

		Q8_4		% 1 知っていた
Q4		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	73	2	97.3
	1	62	1	98.4

X 2検定 -  
 Fisher直接確率検定 1  
 その他=1例を除いた

表72-5

		Q8_5		% 1 知っていた
Q4		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	56	19	74.7
	1	52	11	82.5

X 2検定 -  
 Fisher直接確率検定 0.45461  
 その他=1例を除いた

表72-6

		Q8_6		% 1 知っていた
Q4		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	68	7	90.7
	1	60	3	95.2

X 2検定 -  
 Fisher直接確率検定 0.39206  
 その他=1例を除いた

表72-7

		Q8_7		% 1 知っていた
Q4		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	75	0	100
	1	63	0	100

X 2検定 1.64E-15  
 Fisher直接確率検定 -  
 その他=1例を除いた

表72-8

		Q8_8		% 1 知っていた
Q4		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	75	0	100
	1	63	0	100

X 2検定 1.64E-15  
 Fisher直接確率検定 -  
 その他=1例を除いた

表72-9

		Q8_9		% 1 知っていた
Q4		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	75	0	100
	1	62	1	98.4

X 2検定 -  
 Fisher直接確率検定 0.46043  
 その他=1例を除いた

表72-10

		Q8_10		% 1 知っていた
Q4		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	75	0	100
	1	61	2	96.8

X 2検定 -  
 Fisher直接確率検定 0.21802  
 その他=1例を除いた

表72-11

		Q8_11		% 1 知っていた
Q4		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	74	1	98.7
	1	61	2	96.8

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.60085  
その他=1例を除いた

表72-12

		Q8_12		% 1 知っていた
Q4		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	59	16	78.7
	1	48	15	76.2

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.87433  
その他=1例を除いた

表72-13

		Q8_13		% 1 知っていた
Q4		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	75	0	100
	1	61	2	96.8

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.21802  
その他=1例を除いた

表72-14

		Q8_14		% 1 知っていた
Q4		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	65	10	86.7
	1	48	15	76.2

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.28264  
その他=1例を除いた

表72-15

		Q8_15		% 1 知っていた
Q4		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	72	3	96
	1	52	11	82.5

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.024224  
その他=1例を除いた

表72-16

		Q8_16		% 1 知っていた
Q4		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	68	7	90.7
	1	58	5	92.1

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1  
その他=1例を除いた

表72-17

		Q8_17		% 1 知っていた
Q4		1 知ってし	2 知らなかった	
	0	73	2	97.3
	1	63	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.50735  
その他=1例を除いた

表72-18

		Q8_18		% 1 知っていた
Q4		1 知ってし	2 知らなかつた	
		0	73	2
		1	63	0
				97.3
				100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.50735  
その他=1例を除いた

表73

		Q6					% 1年以内
Q5		1年以内	1-3年	3年以上前	わからなし	NA	
	はい	10	12	25	3	0	20
	いいえ	0	0	0	0	85	0
	わからない	0	0	0	0	2	0
	答えたくない	0	0	0	0	2	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表74

		Q7					% 思う
Q5		思う	やや思う	あまり思わない	思わない	わからない	
	はい	27	11	5	4	3	54
	いいえ	39	17	13	8	8	45.9
	わからない	1	1	0	0	0	50
	答えたくない	0	0	0	1	1	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.47196

表75-1

		Q8_1		% 1 知っていた
Q5		1 知ってし	2 知らなかつた	
	はい	50	0	100
	いいえ	85	0	100
	わからない	2	0	100
	答えたくない	2	0	100

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表75-2

		Q8_2		% 1 知っていた
Q5		1 知ってし	2 知らなかつた	
	はい	50	0	100
	いいえ	85	0	100
	わからない	2	0	100
	答えたくない	2	0	100

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表75-3

		Q8_3		% 1 知っていた
Q5		1 知ってし	2 知らなかつた	
	はい	49	1	98
	いいえ	85	0	100
	わからない	2	0	100
	答えたくない	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.38849



表75-4

		Q8.4		% 1 知っていた
Q5		1 知ってし	2 知らなかつた	
	はい	48	2	96
	いいえ	84	1	98.8
	わからない	2	0	100
	答えたくない	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.59246

表75-5

		Q8.5		% 1 知っていた
Q5		1 知ってし	2 知らなかつた	
	はい	38	12	76
	いいえ	69	16	81.2
	わからない	0	2	0
	答えたくない	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.089149

表75-6

		Q8.6		% 1 知っていた
Q5		1 知ってし	2 知らなかつた	
	はい	46	4	92
	いいえ	80	5	94.1
	わからない	0	1	0
	答えたくない	0	0	-

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.22474

表75-7

		Q8.7		% 1 知っていた
Q5		1 知ってし	2 知らなかつた	
	はい	50	0	100
	いいえ	85	0	100
	わからない	2	0	100
	答えたくない	2	0	100

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表75-8

		Q8.8		% 1 知っていた
Q5		1 知ってし	2 知らなかつた	
	はい	50	0	100
	いいえ	85	0	100
	わからない	2	0	100
	答えたくない	2	0	100

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表75-9

		Q8.9		% 1 知っていた
Q5		1 知ってし	2 知らなかつた	
	はい	50	0	100
	いいえ	84	1	98.8
	わからない	2	0	100
	答えたくない	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表75-10

		Q8_10		% 1 知っていた
Q5		1 知ってし	2 知らなかった	
	はい	50	0	100
	いいえ	83	2	97.6
	わからない	2	0	100
	答えたくない	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.55688

表75-11

		Q8_11		% 1 知っていた
Q5		1 知ってし	2 知らなかった	
	はい	49	1	98
	いいえ	83	2	97.6
	わからない	2	0	100
	答えたくない	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表75-12

		Q8_12		% 1 知っていた
Q5		1 知ってし	2 知らなかった	
	はい	36	14	72
	いいえ	70	15	82.4
	わからない	0	2	0
	答えたくない	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.040943

表75-13

		Q8_13		% 1 知っていた
Q5		1 知ってし	2 知らなかった	
	はい	50	0	100
	いいえ	83	2	97.6
	わからない	2	0	100
	答えたくない	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.55688

表75-14

		Q8_14		% 1 知っていた
Q5		1 知ってし	2 知らなかった	
	はい	49	1	98
	いいえ	63	22	74.1
	わからない	0	2	0
	答えたくない	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.000028783

表75-15

		Q8_15		% 1 知っていた
Q5		1 知ってし	2 知らなかった	
	はい	47	3	94
	いいえ	74	11	87.1
	わからない	2	0	100
	答えたくない	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.51341

表75-16

		Q8_16		% 1 知っていた
Q5		1 知って	2 知らなかった	
	はい	44	6	88
	いいえ	79	6	92.9
	わからない	2	0	100
	答えたくない	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.55562

表75-17

		Q8_17		% 1 知っていた
Q5		1 知って	2 知らなかった	
	はい	50	0	100
	いいえ	83	2	97.6
	わからない	2	0	100
	答えたくない	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.55688

表75-18

		Q8_18		% 1 知っていた
Q5		1 知って	2 知らなかった	
	はい	50	0	100
	いいえ	83	2	97.6
	わからない	2	0	100
	答えたくない	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.55688

表76

		Q7					% 思う
Q6		思う	やや思う	あまり思わない	思わない	わからない	
	1年以内	6	2	0	2	0	60
	1-3年	7	3	1	1	0	58.3
	3年以上前	13	6	2	1	3	52
	わからない	1	0	2	0	0	33.3
	NA	40	18	13	9	9	44.9

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.43084

表77-1

		Q8_1		% 1 知っていた
Q6		1 知って	2 知らなかった	
	1年以内	10	0	100
	1-3年	12	0	100
	3年以上前	25	0	100
	わからない	3	0	100
	NA	89	0	100

X 2検定 0.00015137  
Fisher直接確率検定 -

表77-2

		Q8_2		% 1 知っていた
Q6		1 知って	2 知らなかった	
	1年以内	10	0	100
	1-3年	12	0	100
	3年以上前	25	0	100
	わからない	3	0	100
	NA	89	0	100

X 2検定 0.00015137  
Fisher直接確率検定 -

表77-3

		Q8_3		% 1 知っていた
Q6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1年以内	10	0	100
	1-3年	12	0	100
	3年以上前	24	1	96
	わからない	3	0	100
	NA	89	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表77-4

		Q8_4		% 1 知っていた
Q6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1年以内	10	0	100
	1-3年	12	0	100
	3年以上前	24	1	96
	わからない	2	1	66.7
	NA	88	1	98.9

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.20816

表77-5

		Q8_5		% 1 知っていた
Q6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1年以内	8	2	80
	1-3年	7	5	58.3
	3年以上前	21	4	84
	わからない	2	1	66.7
	NA	71	18	79.8

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.335

表77-6

		Q8_6		% 1 知っていた
Q6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1年以内	10	0	100
	1-3年	10	2	83.3
	3年以上前	23	2	92
	わからない	3	0	100
	NA	83	6	93.3

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.62397

表77-7

		Q8_7		% 1 知っていた
Q6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1年以内	10	0	100
	1-3年	12	0	100
	3年以上前	25	0	100
	わからない	3	0	100
	NA	89	0	100

X 2検定 0.00015137  
Fisher直接確率検定 -

表77-8

		Q8_8		% 1 知っていた
Q6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1年以内	10	0	100
	1-3年	12	0	100
	3年以上前	25	0	100
	わからない	3	0	100
	NA	89	0	100

X 2検定  
Fisher直接確率検定 - 0.00015137

表77-9

		Q8_9		% 1 知っていた
Q6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1年以内	10	0	100
	1-3年	12	0	100
	3年以上前	25	0	100
	わからない	3	0	100
	NA	88	1	98.9

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表77-10

		Q8_10		% 1 知っていた
Q6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1年以内	10	0	100
	1-3年	12	0	100
	3年以上前	25	0	100
	わからない	3	0	100
	NA	87	2	97.8

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表77-11

		Q8_11		% 1 知っていた
Q6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1年以内	10	0	100
	1-3年	12	0	100
	3年以上前	24	1	96
	わからない	3	0	100
	NA	87	2	97.8

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表77-12

		Q8_12		% 1 知っていた
Q6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1年以内	7	3	70
	1-3年	10	2	83.3
	3年以上前	18	7	72
	わからない	1	2	33.3
	NA	72	17	80.9

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.41374

表77-13

		Q8_13		% 1 知っていた
Q6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1年以内	10	0	100
	1-3年	12	0	100
	3年以上前	25	0	100
	わからない	3	0	100
	NA	87	2	97.8

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表77-14

		Q8_14		% 1 知っていた
Q6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1年以内	10	0	100
	1-3年	12	0	100
	3年以上前	24	1	96
	わからない	3	0	100
	NA	65	24	73

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表77-15

		Q8_15		% 1 知っていた
Q6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1年以内	9	1	90
	1-3年	11	1	91.7
	3年以上前	24	1	96
	わからない	3	0	100
	NA	78	11	87.6

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.81633

表77-16

		Q8_16		% 1 知っていた
Q6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1年以内	9	1	90
	1-3年	11	1	91.7
	3年以上前	22	3	88
	わからない	2	1	66.7
	NA	83	6	93.3

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.62218

表77-17

		Q8_17		% 1 知っていた
Q6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1年以内	10	0	100
	1-3年	12	0	100
	3年以上前	25	0	100
	わからない	3	0	100
	NA	87	2	97.8

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表77-18

		Q8_18		% 1 知っていた
Q6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1年以内	10	0	100
	1-3年	12	0	100
	3年以上前	25	0	100
	わからない	3	0	100
	NA	87	2	97.8

X 2検定

-

Fisher直接確率検定

1

表78-1

		Q8_1		% 1 知っていた
Q7		1 知ってし	2 知らなかった	
	思う	67	0	100
	やや思う	29	0	100
	あまり思わない	18	0	100
	思わない	13	0	100
	わからない	12	0	100

X 2検定

1.46E-15

Fisher直接確率検定 -

表78-2

		Q8_2		% 1 知っていた
Q7		1 知ってし	2 知らなかった	
	思う	67	0	100
	やや思う	29	0	100
	あまり思わない	18	0	100
	思わない	13	0	100
	わからない	12	0	100

X 2検定

1.46E-15

Fisher直接確率検定 -

表78-3

		Q8_3		% 1 知っていた
Q7		1 知ってし	2 知らなかった	
	思う	66	1	98.5
	やや思う	29	0	100
	あまり思わない	18	0	100
	思わない	13	0	100
	わからない	12	0	100

X 2検定

-

Fisher直接確率検定

1

表78-4

		Q8_4		% 1 知っていた
Q7		1 知ってし	2 知らなかった	
	思う	66	1	98.5
	やや思う	29	0	100
	あまり思わない	17	1	94.4
	思わない	13	0	100
	わからない	11	1	91.7

X 2検定

-

Fisher直接確率検定

0.23851

表78-5

		Q8_5		% 1 知っていた
Q7		1 知ってし	2 知らなかった	
	思う	52	15	77.6
	やや思う	23	6	79.3
	あまり思わない	15	3	83.3
	思わない	9	4	69.2
	わからない	10	2	83.3

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.90938

表78-6

		Q8_6		% 1 知っていた
Q7		1 知ってし	2 知らなかった	
	思う	63	4	94
	やや思う	26	3	89.7
	あまり思わない	17	1	94.4
	思わない	12	1	92.3
	わからない	11	1	91.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.91434

表78-7

		Q8_7		% 1 知っていた
Q7		1 知ってし	2 知らなかった	
	思う	67	0	100
	やや思う	29	0	100
	あまり思わない	18	0	100
	思わない	13	0	100
	わからない	12	0	100

X 2検定 1.46E-15  
Fisher直接確率検定 -

表78-8

		Q8_8		% 1 知っていた
Q7		1 知ってし	2 知らなかった	
	思う	67	0	100
	やや思う	29	0	100
	あまり思わない	18	0	100
	思わない	13	0	100
	わからない	12	0	100

X 2検定 1.46E-15  
Fisher直接確率検定 -

表78-9

		Q8_9		% 1 知っていた
Q7		1 知ってし	2 知らなかった	
	思う	67	0	100
	やや思う	29	0	100
	あまり思わない	18	0	100
	思わない	12	1	92.3
	わからない	12	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.17986



表78-10

		Q8_10		% 1 知っていた
Q7		1 知ってし	2 知らなかった	
	思う	67	0	100
	やや思う	29	0	100
	あまり思わない	17	1	94.4
	思わない	13	0	100
	わからない	11	1	91.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.069753

表78-11

		Q8_11		% 1 知っていた
Q7		1 知ってし	2 知らなかった	
	思う	66	1	98.5
	やや思う	29	0	100
	あまり思わない	18	0	100
	思わない	11	2	84.6
	わからない	12	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.099665

表78-12

		Q8_12		% 1 知っていた
Q7		1 知ってし	2 知らなかった	
	思う	56	11	83.6
	やや思う	21	8	72.4
	あまり思わない	12	6	66.7
	思わない	9	4	69.2
	わからない	10	2	83.3

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.38827

表78-13

		Q8_13		% 1 知っていた
Q7		1 知ってし	2 知らなかった	
	思う	67	0	100
	やや思う	29	0	100
	あまり思わない	17	1	94.4
	思わない	13	0	100
	わからない	11	1	91.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.069753

表78-14

		Q8_14		% 1 知っていた
Q7		1 知ってし	2 知らなかった	
	思う	61	6	91
	やや思う	21	8	72.4
	あまり思わない	14	4	77.8
	思わない	10	3	76.9
	わからない	8	4	66.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.05185

表78-15

		Q8_15		% 1 知っていた
Q7		1 知ってし	2 知らなかった	
	思う	65	2	97
	やや思う	23	6	79.3
	あまり思わない	17	1	94.4
	思わない	11	2	84.6
	わからない	9	3	75

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.0099428

表78-16

		Q8_16		% 1 知っていた
Q7		1 知ってし	2 知らなかった	
	思う	64	3	95.5
	やや思う	24	5	82.8
	あまり思わない	17	1	94.4
	思わない	12	1	92.3
	わからない	10	2	83.3

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.1741

表78-17

		Q8_17		% 1 知っていた
Q7		1 知ってし	2 知らなかった	
	思う	66	1	98.5
	やや思う	29	0	100
	あまり思わない	18	0	100
	思わない	13	0	100
	わからない	11	1	91.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.35033

表78-18

		Q8_18		% 1 知っていた
Q7		1 知ってし	2 知らなかった	
	思う	66	1	98.5
	やや思う	29	0	100
	あまり思わない	18	0	100
	思わない	13	0	100
	わからない	11	1	91.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.35033

表79-1

		Q8_2		% 1 知っていた
Q8_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	139	0	100
	2 知らなかった	0	0	-

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 -

表79-2

		Q8_3		% 1 知っていた
Q8_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	138	1	99.3
	2 知らなかった	0	0	-

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表79-3

		Q8_4		% 1 知っていた
Q8_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	136	3	97.8
	2 知らなかった	0	0	-

X 2検定 2.22E-16

Fisher直接確率検定 -

表79-4

		Q8_5		% 1 知っていた
Q8_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	109	30	78.4
	2 知らなかった	0	0	-

X 2検定 2.07E-11

Fisher直接確率検定 -

表79-5

		Q8_6		% 1 知っていた
Q8_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	129	10	92.8
	2 知らなかった	0	0	-

X 2検定 2.22E-16

Fisher直接確率検定 -

表79-6

		Q8_7		% 1 知っていた
Q8_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	139	0	100
	2 知らなかった	0	0	-

X 2検定 -

Fisher直接確率検定 -

表79-7

		Q8_8		% 1 知っていた
Q8_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	139	0	100
	2 知らなかった	0	0	-

X 2検定 -

Fisher直接確率検定 -

表79-8

		Q8_9		% 1 知っていた
Q8_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	138	1	99.3
	2 知らなかった	0	0	-

X 2検定 2.22E-16

Fisher直接確率検定 -

表79-9

		Q8_10		% 1 知っていた
Q8_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	137	2	98.6
	2 知らなかった	0	0	-

X 2検定 2.22E-16

Fisher直接確率検定 -

表79-10

		Q8_11		% 1 知っていた
Q8_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	136	3	97.8
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表79-11

		Q8_12		% 1 知っていた
Q8_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	108	31	77.7
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		6.53E-11
		Fisher直接確率検定	-	

表79-12

		Q8_13		% 1 知っていた
Q8_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	137	2	98.6
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表79-13

		Q8_14		% 1 知っていた
Q8_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	114	25	82
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		4.39E-14
		Fisher直接確率検定	-	

表79-14

		Q8_15		% 1 知っていた
Q8_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	125	14	89.9
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表79-15

		Q8_16		% 1 知っていた
Q8_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	127	12	91.4
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表79-16

		Q8_17		% 1 知っていた
Q8_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	137	2	98.6
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表79-17

		Q8_18		% 1 知っていた
Q8_1		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	137	2	98.6
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表80-1

		Q8_3		% 1 知っていた
Q8_2		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	138	1	99.3
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表80-2

		Q8_4		% 1 知っていた
Q8_2		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	136	3	97.8
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表80-3

		Q8_5		% 1 知っていた
Q8_2		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	109	30	78.4
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.07E-11
		Fisher直接確率検定	-	

表80-4

		Q8_6		% 1 知っていた
Q8_2		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	129	10	92.8
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表80-5

		Q8_7		% 1 知っていた
Q8_2		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	139	0	100
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定	-	
		Fisher直接確率検定	-	

表80-6

		Q8_8		% 1 知っていた
Q8_2		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	139	0	100
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定	-	
		Fisher直接確率検定	-	

表80-7

		Q8_9		% 1 知っていた
Q8_2		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	138	1	99.3
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表80-8

		Q8_10		% 1 知っていた
Q8_2		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	137	2	98.6
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表80-9

		Q8_11		% 1 知っていた
Q8_2		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	136	3	97.8
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表80-10

		Q8_12		% 1 知っていた
Q8_2		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	108	31	77.7
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		6.53E-11
		Fisher直接確率検定	-	

表80-11

		Q8_13		% 1 知っていた
Q8_2		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	137	2	98.6
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表80-12

		Q8_14		% 1 知っていた
Q8_2		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	114	25	82
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		4.39E-14
		Fisher直接確率検定	-	

表80-13

		Q8_15		% 1 知っていた
Q8_2		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	125	14	89.9
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表80-14

		Q8_16		% 1 知っていた
Q8_2		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	127	12	91.4
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表80-15

		Q8_17		% 1 知っていた
Q8_2		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	137	2	98.6
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表80-16

		Q8_18		% 1 知っていた
Q8_2		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	137	2	98.6
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表81-1

		Q8_4		% 1 知っていた
Q8_3		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	136	2	98.6
	2 知らなかった	0	1	0
		X 2検定	-	
		Fisher直接確率検定		0.021583

表81-2

		Q8_5		% 1 知っていた
Q8_3		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	109	29	79
	2 知らなかった	0	1	0
		X 2検定	-	
		Fisher直接確率検定		0.021583

表81-3

		Q8_6		% 1 知っていた
Q8_3		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	129	9	93.5
	2 知らなかった	0	1	0
		X 2検定	-	
		Fisher直接確率検定		0.071942

表81-4

		Q8_7		% 1 知っていた
Q8_3		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	138	0	100
	2 知らなかった	1	0	100
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表81-5

		Q8_8		% 1 知っていた
Q8_3		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	138	0	100
	2 知らなかった	1	0	100

X 2検定 2.22E-16

Fisher直接確率検定 -

表81-6

		Q8_9		% 1 知っていた
Q8_3		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	137	1	99.3
	2 知らなかった	1	0	100

X 2検定 -

Fisher直接確率検定 1

表81-7

		Q8_10		% 1 知っていた
Q8_3		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	136	2	98.6
	2 知らなかった	1	0	100

X 2検定 -

Fisher直接確率検定 1

表81-8

		Q8_11		% 1 知っていた
Q8_3		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	135	3	97.8
	2 知らなかった	1	0	100

X 2検定 -

Fisher直接確率検定 1

表81-9

		Q8_12		% 1 知っていた
Q8_3		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	108	30	78.3
	2 知らなかった	0	1	0

X 2検定 -

Fisher直接確率検定 0.22302

表81-10

		Q8_13		% 1 知っていた
Q8_3		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	136	2	98.6
	2 知らなかった	1	0	100

X 2検定 -

Fisher直接確率検定 1

表81-11

		Q8_14		% 1 知っていた
Q8_3		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	113	25	81.9
	2 知らなかった	1	0	100

X 2検定 -

Fisher直接確率検定 1



表81-12

		Q8_15		% 1 知っていた
Q8_3		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	124	14	89.9
	2 知らなかった	1	0	100

X 2検定

-

Fisher直接確率検定

1

表81-13

		Q8_16		% 1 知っていた
Q8_3		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	126	12	91.3
	2 知らなかった	1	0	100

X 2検定

-

Fisher直接確率検定

1

表81-14

		Q8_17		% 1 知っていた
Q8_3		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	136	2	98.6
	2 知らなかった	1	0	100

X 2検定

-

Fisher直接確率検定

1

表81-15

		Q8_18		% 1 知っていた
Q8_3		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	136	2	98.6
	2 知らなかった	1	0	100

X 2検定

-

Fisher直接確率検定

1

表82-1

		Q8_5		% 1 知っていた
Q8_4		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	109	27	80.1
	2 知らなかった	0	3	0

X 2検定

-

Fisher直接確率検定

0.0092696

表82-2

		Q8_6		% 1 知っていた
Q8_4		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	128	8	94.1
	2 知らなかった	1	2	33.3

X 2検定

-

Fisher直接確率検定

0.013528

表82-3

		Q8_7		% 1 知っていた
Q8_4		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	136	0	100
	2 知らなかった	3	0	100

X 2検定

2.22E-16

Fisher直接確率検定

-

表82-4

		Q8_8		% 1 知っていた
Q8_4		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	136	0	100
	2 知らなかった	3	0	100

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表82-5

		Q8_9		% 1 知っていた
Q8_4		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	135	1	99.3
	2 知らなかった	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表82-6

		Q8_10		% 1 知っていた
Q8_4		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	135	1	99.3
	2 知らなかった	2	1	66.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.042853

表82-7

		Q8_11		% 1 知っていた
Q8_4		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	133	3	97.8
	2 知らなかった	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表82-8

		Q8_12		% 1 知っていた
Q8_4		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	108	28	79.4
	2 知らなかった	0	3	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.010263

表82-9

		Q8_13		% 1 知っていた
Q8_4		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	135	1	99.3
	2 知らなかった	2	1	66.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.042853

表82-10

		Q8_14		% 1 知っていた
Q8_4		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	112	24	82.4
	2 知らなかった	2	1	66.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.45098

表82-11

		Q8_15		% 1 知っていた
Q8_4		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	123	13	90.4
	2 知らなかった	2	1	66.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.27453

表82-12

		Q8_16		% 1 知っていた
Q8_4		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	125	11	91.9
	2 知らなかった	2	1	66.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.23885

表82-13

		Q8_17		% 1 知っていた
Q8_4		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	134	2	98.5
	2 知らなかった	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表82-14

		Q8_18		% 1 知っていた
Q8_4		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	134	2	98.5
	2 知らなかった	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表83-1

		Q8_6		% 1 知っていた
Q8_5		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	108	1	99.1
	2 知らなかった	21	9	70

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 2.98E-06

表83-2

		Q8_7		% 1 知っていた
Q8_5		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	109	0	100
	2 知らなかった	30	0	100

X 2検定 2.07E-11  
Fisher直接確率検定 -

表83-3

		Q8_8		% 1 知っていた
Q8_5		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	109	0	100
	2 知らなかった	30	0	100

X 2検定 2.07E-11  
Fisher直接確率検定 -

表83-4

		Q8_9		% 1 知っていた
Q8_5		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	108	1	99.1
	2 知らなかった	30	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表83-5

		Q8_10		% 1 知っていた
Q8_5		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	109	0	100
	2 知らなかった	28	2	93.3

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.045355

表83-6

		Q8_11		% 1 知っていた
Q8_5		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	109	0	100
	2 知らなかった	27	3	90

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.0092696

表83-7

		Q8_12		% 1 知っていた
Q8_5		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	98	11	89.9
	2 知らなかった	10	20	33.3

X 2検定 2.2346E-10  
Fisher直接確率検定 1.3779E-09

表83-8

		Q8_13		% 1 知っていた
Q8_5		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	108	1	99.1
	2 知らなかった	29	1	96.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.3863

表83-9

		Q8_14		% 1 知っていた
Q8_5		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	95	14	87.2
	2 知らなかった	19	11	63.3

X 2検定 0.0061424  
Fisher直接確率検定 0.0057557

表83-10

		Q8_15		% 1 知っていた
Q8_5		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	100	9	91.7
	2 知らなかった	25	5	83.3

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.18227

表83-11

		Q8_16		% 1 知っていた
Q8.5		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	101	8	92.7
	2 知らなかった	26	4	86.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.28915

表83-12

		Q8_17		% 1 知っていた
Q8.5		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	107	2	98.2
	2 知らなかった	30	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表83-13

		Q8_18		% 1 知っていた
Q8.5		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	107	2	98.2
	2 知らなかった	30	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表84-1

		Q8_7		% 1 知っていた
Q8.6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	129	0	100
	2 知らなかった	10	0	100

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表84-2

		Q8_8		% 1 知っていた
Q8.6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	129	0	100
	2 知らなかった	10	0	100

X 2検定 2.22E-16  
Fisher直接確率検定 -

表84-3

		Q8_9		% 1 知っていた
Q8.6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	128	1	99.2
	2 知らなかった	10	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表84-4

		Q8_10		% 1 知っていた
Q8.6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	128	1	99.2
	2 知らなかった	9	1	90

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.13919

表84-5

		Q8_11		% 1 知っていた
Q8_6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	127	2	98.4
	2 知らなかった	9	1	90

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.20203

表84-6

		Q8_12		% 1 知っていた
Q8_6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	104	25	80.6
	2 知らなかった	4	6	40

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.008505

表84-7

		Q8_13		% 1 知っていた
Q8_6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	128	1	99.2
	2 知らなかった	9	1	90

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.13919

表84-8

		Q8_14		% 1 知っていた
Q8_6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	108	21	83.7
	2 知らなかった	6	4	60

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.080425

表84-9

		Q8_15		% 1 知っていた
Q8_6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	117	12	90.7
	2 知らなかった	8	2	80

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.26517

表84-10

		Q8_16		% 1 知っていた
Q8_6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	118	11	91.5
	2 知らなかった	9	1	90

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表84-11

		Q8_17		% 1 知っていた
Q8_6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	127	2	98.4
	2 知らなかった	10	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表84-12

		Q8_18		% 1 知っていた
Q8_6		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	127	2	98.4
	2 知らなかった	10	0	100

X 2検定

-

Fisher直接確率検定

1

表85-1

		Q8_8		% 1 知っていた
Q8_7		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	139	0	100
	2 知らなかった	0	0	-

X 2検定

-

Fisher直接確率検定

-

表85-2

		Q8_9		% 1 知っていた
Q8_7		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	138	1	99.3
	2 知らなかった	0	0	-

X 2検定

2.22E-16

Fisher直接確率検定

-

表85-3

		Q8_10		% 1 知っていた
Q8_7		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	137	2	98.6
	2 知らなかった	0	0	-

X 2検定

2.22E-16

Fisher直接確率検定

-

表85-4

		Q8_11		% 1 知っていた
Q8_7		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	136	3	97.8
	2 知らなかった	0	0	-

X 2検定

2.22E-16

Fisher直接確率検定

-

表85-5

		Q8_12		% 1 知っていた
Q8_7		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	108	31	77.7
	2 知らなかった	0	0	-

X 2検定

6.53E-11

Fisher直接確率検定

-

表85-6

		Q8_13		% 1 知っていた
Q8_7		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	137	2	98.6
	2 知らなかった	0	0	-

X 2検定

2.22E-16

Fisher直接確率検定

-

表85-7

		Q8_14		% 1 知っていた
Q8_7		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	114	25	82
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		4.39E-14
		Fisher直接確率検定	-	

表85-8

		Q8_15		% 1 知っていた
Q8_7		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	125	14	89.9
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表85-9

		Q8_16		% 1 知っていた
Q8_7		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	127	12	91.4
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表85-10

		Q8_17		% 1 知っていた
Q8_7		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	137	2	98.6
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表85-11

		Q8_18		% 1 知っていた
Q8_7		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	137	2	98.6
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表86-1

		Q8_9		% 1 知っていた
Q8_8		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	138	1	99.3
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表86-2

		Q8_10		% 1 知っていた
Q8_8		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	137	2	98.6
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	



表86-3

		Q8_11		% 1 知っていた
Q8.8		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	136	3	97.8
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表86-4

		Q8_12		% 1 知っていた
Q8.8		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	108	31	77.7
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		6.53E-11
		Fisher直接確率検定	-	

表86-5

		Q8_13		% 1 知っていた
Q8.8		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	137	2	98.6
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表86-6

		Q8_14		% 1 知っていた
Q8.8		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	114	25	82
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		4.39E-14
		Fisher直接確率検定	-	

表86-7

		Q8_15		% 1 知っていた
Q8.8		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	125	14	89.9
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表86-8

		Q8_16		% 1 知っていた
Q8.8		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	127	12	91.4
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表86-9

		Q8_17		% 1 知っていた
Q8.8		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	137	2	98.6
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定	-	

表86-10

		Q8_18		% 1 知っていた
Q8.8		1 知っていた	2 知らなかった	
	1 知っていた	137	2	98.6
	2 知らなかった	0	0	-
		X 2検定		2.22E-16
		Fisher直接確率検定		-

表87-1

		Q8_10		% 1 知っていた
Q8.9		1 知っていた	2 知らなかった	
	1 知っていた	136	2	98.6
	2 知らなかった	1	0	100
		X 2検定		-
		Fisher直接確率検定		1

表87-2

		Q8_11		% 1 知っていた
Q8.9		1 知っていた	2 知らなかった	
	1 知っていた	135	3	97.8
	2 知らなかった	1	0	100
		X 2検定		-
		Fisher直接確率検定		1

表87-3

		Q8_12		% 1 知っていた
Q8.9		1 知っていた	2 知らなかった	
	1 知っていた	107	31	77.5
	2 知らなかった	1	0	100
		X 2検定		-
		Fisher直接確率検定		1

表87-4

		Q8_13		% 1 知っていた
Q8.9		1 知っていた	2 知らなかった	
	1 知っていた	136	2	98.6
	2 知らなかった	1	0	100
		X 2検定		-
		Fisher直接確率検定		1

表87-5

		Q8_14		% 1 知っていた
Q8.9		1 知っていた	2 知らなかった	
	1 知っていた	113	25	81.9
	2 知らなかった	1	0	100
		X 2検定		-
		Fisher直接確率検定		1

表87-6

		Q8_15		% 1 知っていた
Q8.9		1 知っていた	2 知らなかった	
	1 知っていた	124	14	89.9
	2 知らなかった	1	0	100
		X 2検定		-
		Fisher直接確率検定		1

表87-7

		Q8_16		% 1 知っていた
Q8_9		1 知っていた	2 知らなかった	
	1 知っていた	126	12	91.3
	2 知らなかった	1	0	100
		X 2検定		-
		Fisher直接確率検定		1

表87-8

		Q8_17		% 1 知っていた
Q8_9		1 知っていた	2 知らなかった	
	1 知っていた	136	2	98.6
	2 知らなかった	1	0	100
		X 2検定		-
		Fisher直接確率検定		1

表87-9

		Q8_18		% 1 知っていた
Q8_9		1 知っていた	2 知らなかった	
	1 知っていた	136	2	98.6
	2 知らなかった	1	0	100
		X 2検定		-
		Fisher直接確率検定		1

表88-1

		Q8_11		% 1 知っていた
Q8_10		1 知っていた	2 知らなかった	
	1 知っていた	134	3	97.8
	2 知らなかった	2	0	100
		X 2検定		-
		Fisher直接確率検定		1

表88-2

		Q8_12		% 1 知っていた
Q8_10		1 知っていた	2 知らなかった	
	1 知っていた	108	29	78.8
	2 知らなかった	0	2	0
		X 2検定		-
		Fisher直接確率検定		0.048483

表88-3

		Q8_13		% 1 知っていた
Q8_10		1 知っていた	2 知らなかった	
	1 知っていた	136	1	99.3
	2 知らなかった	1	1	50
		X 2検定		-
		Fisher直接確率検定		0.028673

表88-4

		Q8_14		% 1 知っていた
Q8_10		1 知っていた	2 知らなかった	
	1 知っていた	114	23	83.2
	2 知らなかった	0	2	0
		X 2検定		-
		Fisher直接確率検定		0.031279

表88-5

		Q8_15		% 1 知っていた
Q8_10		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	124	13	90.5
	2 知らなかった	1	1	50

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.19195

表88-6

		Q8_16		% 1 知っていた
Q8_10		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	125	12	91.2
	2 知らなかった	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表88-7

		Q8_17		% 1 知っていた
Q8_10		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	135	2	98.5
	2 知らなかった	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表88-8

		Q8_18		% 1 知っていた
Q8_10		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	135	2	98.5
	2 知らなかった	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表89-1

		Q8_12		% 1 知っていた
Q8_11		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	108	28	79.4
	2 知らなかった	0	3	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.010263

表89-2

		Q8_13		% 1 知っていた
Q8_11		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	134	2	98.5
	2 知らなかった	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表89-3

		Q8_14		% 1 知っていた
Q8_11		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	113	23	83.1
	2 知らなかった	1	2	33.3

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.083335

表89-4

		Q8_15		% 1 知っていた
Q8_11		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	124	12	91.2
	2 知らなかった	1	2	33.3

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.026802

表89-5

		Q8_16		% 1 知っていた
Q8_11		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	125	11	91.9
	2 知らなかった	2	1	66.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.23885

表89-6

		Q8_17		% 1 知っていた
Q8_11		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	134	2	98.5
	2 知らなかった	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表89-7

		Q8_18		% 1 知っていた
Q8_11		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	134	2	98.5
	2 知らなかった	3	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表90-1

		Q8_13		% 1 知っていた
Q8_12		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	107	1	99.1
	2 知らなかった	30	1	96.8

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.39756

表90-2

		Q8_14		% 1 知っていた
Q8_12		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	95	13	88
	2 知らなかった	19	12	61.3

X 2検定 0.0016718  
Fisher直接確率検定 0.0023593

表90-3

		Q8_15		% 1 知っていた
Q8_12		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	100	8	92.6
	2 知らなかった	25	6	80.6

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.083611

表90-4

		Q8_16		% 1 知っていた
Q8_12		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	101	7	93.5
	2 知らなかった	26	5	83.9

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.13919

表90-5

		Q8_17		% 1 知っていた
Q8_12		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	106	2	98.1
	2 知らなかった	31	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表90-6

		Q8_18		% 1 知っていた
Q8_12		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	106	2	98.1
	2 知らなかった	31	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表91-1

		Q8_14		% 1 知っていた
Q8_13		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	114	23	83.2
	2 知らなかった	0	2	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.031279

表91-2

		Q8_15		% 1 知っていた
Q8_13		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	125	12	91.2
	2 知らなかった	0	2	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.0094881

表91-3

		Q8_16		% 1 知っていた
Q8_13		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	125	12	91.2
	2 知らなかった	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表91-4

		Q8_17		% 1 知っていた
Q8_13		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	135	2	98.5
	2 知らなかった	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表91-5

		Q8_18		% 1 知っていた
Q8_13		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	135	2	98.5
	2 知らなかった	2	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表92-1

		Q8_15		% 1 知っていた
Q8_14		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	106	8	93
	2 知らなかった	19	6	76

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.02056

表92-2

		Q8_16		% 1 知っていた
Q8_14		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	104	10	91.2
	2 知らなかった	23	2	92

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表92-3

		Q8_17		% 1 知っていた
Q8_14		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	113	1	99.1
	2 知らなかった	24	1	96

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.32843

表92-4

		Q8_18		% 1 知っていた
Q8_14		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	113	1	99.1
	2 知らなかった	24	1	96

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.32843

表93-1

		Q8_16		% 1 知っていた
Q8_15		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	117	8	93.6
	2 知らなかった	10	4	71.4

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.020289

表93-2

		Q8_17		% 1 知っていた
Q8_15		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	123	2	98.4
	2 知らなかった	14	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表93-3

		Q8_18		% 1 知っていた
Q8_15		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	123	2	98.4
	2 知らなかった	14	0	100

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 1

表94-1

		Q8_17		% 1 知っていた
Q8_16		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	126	1	99.2
	2 知らなかった	11	1	91.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.16578

表94-2

		Q8_18		% 1 知っていた
Q8_16		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	126	1	99.2
	2 知らなかった	11	1	91.7

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.16578

表95

		Q8_18		% 1 知っていた
Q8_17		1 知ってし	2 知らなかった	
	1 知っていた	137	0	100
	2 知らなかった	0	2	0

X 2検定 -  
Fisher直接確率検定 0.00010426



表96 それぞれの質問項目の有意差

	Q1	Q2	Q3 (1) 一人	Q3 (2) 夫婦	Q3 (3)パー トナー	Q3 (4) 友人	Q3 (5) 子	Q3 (6) 父母	Q3 (7) 祖父母	Q3 (8) 兄弟	Q3 (9) その他	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8 (1)	Q8 (2)	Q8 (3)	Q8 (4)	Q8 (5)	Q8 (6)	Q8 (7)	Q8 (8)	Q8 (9)	Q8 (10)	Q8 (11)	Q8 (12)	Q8 (13)	Q8 (14)	Q8 (15)	Q8 (16)	Q8 (17)	Q8 (18)	Q9	Q8-1~ Q18		
Q1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0	
Q2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	
Q3 (1)一人																																				0	
Q3 (2)夫婦																																				0	
Q3 (3)パートナー																																				0	
Q3 (4)友人																																				14	
Q3 (5)子																																				1	
Q3 (6)父母																																				0	
Q3 (7)祖父母																																				0	
Q3 (8)兄弟																																				14	
Q3 (9)その他																																				0	
Q4																																				1	
Q5																																				2	
Q6																																				0	
Q7																																				1	
Q8 (1)																																				14	
Q8 (2)																																				14	
Q8 (3)																																				4	
Q8 (4)																																				8	
Q8 (5)																																				9	
Q8 (6)																																				5	
Q8 (7)																																				10	
Q8 (8)																																				10	
Q8 (9)																																				4	
Q8 (10)																																				9	
Q8 (11)																																				7	
Q8 (12)																																				10	
Q8 (13)																																				8	
Q8 (14)																																				9	
Q8 (15)																																				8	
Q8 (16)																																				5	
Q8 (17)																																				5	
Q8 (18)																																				5	
Q9																																					9

※○はP<0.05

職域における HIV 対策法令・ガイドラインの現状と  
新たな HIV 検査体制構築のための今後の法令等の在り方に関する研究

研究分担者 増田 将史

独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター客員研究員

研究要旨

労働衛生分野における HIV 感染症/エイズ対策として、1995 年に厚生労働省により「職場におけるエイズ問題に関するガイドライン」(以下、ガイドライン)が策定された。ガイドラインにおいては、事業者が職場における自主的な取組を促すべきという内容の他、事業者が労働者の HIV 検査結果を把握しないのを原則とする内容が示されている。一方、事業者が労働者の HIV 検査結果を把握せざるを得ない、あるいは把握することが法令上求められる場面は既に存在しており、ガイドラインの内容と現場の実情との乖離が生じていることから、現場の実態に即した内容への改定について検討すべき段階にきている。2018 年に事業者ごとに策定が義務付けられた健康情報規程に基づき、HIV 検査結果についても事業者が適切に取り扱うという前提のもと、既に職域で普及しつつある肝炎ウイルス検査と同様、検査機会の普及ならびにそれを通じた啓発活動は可能であり、HIV の差別のない社会への第一歩の取組を職域から始めていくことが望まれる。

A. 研究目的

エイズは結核、マラリアとともに世界の三大感染症に位置付けられており、感染者や死亡者の増加による労働力の減少、感染者への偏見や差別という点で、労働衛生上の課題として位置づけられている。

1988 年に WHO 及び ILO は職場におけるエイズ対策についての声明書を発表しており<sup>1)</sup>、日本においては1987年に閣議決定された「エイズ問題総合対策大綱」以降、啓発活動が進められている<sup>2)</sup>。労働衛生分野の取組としては、1993年に厚生労働省が策定した「第8次労働災害防止計画」において、職場における正しい知識の普及のための基盤整備の必要性が示された。さらに感染者である労働者が誤解や偏見により不当な扱いを受ける

ことがないようにするため、1995年に「職場におけるエイズ問題に関するガイドライン」(以下、ガイドライン)が策定され、事業者による職場における自主的な取組を促す内容が示されるに至っている<sup>3)</sup>。このガイドラインは2010年に医療機関等における院内感染対策等の部分が微修正された以外は1995年の発出当初の内容が踏襲されてきており、現場の実情に沿わない面が出てきている。現行のガイドラインの課題と今後の在り方についての検証を本研究の目的とした。

B. 研究方法

愛知県より委託された HIV 感染症/エイズ及び梅毒の検査利用機会拡大と疾病の早期発見・早期治療を促進するモデル事業の展開の過程にお

いて浮かび上がった、職域における HIV 検査実施に関する課題に対応する関連法令・ガイドライン等について、厚生労働省法令等データベースサービスおよび e-Gov 法令検索を用いて抽出した。職域における HIV 検査実施に関連する労働衛生関連法令の記載内容と、職域の活動領域の実情を照合し、齟齬や乖離がある点を列挙するとともに、労働衛生関連法令・ガイドライン等の今後の改正等の在り方について考察した。

### (倫理面への配慮)

本分担研究では生体試料や個人情報を用いていないことから、倫理面の問題は無いと判断した。

## C. 研究結果

「HIV」「エイズ」等の用語で法令検索を行った結果、関連すると思われる法令、ガイドライン等が複数抽出されたが、労働衛生分野における HIV 感染症/エイズ対策は抽出された関連法令等のみで運用されている訳ではなく、また健康情報の取扱い等、間接的に関連する課題も複数存在することから、法令検索結果に依拠せず、ガイドラインを中心に関連法令を適宜参照しつつ考察することとした。

職域における HIV 検査実施に関する課題と、それに対応する現行の関連法令・ガイドライン等について、以下に詳述する。

### 労働衛生上のエイズ対策の位置づけ

労働衛生管理上、個々の労働者の HIV 感染有無を知る必要性は乏しく、差別や偏見を惹起しないことを優先するため、ガイドラインにおいては企業による HIV 検査実施はあまり想定していない。正しい知識の普及啓発といった「労働衛生教育」と、その実施のための「総括管理」を中心に示している。「健康管理」については産業医による個別相談等が示されているに留まっており、健康診断の機

会を活用したスクリーニング等については「事業者は職場において労働者に対する HIV 検査を行わないことが望ましい」と否定的な見解が示されている。

### 職域における HIV 感染症/エイズ対策の現状と課題

一方で、前出のガイドラインの記載内容とは裏腹に、実際の職域の現場では HIV 検査結果を事業者が取り扱う場面が存在する。

一般企業でも遭遇するのは、海外赴任に際し、赴任先の国が HIV の陰性証明を求める場合である。HIV 感染者が海外赴任の辞令を受ける場合、健康状態を理由として赴任不可となることで、HIV に感染していることが事業者に知れ渡ってしまうこととなる。それを回避すべく海外赴任を断る場合であっても、赴任拒否の理由を申告する必要があり、正当な理由のない赴任拒否とみなされると就業規則違反でペナルティを課されることとなる。いずれにせよ、HIV に感染している労働者に一定の不利益が生じる結果となる。

この課題に関して、ガイドラインは「労働者を海外派遣する際に、HIV 抗体検査陰性証明が必要な場合においても、このことを事前に労働者に周知した上で、派遣の希望を確認することが必要である」と示している。希望者のみが海外赴任となるのであれば問題はないが、近年の日本企業のグローバル化、海外事業展開の拡大に伴い、海外では確保困難な高度の専門性を有する人材が本人の希望に関係なく業務命令として赴任する場合も多くあるのが実態と思われる。

その他、厚生労働省以外の省庁の定めにより、HIV 検査を実施する場合がある。航空法施行規則別表第四(身体検査基準)に、「航空業務に支障を来すおそれのあるリウマチ性疾患、膠原病又は免疫不全症がないこと」と規定されている。その基

準に適合するかどうかについての検査及び判定の方法について具体的に定めた「航空身体検査マニュアル」においては<sup>4)</sup>、航空業務の不適合状態として「後天性免疫不全症候群(AIDS)」、「治療中のヒト免疫不全症ウイルス(HIV)感染症」が挙げられており、「HIV 感染について申告があった場合は、認知機能に異常がなく、AIDS でないことを確認すること」「HIV 感染症については、認知機能に異常がなく、AIDS でないことが確認できれば適合とする。ただし、治療中のものは不適合とする」とされている。「申告があった場合」とはされているものの、パイロットや操縦士には通達等で適切な申告を促している他、虚偽申告については刑事罰の規定等もあることから、航空会社等は常に HIV 検査結果の取得や適切な取扱いを求められると言える。なお、諸外国においても日本と同様、HIV 感染症/エイズを航空身体検査の項目としているが、治療中であっても一定の条件のもとで適合とする国も増えてきている<sup>5)</sup>。日本の身体検査基準の妥当性、ひいては検査結果の取扱いの必要性や範囲等についても再検証すべき時期にきていると思われる。

#### D. 考察

##### 職域におけるエイズ対策の今後の在り方

以上のように、ガイドラインの内容と現場の実情との乖離が生じるようになってきている。もちろん、HIV 陽性であることを理由とした不採用や雇止めといった労働者の不利益や労働紛争がいまだに発生していることから、拙速な判断は慎み、慎重に議論すべきである。しかしながら、事業者が労働者の HIV 検査結果を把握しないのを推奨する一方で、把握せざるを得ない、あるいは把握することが法令上も求められる場面は既に存在している。現場の実態に即したガイドラインへの改定について検討すべき段階にきていると考えられる。

健康情報の取扱いについては、2018 年に発出

された「労働者の心身の状態に関する情報の適正な取扱いのために事業者が講ずべき措置に関する指針」において<sup>6)</sup>、心身の状態の情報の三分類が示され、労働安全衛生法令の規定のない健康情報については労働者本人の同意を得ることと併せて事業場ごとの取扱規程により適正な取扱いを定めて運用することが必要である旨、明示された。これに従えば、HIV 検査結果についても前出の指針の要件のもと、事業者が取扱うことは可能であるので、ガイドラインもそれを前提とした内容に改定することが可能と考えられる。

職域における検査について、HIV と同様の課題のある肝炎ウイルス検査については、各業界団体に検査機会の提供を呼び掛ける内容の行政通達を厚生労働省が発出し、普及に努めている<sup>7)</sup>。労働者が健康保険組合の補助等で受診する人間ドックでも、検査項目に肝炎ウイルス検査がセットされる等、馴染みのある検査項目となっている。よって、事業者や健診機関で肝炎ウイルス検査の対応ができるのであれば、HIV 検査についても同様に十分対応可能な筈であるが、我々の研究班で、労働者を対象とした健康診断の機会での HIV 検査事業の実施を企画し、複数の健診機関に打診したが、対応してくれる健診機関は皆無であり、断念せざるを得なかった。対応できない理由として、ガイドラインの記載内容、「事業者は職場において労働者に対する HIV 検査を行わないことが望ましい」が挙げられており、今後のトラブル発生を忌避したためと思われた。ガイドラインそのものが労働者への検査機会の提供や普及啓発を阻害しているという負の側面についても直視すべきと思われる。

#### E. 結論

治療と職業生活の両立支援の重要性が叫ばれるようになって久しい。がんなどの重篤な疾病に労働者が罹患した場合、以前であれば会社を欠勤あ

るいは退職して療養に専念するのが珍しくなかったが、治療法の進歩により、治療をしながら働くことができるようになってきている。そうした労働者のニーズに対応できるようにするための会社の人事制度の整備や産業保健職による支援が重要であるが、加えて「働けない病気」であるといった偏見の解消も課題の一つであり、それなくして両立支援の普及啓発は実現しない。

HIV 感染者についても同様のことが言える。両立支援の取組の更なる普及には HIV を含むあらゆる疾病の正しい知識の普及、啓発が不可欠である。職場で支援が必要な HIV 陽性者を不可視化して隠すのを最優先とするのではなく、時間をかけて徐々に可視化して共存していく方針への転換を図っていくべきである。そのための第一歩としてガイドラインを現状に即した内容に改正し、HIV の差別のない社会への第一歩の取組を職域から始めていくことが望まれる。

## 引用文献

- 1)An ILO code of practice on HIV/AIDS and the world of work, 2001
- 2)「エイズ問題総合対策大綱」について(昭和 62 年 2 月 26 日薬発第 186 号)
- 3)職場におけるエイズ問題に関するガイドラインについて(平成 7 年 2 月 20 日付基発第 75 号・職発第 97 号 労働省労働基準局長・職業安定局長通知)
- 4)航空身体検査マニュアル(令和 4 年 3 月 29 日

一部改正 国空航第 3037 号 国土交通省航空局長)

- 5)澤本尚哉. 航空身体検査におけるヒト免疫不全ウイルス感染症(HIV)の取扱い状況—主要各国の状況—. 宇宙航空環境医学 2021;58:95-100.
- 6)労働者の心身の状態に関する情報の適正な取扱いのために事業者が講ずべき措置に関する指針(令和 4 年 3 月 31 日 労働者の心身の状態に関する情報の適正な取扱い指針公示第 2 号)
- 7)労働者に対する肝炎ウイルス検査の受診勧奨等の周知について(平成 20 年 4 月 1 日基発第 0401026 号 厚生労働省労働基準局長)

## F. 健康危険情報

特になし

## G. 研究発表

1. 論文発表  
なし(産業衛生学雑誌に投稿中)
2. 学会発表  
なし

## H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）  
分担研究報告書

職場における HIV 検査実施に必要とされる配慮と環境に関する研究

研究分担者 生島 嗣（特定非営利活動法人ふれいす東京 代表）

研究協力者 大槻 知子（特定非営利活動法人ふれいす東京）

研究要旨

本研究班では 2017 年より職場における啓発・検査プログラムを実施し、HIV 検査機会と相談支援、HIV/エイズに関する情報の提供を通じ、HIV ステータスにかかわらず働きやすい職場と社会環境づくりを提言している。

今年度は、職域検査を安心して実施できるようにすることを目的に制作した人事等担当者、従業員向け教材の広報強化と、相談窓口の拡充を行った。郵送 HIV 検査の受検前後には特にきめ細やかなサポートが必要であるが、スマートフォン等のメッセージングアプリが活用可能であることが確認された。

A. 研究目的

米国「Business Responds to AIDS (BRITA)」の取り組みを参考に本研究班で立ち上げた「BRITA JAPAN」のプラットフォームでは、職場を基盤とした HIV/エイズの理解促進や、郵送による HIV 検査とそれに付随した相談支援サービスの提供を行ってきた。

今年度もこのプラットフォームを通じ、HIV ステータスにかかわらず多様な人が働きやすい職場環境、および安心して職域検査を利用できるような支援体制の整備に資することを本研究の目的とした。

B. 研究方法

職場における啓発・検査プログラムの一環で昨年度までに制作した動画や冊子等のコンテンツを、SNS 等を通じて広く一般にも周知することとした（図 1）。



図 1: SNS を通じた広報

また、これまで HIV 検査受検前後の相談には電話とメールで対応していたが、新たにチャット窓口（スマートフォン等のメッセージングアプリを通じた相談）を増設し、より多くの人にとって気軽

に相談できるサポート体制を整備した（図 2、次項）。チャット窓口は、啓発・検査プログラムを導入した企業等の従業員を対象に広く利用可能な窓口と、郵送検査キットの結果告知の Web 画面に設置されたバナーから誘導する、陽性の結果を受け取った人向けの窓口の 2 種類を開設して相談員を配置することとした。相談は、いずれの窓口形式においても無料・匿名で受け付けた。

（倫理面への配慮）

本研究は「人を対象とする医学系研究」には該当しない。

C. 研究結果

Web サイト「BRITA JAPAN」 (<https://brta.jp/>) で公開している HIV/エイズと就労にまつわる FAQ 集や、郵送 HIV 検査キットの使用体験動画といった、一般市民にとっても有用な啓発資料、および検査の心理的なハードルを下げられるような情報を、SNS を通じて定期的に発信した。

相談窓口では、企業での啓発・検査プログラム実施時期に寄せられた電話・メール・チャット合わせて 6 件の相談に対応した。検査キットの使用法や結果の見方といった質問のほか、感染不安による相談が寄せられた。チャット窓口では、テキストのやり取りという特性を生かした視覚的にも分かりやすい情報提供や、必要に応じて他の専門機関を紹介するなどのきめ細かい対応を行った。

#### D. 考察

啓発と検査機会がセットで提供され、検査の受検は任意であることと、受検者のプライバシーは守られ、検査結果が雇用に影響しないことが BRTA JAPAN のポリシーである。疾病予防にとどまらず、企業が、そこで働く者一人ひとりの健康管理を応援するというメッセージも随所で伝えられ、相談窓口を通じて啓発・検査プログラムに対する肯定的なフィードバックも寄せられた。

さらに、郵送検査は、検査キットを手にしたとしても使用しない・返送しない層が一定数いることが報告されている。多くの人が日常的に使用する SNS やスマートフォンのメッセージングアプリを通じた情報提供と相談支援は、受検者・受検予定者の不安や手続き上の疑問等に応えるサポートのあり方として、活用可能な選択肢の一つであると考えられた。一方で、今年度新たに設置したチャット相談窓口の存在は、対象者に十分に認知されていたとはいえ、窓口情報の広報に課題が残った。

#### E. 結論

新型コロナウイルス感染症の流行を経て、働く人々の健康増進への取り組みや、疾病や障害等の有無にかかわらず働きやすい環境整備の必要性があらためて見直されてきている。今後も、企業や従業員、広く一般に向けて、本研究班の研究成果の普及啓発を継続していきたい。

#### 参考文献

- 1) Centers for Disease Control and Prevention. HIV in the workplace. Retrieved February 28, 2023, from Centers for Disease Control and Prevention: <https://www.cdc.gov/hiv/workplace/index.html>

#### F. 研究発表

1. 論文発表
  - 1) 生島嗣. HIV/AIDS の予防とケアに係る NGO のあり方. 医学のあゆみ. 284(9): 769-774, 2023.
  - 2) 生島嗣. HIV の新たな予防方法 PrEP の登場と様々な動き. 季刊セクシュアリティ. 107: 96-103, 2022.
2. 学会発表
  - 1) 生島嗣、村崎美和、牧原信也. NPO による HIV 陽性／勾留者への手紙による相談・支

援「お手紙プロジェクト」～報告と考察. 日本エイズ学会、2022 年.

#### G. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

なし

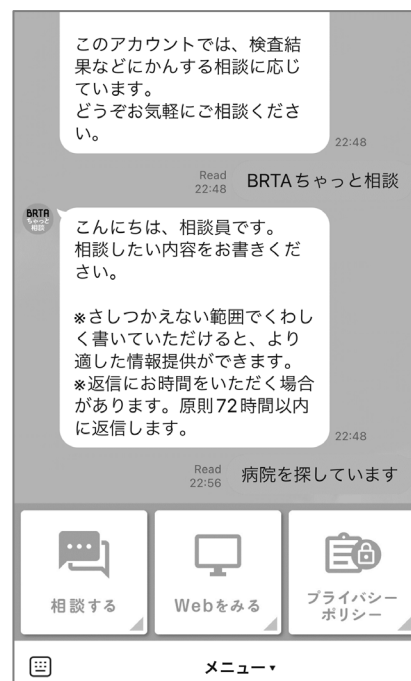


図 2: チャット相談画面 (イメージ)

## 職域健診機会を利用した検査機会拡大のための新たな HIV 検査体制の 構築に向けた研究

### —健診センターにおけるオプション検査としての実施の可能性の検討—

研究分担者 石丸 知宏 産業医科大学 産業生態科学研究所 環境疫学 准教授

#### 研究要旨

HIV検査はプライバシーの保護に留意を要する検査であり、受検の有無や検査結果が職場の関係者に把握されないような仕組みづくりが必要である。近年普及しつつある郵送式HIV検査キットを健診施設での職域健診時に併用することで、受検者のプライバシーに配慮したHIV検査機会を提供できると考え、その運用を立案した。本研究の目的は、健診施設における郵送キットを用いたHIV検査機会の提供の実証および運用上の課題を抽出することである。

2022年8月2日、福岡県内の健診機関Aで健診業務に従事している職員を対象に郵送式HIV検査キットを用いた健診サービスの提供を行った。当該サービスが滞りなく提供できるか実証的に確認するとともに、よりよい運用に向けた方策や課題をアンケートにて抽出した。

6名（医師2名、看護師4名）が郵送キットを用いたHIV検査を実施した。市販の郵送式HIV検査キットを用いることで、プライバシーの保護に留意したサービスを提供でき、アンケートの結果から検査結果の確認、医療機関の紹介、結果消去の機能などに高い満足度が得られることがわかった。参加者から本実証を通してHIV検査の受検のみならず、HIVそのものについて改めて学習するよい機会となったとの声があがった。その一方で、プライバシーの保護に関して、名前ではなく番号で呼び出しを行う、パーテーションを設置する、など様々な意見が出ており、健診センターでのHIV検査の実施にあたっては追加配慮が必要であることが明らかとなった。

本実証により、健診センターにおけるオプション検査として、郵送式HIV検査キットを用いたサービスが一つの提供モデルとなりうることが証明された。アンケートで得られた意見をもとに、「健診施設における郵送キットを用いたHIV検査マニュアル」を作成、研究班HPで公開した。

#### A. 研究背景

HIV検査はプライバシーの保護に留意を要する検査であり、受検の有無や検査結果が職場の関係者に把握されないような仕組みづくりが必要である。本研究班による2020年度の調査により、HIV検査を職域健診で提供する際のプライバシー上の工夫として、健診施設内でのHIV検査の提供および職域健診の結果報告書にHIV検査の結果を記載しないことが重要な点として挙げられた。これらの知見を踏まえ、近年普及しつつある郵送式HIV

検査キットを健診施設での職域健診時に併用することで、受検者のプライバシーに配慮したHIV検査機会を提供できると考え、その運用を立案した。しかし、多くの健診機関ではこれまで郵送キットを用いたHIV検査を活用した実績がないため、その運用にあたっては様々な課題があると考えられる。

そのため、本研究の目的は、健診施設における郵送キットを用いたHIV検査機会の提供の実証および運用上の課題を抽出することである。



## B. 研究方法

本研究は郵送式HIV検査キットを用いた健診サービスの提供を通じた実証の観察ならびにアンケートを用いた質的調査である。具体的には、福岡県内の健診機関Aで健診業務に従事している医師、看護師、保健師、検査技師、医療事務を対象に、郵送式HIV検査キットを用いた健診サービスを提供し、当該サービスが滞りなく提供できるか実証的に確認するとともに、よりよい運用に向けた方策や課題をアンケートにて抽出した。

### 1. 実証の手順

郵送式HIV検査キットを用いた健診サービスとして、研究協力機関の職員会議室に仮設の受付、記入スペース、採血スペース、回収スペースを設け、以下の手順で実施した。

1) 研究対象者は事前配布したHIV検査希望の用紙を受付に提出する。

2) 研究対象者は受付で郵送式HIV検査キットと検査申込書を受領後、記入用スペースに移動して検査申込書に必要事項を記入する。

3) 研究対象者は採血スペースに移動してランセット針を用いた指先での採血を行い、ろ紙に塗布する。

4) 研究対象者は採血後のろ紙と検査申込書を袋に入れた後に、回収スペースにある回収ボックスに提出し、アンケート用紙と検査申込書の控えを受領する。

5) 研究対象者は委託会社が提供する検査結果の閲覧サイトに後日アクセスし、検査申込書の控えに記載のIDやパスワードを入力して、自身の検査結果を確認する。検査結果は1週間以内に検査結果サービスのサイトに登録される。

### 2. アンケート

1)から5)まで実施した後、研究対象者は自由記入式アンケート用紙に健診施設での郵送式HIV検査キットを用いたHIV検査

提供に向けた方策や課題を記入した。

質問票から得られる回答は、①全体、②手続き（申し込み、検査の流れ、導線）、③郵送検査キット（採血の行為、器具、説明書）、④検査の環境（部屋）、⑤検査のスタッフ（人員配置、サポート）、⑥検査結果の確認、⑦その他、に関する意見（良かった点・改善が必要な点など）とした。

それぞれの意見をまとめ、郵送式HIV検査キットを用いた健診サービスの課題を整理し、運用マニュアルを作成した。

本研究は、本研究は、産業医科大学倫理委員会の承認を得て実施した（受付番号R4-018）。

## C. 研究結果

2022年8月2日に本実証を行い、6名が参加した（有効回答率100%）。本実証では、特に大きなトラブルも発生せず、参加者全員が郵送キットを用いたHIV検査を実施した。参加者の属性は医師が2名、看護師が4名だった。各設問に自由記載された意見を示す。

### 1. 全体

「健診では、個別に来る場合と会社で集団数名で来る場合があります。検査に参加しにくい場合が想定されます。」

「治療につながりさえすればウイルス量を抑えて感染させないということなので、入口の検査を進めることはとても大切だと思います。その手段として、企業の健康診断を利用することは窓口を広げることにつながると思いますが、検査を受けることを会社に知られたくないと思う人も多いのではないかと思います。個人的にネットで検査の申し込みができたほうがよいのではないのでしょうか？」

「保健所は行きにくいけど、健診のついでなら受けられる環境を作ることは良いことだと思います。」

「健診と同時受診であれば、受診者は自

分でランセットを使用し、検査するという認識で申し込む人はどのくらいいるのか疑問に思いました。」

「会社に知られず検査ができる＝自分で検査、ということをわかりやすく提示する必要があるのではないか。」

「健診施設で受ける場合も保健所と一緒に無料なのでしょうか。HIV検査を施設健診で実施できるようになった場合の健診機関のメリットはどのようなものがあるのでしょうか。（場所や人員など必要となればメリットがなければ難しいと思います）。」

「健診の中でHIV検査できることはとても画期的だと思います。保健所等に比べるとかなりハードルが下がるのではないかと思います。ただ、部屋や流れや他人の目など気になることもあると思うので、健診のOCRと同封し、健診の受付で提出してもらうのも方法としてはあるのではないかと思います。そうすることで自宅でゆっくり読んでもできるのかなと思いました。」

「セットがコンパクトに設計されていて、針（色やデザイン（流線形）もよい）にも恐怖感がなくて臨めました。」

「自分で検査ができる方法はきちんと主義を実行できれば、とても利用しやすいと思います。」

「はじめはやはり動画学習と少人数グループ制などすぐに聞ける体制が良いのではないかと思います。」

「利便性としては、施設健診と言う場であれば受診者の方は受診しやすいと思います。事前に啓発活動（検査の意味、治療できる病気であること等）が行えれば受診希望される方も増えると思います。」

「検査手技も動画で流す等するとより分かりやすいと思います。（健診の場であれだけの説明書を熟読するのは難しいです）」

「申し込みの記録が残ること自体がストレスになるかもしれないので、完全に匿名であれば、申込書自体は必要ないのではないかと思います。」

## 2. 手続き（申し込み、検査の流れ、導線）

「実際に検査して実施するまで時間がかかりそうです（説明書を読み、理解するのに）。健診の流れよりも個別・自宅でゆっくりがよいかもしれません。」

「申し込みが会社の担当者を通さず、個人的にできるといいのではないかと思います。検査キットも自宅に届いた方が安心して受けられるのではないのでしょうか。健診施設ではまだ受けやすいと思いますが、巡回バスで企業の中で行うとなると心理的に受けることに抵抗があるように感じます。」

「自施設のスタッフ対応ではなかったため、実際のところはよくわかりませんが、申し込みは特に問題ありません。検査の流れ～導線については施設で自身で行っていただく場合、プライバシーの保護を考える必要があると思います（個室は不要？もしくは衝立など）。また、掲示資料は採血のみならず、最初から封入まで手順があった方がよいと思いました。」

「他の検査は全て名前で確認しながら実施しますが、この検査については番号になるのか、名前は呼ばないようにするのか、どうなるのでしょうか？（もし待つ方が発生した場合）」

「説明書に手を洗ってと書いていたので洗面所が近いといいのかなと思いました。」

「申し込み、導線もよかったと思います。記入方法も悩まずでき、控えを複写で持っておけるのもよいです。」

「健診機関にもよりますが、スペースの確保が課題と思います。気にされる方もいると思いますので、個別ブース型ができればと思いますし、手順が分からなくなった時に質問できるように人員配置や呼び出し方法も工夫がいると思います。」

「手洗い場所、ゴミ箱も近くにあるとよいと思いました。出血量が多い人用にテ

イッシュや次の人が使用する前に消毒も必要です。」

### 3. 郵送検査キット（採血の行為、器具、説明書）

「完結型でよく考えられていてよかったです。ご覧いただく順番、フローがもう少しわかりやすく目に入るようにしたらいかがでしょうか。」

「採血キット、ランセットは少し抵抗、不安がありました（チクツとする痛みがどういう痛みなのか、主観で難しいと思いますが）」

「採血は思ったよりも痛かったです。個人差があると思うので仕方ないことです。

採血量が足りず2回採血になったため、2本ランセットが入っていてよかったです。」

「採血の行為は少し怖かったです。痛いと感じました。施設で受けるのに、残血清でできないのかと疑問に感じる方もいると思いました。」

「ランセットは簡便なもので使用しやすかったです。痛みがなければいいのです。」

「書類が申込書を入れて5種類もあり、どれを見たらいいかわかりにくかったです。見てもらいたい順にわかりやすく番号を振る、同じ大きさの用紙で取扱説明書みたいにするなど。」

「採血に失敗して2度指す方がおられることを想定してランセットが2つ入っているとします。刺す場所を変えた方のために、予備の絆創膏があってもよいと思いました。」

「説明書はわかりやすかったのですが、健診中だと眼鏡を持っていない方もいるので、老眼鏡若しくはポスター等大きく印刷された者が必要かと思えます。」

「採血はやはり怖さがあるので、思えない方もいるのではないかと思います。」

「血液が足りず2cm足りなかった場合や2回採血して血液を足してもいいのかなど、Q&Aを貼っておくとその都度聞かず

にできるのではないかと思います。」

「採血は実際にしてみると、やはり「チクツ」とする痛みは感じた。ただ、痛みはそうでもないから、動画のメッセージは受検しやすい雰囲気づくりに良いと思います。」

「ろ紙が4本ついていました。実際には「あなたは何個に血液採取してください」と伝えるような運用になるのでしょうか？」

「2回採血しました。途中で採血できず、不足のためですが、指の少し先端に2回目を行うことで採血できました。非医療職の方は不安（気持ちと使用方法）はより大きくなるのではないかと思います。導入説明会と実際にしてもらった日時をわけて再度説明や実施日説明、アドバイザーの必要性はありますでしょうか。」

「器具が1回のみ使用（針が出ない）の安全設計になっていました。」

「検査申込書の申し込みIDとパスワードはご自身で決めた数字でと左側に係れていましたが、目に入りませんでした。右から左、上から下に呼んでいきますので、右か上に注意事項を書いていただくとよいと思います。」

「動画やもう少しシンプルな説明書があればよいと思います。」

### 4. 検査の環境（部屋）

「どれくらい検査されるかによりますが、部屋を1室確保するのは難しいことが予想されます（検査室、問診、保健指導（特定保健指導外来の要望が健保から強いため）の部屋が足りていません。）」

「数名の希望者で検査するときには会議室のような場所であれば嫌な人もいるかもしれないため、ブースのような感じにするとよいと思います。」

「消毒綿はキットの中に入っていたのですが、流血したのでティッシュなどがあればよいと思いました。また、キット内ではなく、施設で絆創膏を準備、もしくは「お声がけください」などの対応もでき

るかもしれません。」

「なんとなく仕切り番があるといいのかなと思いました。」

「部屋の環境、広さ（対人数割合）は良好でした。」

#### 5. 検査のスタッフ（人員配置、サポート）

「説明書はわかりやすかったものの、実際には尋ねたくなるのではないのでしょうか。対応する人員を考慮する必要があると思いました（様々な職種の方がいるので、理解力に差があることが予想されます）。」

「説明書を読めば検査の方法はわかると思いますが、近くにスタッフがいてくれると安心だと思います。わからないことはすぐに答えてもらえると助かります。」

「家でゆっくり説明書を見ながらするのであれば出来ると思いますが、なんとなくバタバタした環境の中で実施するのであればサポートする人が必要だと思います。ただ、サポートする人がいた場合、怖くてランセットが押せない人がいた時に解除してほしいなど頼まれたりする可能性があります。」

「説明書はわかりやすいですが、やはり疑問点が出てくるのでスタッフが受付以外にいるとすぐに聞けていいのではないかと思います。」

「採血の時、分量かどうかのアドバイスもいただきました。一般の方や採血手技経験の有無によりアドバイザー人数の調整を検討ください。」

「聞きやすい状況や呼び出せる、またはネットでつながる（画像）など必要と思います。」

「迷走神経反射等に備えて見守り、救急対応が必要です。」

#### 6. 検査結果の確認

「検査結果の確認はスムーズ、申込書の控えもあり、IDやパスワードの入力もしやすい。匿名検査であり、安心できました。」

病気の説明もわかりやすく、動画もよいと思いました。また、医療機関の検索もしやすかったです。」

「説明を受けたのかもしれませんが、いつ結果が出るのかわからなかったです。お客様控えに受付日から1-3日後に結果が出ると書いてあったので、よく読めば分かったのですが。」

「結果の画面に病院が検索できるようになっていたことが良かったです。」

「特に問題なく確認することができました。郵送キットの下の方にPC、スマホ、タブレット対応の表記がありますが、そこにもQRコードがあるといいと思いました。」

「会社のPCで確認しましたが、大きく〇〇ですと出たらどうしようかと思いましたが、ぱっと見はわからないくらいのさりげない結果の提示でよかったです。また、なぜ3か月の説明が詳しく書いてあり、わかりやすかったです。」

「同ページから医療機関を検索出来たり、データ消去できるのもよいと思いました。」

「ログイン後、結果発表（いつ頃です）のメッセージに信頼感がわきました。」

「結果表の発行、案内状の発行も、セルフでしたい人ができる仕様は素晴らしいと思います。」

「医療機関の検索期間も近医を見ることができました。陰性陽性に関わらず、有症状者へのケアの点も行き届いていると思います。」

「完全に匿名なのが良いと思いました。」

#### 7. その他

「きちんと説明書を読めば、必要なことは書かれていると思いますが、とにかく説明書を見るのが面倒に感じてしまいました。実際に検査を受ける人は気になっていることなので、細かに説明書を見られているのだろうと思います。動画で検査の方法が見れるところが良かったです。」

「HIVは不治の病で死に直結しているイ

メージでした。特に40-50代以降の人はそのころはやっていたドラマの影響もあり、感染—発症—死亡の印象があります。見つければコントロールできる病気になった、だから発見しましょう！という広告が必要に感じます。若者を中心にSNSなど利用し、宣伝してみるなど。」

「HPはすごくみやすかったです。病院検索もできてとてもよいと思いました。」

「施設側の問題になりそうですが、オプションであれば支払いの時にHIV検査代は…など言わないようにする必要があります。」

「治療をすることで99%が発症しないことや治療法も多くあること、昔のように不治の病ではないことをもっと周知できたら、検査を受けやすくなるのではないかと思います。」

「その他のSTDも同時に検査できるとよい。」

「利用しやすく、希望する人がアクセスしやすい環境を整え、広く普及できることを願っています。」

「データの消去も自由意志で実行できることもよいと思いました。」

「安価（500円くらい）で自動販売機などで変えて自己検査できると気になっている人は検査を匿名で受けやすいのかなと思いました。さすがに無理でしょうか？」

「社会全体に対する啓発活動が絶対に必要です。偏見が残る中で職域健診は難しいです。」

「保健所以外でも街中で（今のPCRセンターみたいに）受けやすい環境が作れると良いと思います。自己採血なら薬局なども可能かもしれません。」

「公共広告機構（AC）などでCMを流してほしいです。発病を抑えられる病気なのでまず検査を。」

#### D. 考察

本実証により、健診センターにおけるオプション検査として、郵送式HIV検査キットを用いたサービスが一つの提供モ

デルとなりうるということが証明された。市販の郵送式HIV検査キットを用いることで、プライバシーの保護に留意したサービスを提供でき、アンケートの結果から検査結果の確認、医療機関の紹介、結果消去の機能などに高い満足度が得られることがわかった。参加者から本実証を通してHIV検査の受検のみならず、HIVそのものについて改めて学習するよい機会となったとの声があがった。そのため、健診センターにおけるオプション検査の提供は労働者のHIV感染症の教育機会としても寄与する可能性がある。

その一方で、プライバシーの保護に関して、名前でなく番号で呼び出しを行う、パーテーションを設置する、など様々な意見が出ており、健診センターでのHIV検査の実施にあたっては追加配慮が必要であることが明らかとなった。そのような意見を集約し、「健診施設における郵送キットを用いたHIV検査マニュアル」を作成、研究班HPで公開した（添付資料1）。また、自己採血に関する恐怖や痛み、再採血など、検査キットに対する不満の声が上がった。そのため、残血清を使用したHIV検査など、受検者の負担の少ないHIV検査のあり方について引き続き検討する必要がある。

#### E. 結論

本実証により、健診センターにおけるオプション検査として、郵送式HIV検査キットを用いたサービスが一つの提供モデルとなりうるということが証明された。そのため、アンケートで得られた意見を集約し、「健診施設における郵送キットを用いたHIV検査マニュアル」を作成、研究班HPで公開した（<https://brta.jp/topics/232>）。

#### E. 研究発表

1. 論文発表  
なし

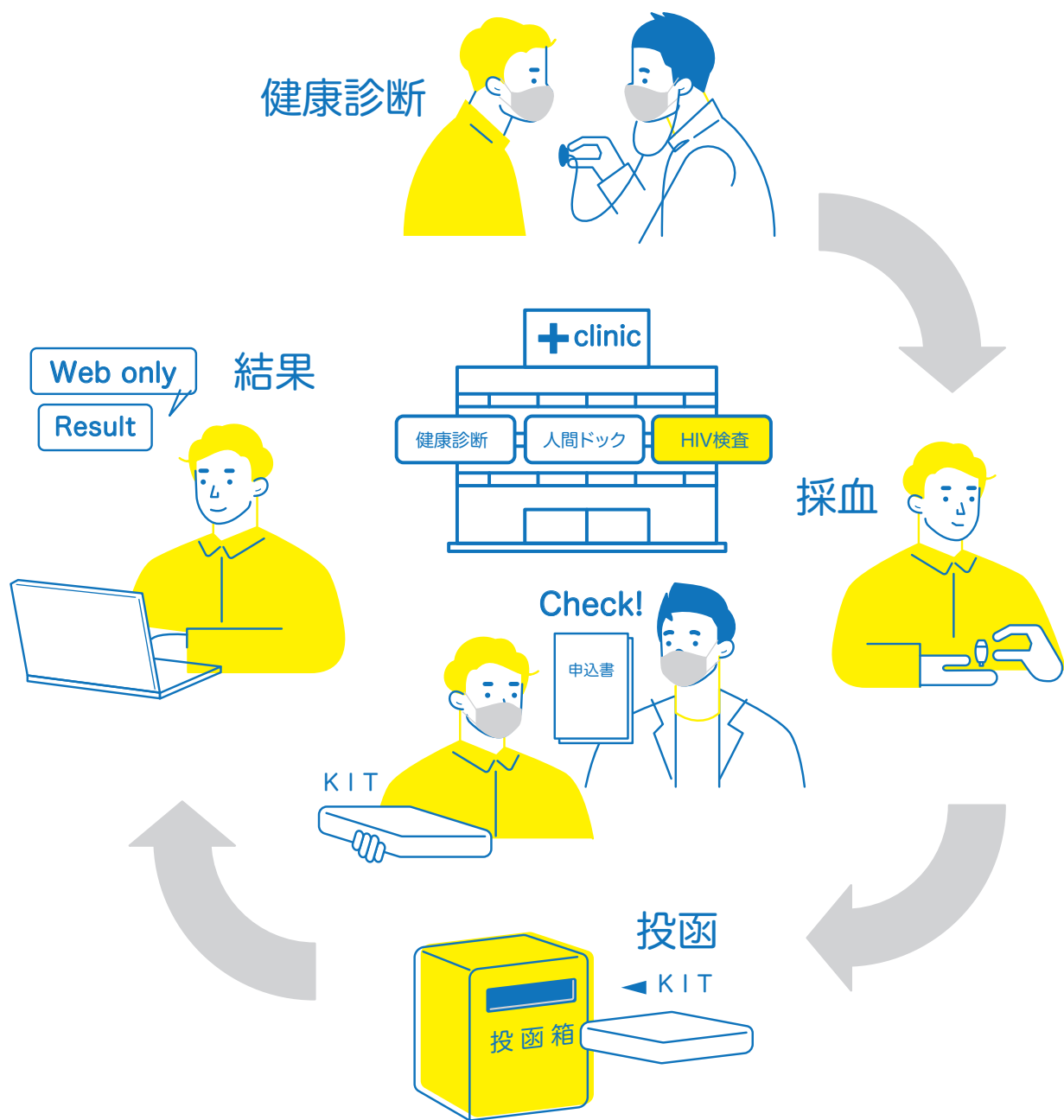
厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）  
分担研究報告書

2. 学会発表

渡邊聖二，轟木基，石丸 知宏．事業場  
における健康情報等の取扱規定の策定の  
現状．第95回日本産業衛生学会，高知．  
2022年5月．

F. 知的財産権の出願・登録状況

- |           |         |
|-----------|---------|
| 1. 特許取得   | なし(非対象) |
| 2. 実用新案登録 | なし(非対象) |
| 3. その他    | なし(非対象) |



健診施設における郵送キットを用いた

HIV 検査マニュアル

健診施設における郵送キットを用いた HIV 検査マニュアル

昔は不治の病というイメージがあったエイズですが、治療の進歩によりHIV感染早期にきちんと治療を受ければ、エイズを発病することもなく、普通の生活を送ることができるようになってきました。早期発見と治療のためにHIV検査が大切です。

職場や健保組合の健康診断や人間ドックは様々な病気を見つける機会になっており、すでに各種がんの検査、肝炎ウイルス検査が広く行われています。その一方で、エイズはいまだに差別や偏見の強い病気であり、HIV検査機会の提供にあたっては、以下のような配慮が求められます。



- だれがHIV検査を受けたか職場の人に知られないようにする
- HIV検査の結果がどうであったか職場の人に知られないようにする

これらに配慮したHIV検査の提供方法の一つとして、郵送キットの活用があります。自宅などでランセットという小さな医療用針を用いて指先から微量の血液を自身で採取し、検査機関に郵送することで、検査結果をウェブサイトで見ることができサービスの中で、近年様々な場面で用いられるようになってきました。

本マニュアルでは、健診施設での郵送キットを活用したHIV検査を提供する際の運用とその際に使用できるツール、書式をまとめています。



## 【1】郵送キットを用いたHIV検査の流れ

健診施設での郵送キットを活用したHIV検査には、健診施設で郵送キットによるHIV検査を行う「完結型」と健診施設で郵送キットを配布し、自宅などでHIV検査を行ってもらう「配布型」があります。本マニュアルは前者の運用について紹介しています。

●受検者本人が行う作業は以下の通りです。

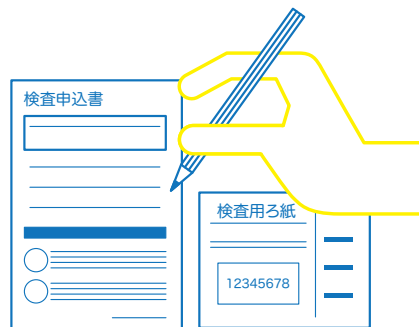
### 1 検査希望の申し込み



### 2 検査キットの受領



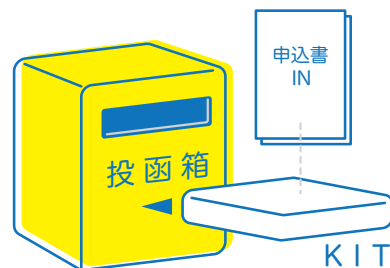
### 3 検査申込書の記入



### 4 自己採血



### 5 検体と検査申込書の封入と投函



●健診機関が行う作業は以下の通りです。

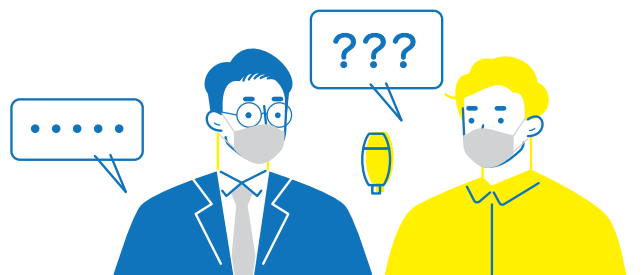
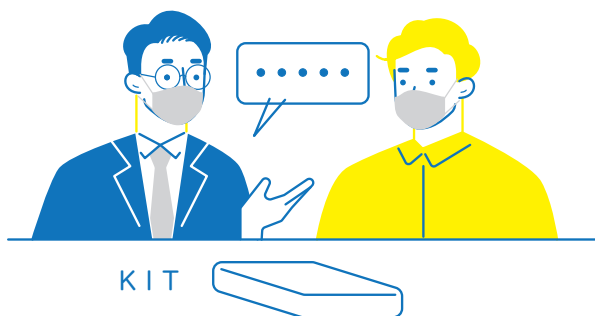
## 1 検査希望の申込書の配布



## 2 検査希望の申し込みの受付

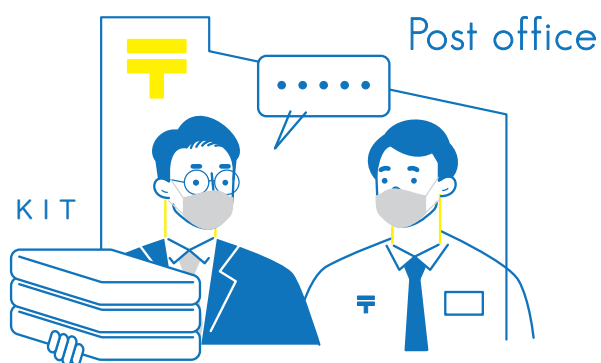


## 3 検査手順の説明と検査キットの配布



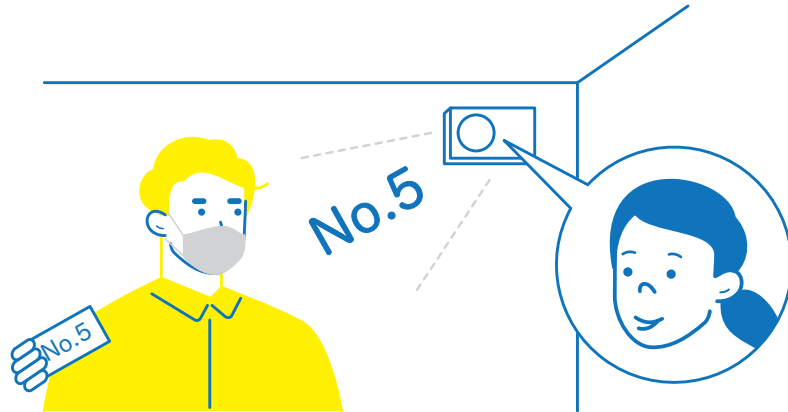
## 4 検査申込書の記入や自己採血のサポート

## 5 郵便物(検体)の回収と郵便局窓口での発送手続き



## 【2】郵送キットを用いたHIV検査を行う際の運用

### 1 受付



●職場や健保組合の健康診断や人間ドックに加えて、郵送キットを活用したHIV検査の希望があるか受検者に確認します。確認方法の一つに、検査希望の申込書を事前に配布しておき、検査当日に持参してもらう方法があります（添付資料1）。

●受検者には受付番号を付与し、呼び出しの際には名前ではなく番号で呼ぶようにします。

### 2 会場



●HIV検査を行う会場は他の受検者とは別にするなどプライバシーへの配慮が必要です。独立した会場を確保し、検査の説明、自己採血のサポート、検体の回収を行うスペースの確保、机やパーテーションの設置、スタッフを配備する必要があります。

●検査会場は、検査キットの配布と説明を行う受付カウンター、各受検者が検査申込書の記入と自己採血を行うブース、郵送物を投函するスペースで構成されます。検査の一連の流れを考慮した導線を設計します（添付資料2）。

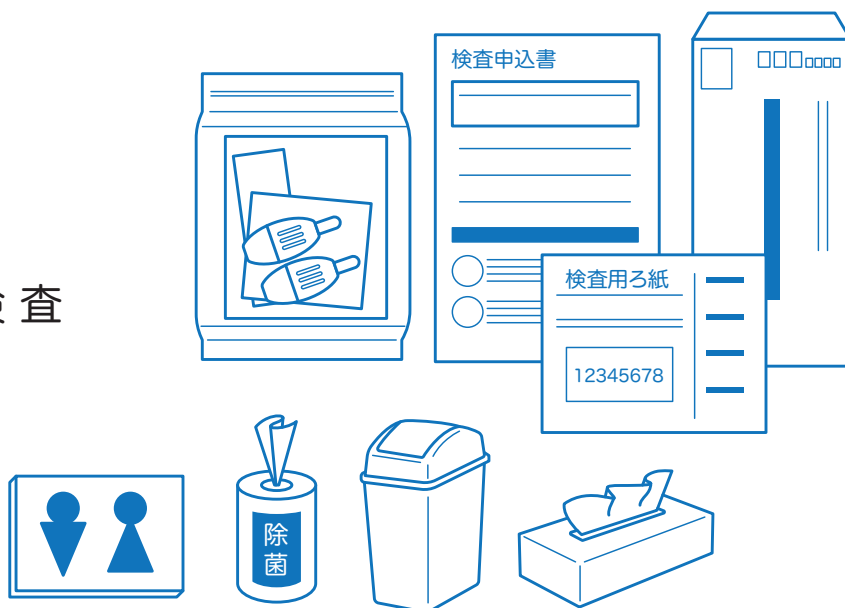
### 3 検査スタッフ



●検査時には少なくともスタッフ1名が常駐し、補助する必要があります。具体的には、検査キットの配布と説明、検査申込書への記入や自己採血、返信用封筒への封入、投函といった各作業への補助が挙げられます。

●検査を完了した受検者に対して、HIV検査の結果は他の健診結果と別に、受検者本人が検査会社のサイトにアクセスし、確認する必要があることを付属のHIV検査説明書に基づいて説明します。

### 4 検査



●机を共有して自己採血をする場合、書類や検体の取り違えが発生する可能性があるため、自己採血を行うにあたり十分な広さの机を複数台配置してパーティションで分割する、もしくは一人ずつ対応します。

●必要に応じて手洗いができるように流し台やトイレがある場所を掲示します。また、机を清潔に保つために除菌シート、ティッシュやごみ箱を設置します。

●郵送検査キットには、商品説明書、検査申込書、返信用封筒、HIV検査説明書、器具取扱説明書と採血セットが入っています。

●各書類の確認、必要事項の記入、自己採血、郵送物への封入といった一連の流れがスムーズに行われるように受付で事前説明するとともに、自己採血スペース周辺に検査キットの使用手順を掲示します（添付資料3）。

●郵送物を投函箱に投函したら受検者本人の作業は完了です。投函箱は外から中が見えない容器にしてプライバシーに配慮します。スタッフが郵便物（検体）を回収した後、郵便局窓口で一括での発送手続きを行います。

## 5

### 検査トラブルへの対応



●迷走神経反射や出血トラブルに備えて少なくともスタッフ1名が常駐する必要があります。

●器具取扱説明書の注意事項を参考に、以下の者は検査を控えるように説明します。

- ・出血性の疾患で止血機能が低下している者
- ・特定の疾患の治療中で薬剤を内服し、止血機能が低下している者
- ・ショックアレルギーの既往や出血した場合に血の止まりにくい者

●アルコール消毒にアレルギーがある方には付属の消毒綿を使用しないようにします。

●必要な採血量が接種できなかったときは予備のランセットを使用します。

●HIV検査に関する問い合わせは検査会社の窓口に行うよう伝えます。

## NOTE

郵送検査キットは管理医療機器等（クラスII）に該当するため、サービス提供にあたっては都道府県知事（市長又は区長）への届出（薬機法39条の3第1項）や管理者（医師、歯科医師、薬剤師等）の設置（同法39条の2第1項）が必要です。

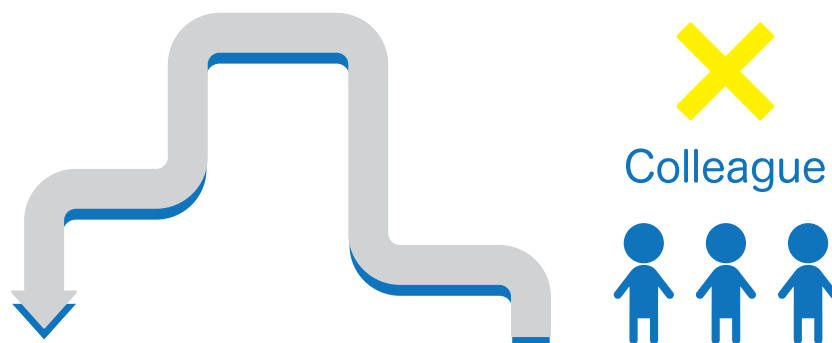
### 【3】職域健診のオプションとして提供する際の留意点



●HIV検査の結果を職場や健保組合の職員が把握しないよう注意を促します。経費手続き等で受検の有無に関する情報を職場の職員が扱う場合、本情報を取扱う者の範囲をあらかじめ取り決めるなど、職場内部における適正な取扱いを定めて運用します。

●事前に職場で教育研修を行い、職員がHIV検査の意義や方法について理解を深めた上で実施できるよう支援します。

●同じ職場から複数の職員が一斉に健診施設で健診を受ける場合、職員間の時間的間隔を十分に確保するなどして、可能な限りHIV検査を行うタイミングがずれるように工夫します。



## HIV検査を受けてみませんか？

エイズとは、HIVというウイルスの感染によっておこる病気です。HIVは性行為や血液を介して感染しますが、かなり病気が進行するまで自覚症状がでないことも多く、早期発見と治療のためにHIV検査が大事です。昔は不治の病というイメージがあったエイズですが、治療の進歩によりHIV感染早期にきちんと治療を受ければ、エイズを発病することもなく、普通の生活を送ることができるようになってい

ます。  
郵送キットを利用した検査を通して、HIVに感染している可能性をスクリーニングできます。郵送キットは、ランセットという小さな医療用針を用いて指先から微量の血液を自身で採取し、検査機関に郵送することで、検査結果をウェブサイトで見ることができる匿名のサービスであり、比較的手軽に検査できることから近年急速に普及しています。

検査は任意ですが、この機会にぜひ受けてみてください。

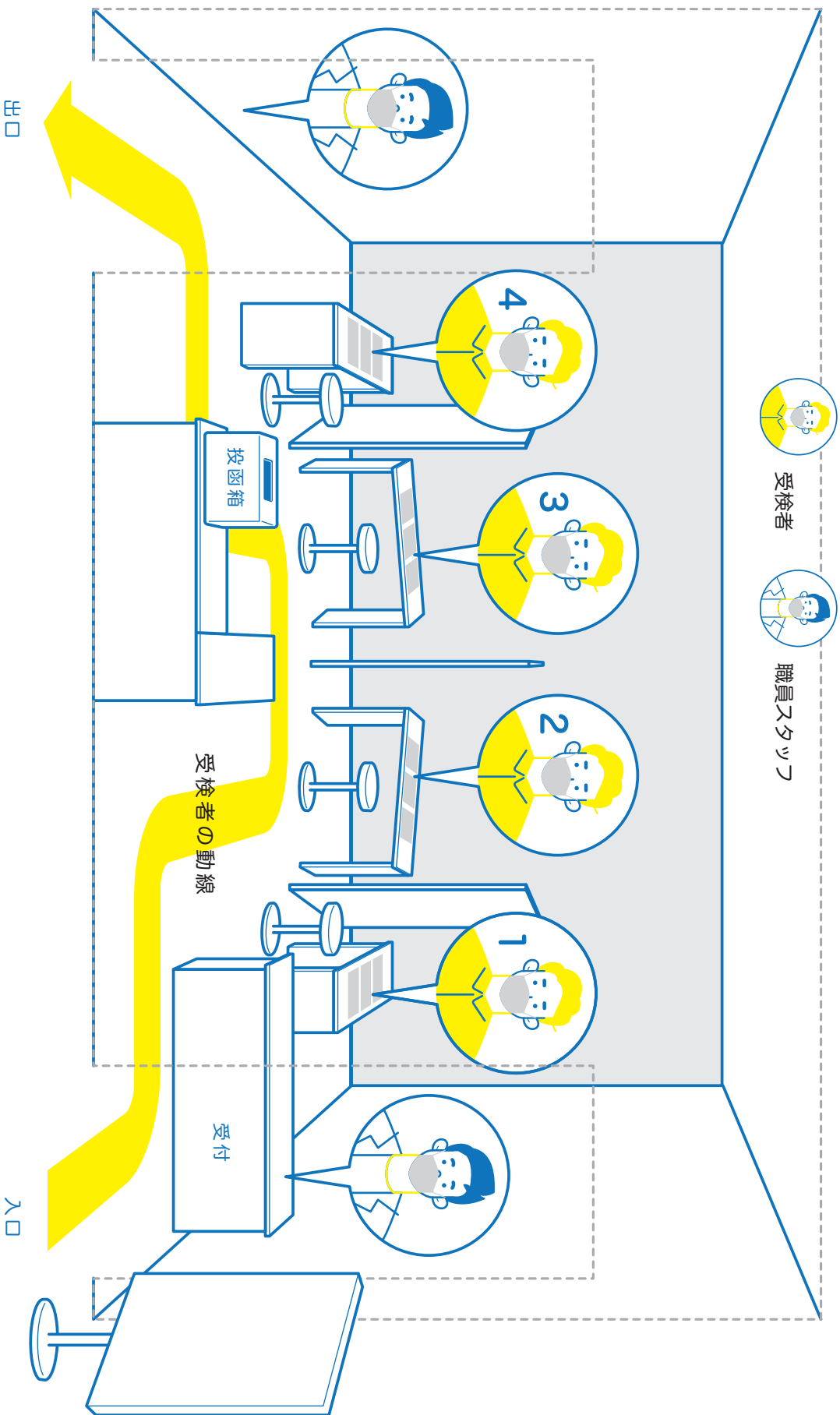
※HIV検査を希望する方のみ、

ご記入の上、一般健診受診時に受付にご提出ください。

年 月 日

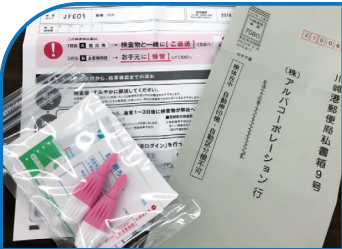






氏名	
生年月日	年 月 日
住所	
電話番号	( ) -

# 検査会場のレイアウトイメージと動線





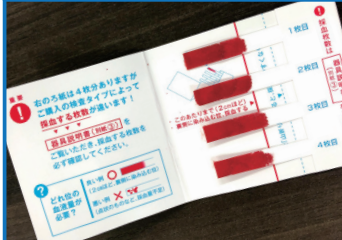
添付資料3. HIV自己検査キットの使用手順(1)

	<p>1 開封したキット全体</p>
	<p>2 検査申込書に必要事項を記入します。ここで申込ID(8ケタの予約番号)やパスワード(ご自身で決めて頂きます)を記入します。採血用紙のオモテ面にもID(上記予約番号)を記入します。</p>
	<p>3 針を刺す部分を同封されているアルコール綿で消毒します。</p>
	<p>4 ランセット針の保護キャップをねじって引っ張り、ホルダーから取り外します。</p>
	<p>5 ホルダーを指で保持し、刺す場所を選び、皮膚を張らせた状態でホルダーの先端部分を刺す場所に押し当てます。</p>
	<p>6 「カチッ」と音がするまでさらに押し付けます。</p>
	<p>7 指先に血をためます。血玉になるまでできるだけ多くの量をためてください。血が止まりそうな場合、指先に向けて押し出すようにマッサージすると効果的です。</p>

添付資料3. HIV自己検査キットの使用手順(2)



8 出てきた血液はろ紙に染みこませます。  
 どんどん指の腹を押して、  
 血液を出してはくり返し染みこませます。



9 規定の線までろ紙に血液が染みこんだら  
 検査完了です。(1項目につきろ紙1本使用)



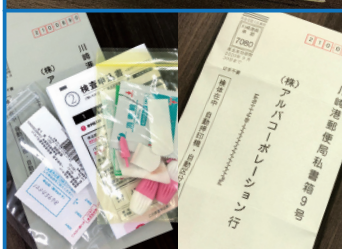
10 同封されている絆創膏を貼ります。



11 ろ紙は採血セットが入っていた袋（透明な袋）  
 に入れます。



12 ごみは全て黄色い袋に入れます。  
 (検査会社にて医療廃棄物を処理してもらうため)



13 ろ紙と検査申込書の1枚目、  
 ごみの入った黄色い袋をすべて封入して完了です。



2023年1月

令和4年度 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業

「職域健診機会を利用した検査機会拡大のための新たなHIV検査体制の構築に向けた研究（代表研究者：横幕能行）」

(20HB1004)

研究分担者 産業医科大学産業生態科学研究所環境疫学研究室 石丸知宏

職域での健診機会を利用した検査機会拡大のための  
新たなHIV検査体制の構築に向けた研究

研究分担者 今橋 真弓

名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部 感染症研究室長

研究要旨

参加企業がキット申し込みの URL を従業員に一斉送信し、従業員が自ら検査キットを申し込むことで、職域での HIV/梅毒検査機会の提供を行った。検査結果の確認はキット申込者（参加者）が設定した ID・パスワードを使用して結果通知専用サイト上でアンケート回答後行われた。

3企業が参加し、323人のキット申し込みがあった。郵送キット返送率はキット申込者の60.7%（196人）と低く、結果確認はキット返送者の71%（140人）にとどまった。アンケート回答者140人のうち男性は71.4%（100人）で43%が独居であった。HIVに関する知識については例年同様「感染している人とキスをしても感染しない」「HIVは蚊によってうつされることはない」「保健所では無料でHIV検査が受けられる」の3項目が知らなかった知識として20%前後の参加者が挙げていた。

今後は使われないキットを減らす工夫が必要であることと、HIVの知識に関する啓発が必要であることが示唆された。

A. 研究目的

先行研究において、我々はHIV感染症/エイズ及び梅毒（以下、エイズ等）の検査利用機会拡大と疾病の早期発見・早期治療を促進するモデル事業を受託した愛知県から委託された。郵送検査キット利用と適切な企業選択により「職場におけるエイズ問題に関するガイドライン（以下ガイドライン）」を遵守しつつ従業員に不利益なく検査機会の提供を目的とした。

B. 研究方法

対象は雇用保障、プライバシー管理及び健康支援のポリシーを保証する企業及びその正規従業員とした。検査機会提供に先立ってエイズ等の疾病知識の普及啓発の取組みを行うことを必須の条件とし、エイズ等検査機会は郵送検査キットによって提供した。

健診期間内に全従業員に対し参加企業は郵送キット申し込みURLを社内メールで一斉送信した。検査希望者は郵送検査キットを個人端末からweb申込を行った。郵送検査会社から検査希望者が指定した住所へキットが郵送された。

本研究参加企業は、どの従業員が郵送キットを申し込んだか、返送したか、検査結果については一切把握していない。

本研究参加者は所定の締め切り日までに自己採血を郵送検査キット内のランセット針で行い、ろ紙に血液を染み込ませ、郵送検査会社に返送した。検査結果は予め参加者が指定したID・パスワードを使用し、結果通知専用サイトより参加者が結果

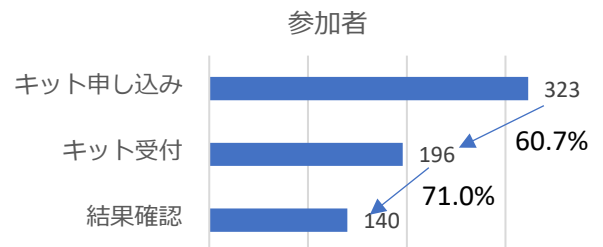
を確認した。必要あれば、郵送検査会社またはぶれいす東京が行う「LINE相談」に相談可能とした。結果確認前にアンケート回答を必須とし、アンケート回答後、結果通知ページへとアクセス可能とした。

C. 研究結果

本研究には3企業が参加し、令和4年12月1日（1社のみ11月28日）より社員への本研究の周知を行った。

3社合計で323人よりキット取り寄せの申し込みがあった。その内実際に自己採血を行って検査キットを返送したのは196人（キット使用率：60.7%）であり、結果を閲覧したのは140人とキット返却者の71.0%であった（2023年1月10日時点）（図1）。

図1：受検者キット返送率・結果確認率



検査結果確認時に結果確認サイト上でアンケート調査を行った。有効回答数は140人（100%）であった。回答者の性別と年代は表1の通りである。表2に

は同居者の有無を記載した。およそ57%に同居者がいることが分かった。

表1：受検者の内訳(アンケート回答分：140人)  
(性別その他・40代：1人) 単位：人

性別	受検者の年齢構成						計
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	
男性	0	16	47	61	29	2	100
女性	0	22	25	39	3	1	39

表2：同居者の有無

同居, n(%) (複数回答)	n	(%)
ひとり暮らし	60	(43)
夫・妻	76	(54)
パートナー・恋人	1	(1)
友人	0	(0)
子	45	(32)
父母	3	(3)
祖父母	3	(3)
兄弟	0	(1)
その他	1	(1)

各受検者の検査経験については53%の受検者が前にも本プログラムを利用してHIV検査を行ったことがあると回答した(図2)。本プログラム以外でのHIV検査歴の有無については61%の受検者が「いいえ」と答えた(図3)。また本プログラム以外でも検査歴のある受検者については50%が「3年以上前」と回答していた(図4)。金額の問題を除外して、会社の健診でHIV検査を実施してほしいと「思う」または「やや思う」と答えたのは69%であった(図5)。

図2：検査に関する質問

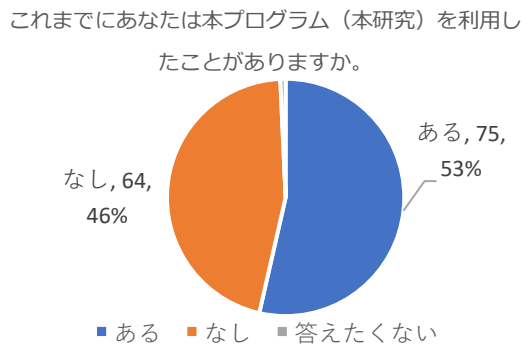


図3：本プログラム以外での検査歴

あなたは本プログラム(本研究)以外でHIVの血液検査を1度でも受けたことがありますか。

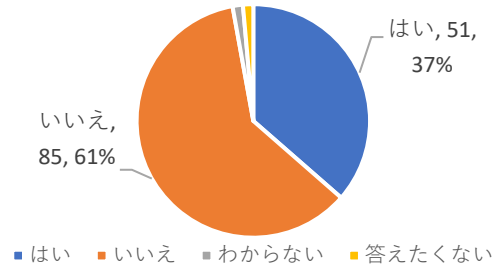


図4：直近の検査歴

あなたが本プログラム(本研究)以外でHIVの血液検査を直近で受けたのはいつ頃ですか。(前問で「はい」と回答した人の見お答えください。)

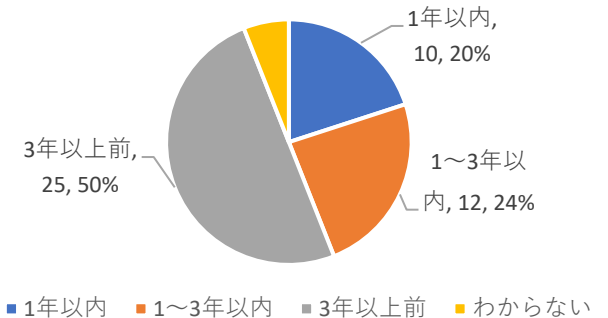
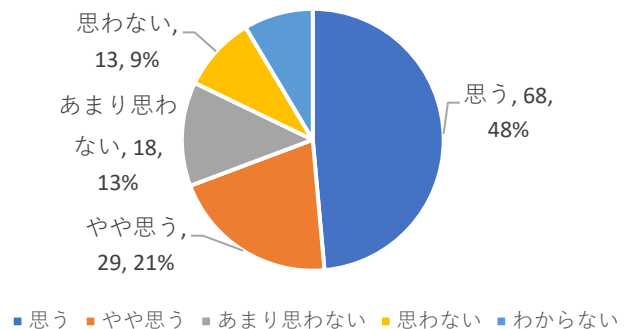


図5：職域健診時のHIV検査希望

会社の健診時にHIVの血液検査を実施してほしい(費用の負担は考慮しないでお答えください。)



結果告知サイト上ではHIVに関する知識についてアンケート調査を行った。以下の18問の事項はいずれも科学的に正しいものである。これらの事項について「知らなかった」と回答した割合を表した。(表3)

表3：HIVの知識に関する質問

HIVの知識	知らなかった	
1) HIVは、感染している人と握手をしても感染しない	0	0%
2) HIVは、感染している人と話をしても感染しない	0	0%
3) HIVは、感染している人と一緒に仕事をしても感染しない	1	1%
4) HIVは、感染している人と食器を共用しても感染しない	3	2%
5) HIVは、感染している人とキスをしても感染しない	30	21%
6) HIVは、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない	10	7%
7) HIVは、感染している人と無防備に性行為を行った場合、感染することがある	0	0%
8) HIVは、感染している人とカミソリやピアス、注射器などを共用した場合に感染することがある	0	0%
9) HIVは、感染している人の血液や精液、髄液に接触することで感染する	1	1%
10) HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる	2	1%
11) HIVは、適切に治療することにより他の人への感染を予防することができる	3	2%
12) HIVは、蚊によってうつされることはない	31	22%
13) HIVは、血液検査によって感染しているかどうか分かる	2	1%
14) 保健所では無料でHIV検査が受けられる	25	18%
15) HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない	14	10%
16) 健診などで異常がなくても、HIVに感染していることがある	12	9%
17) 特に自覚症状がなくても、HIVに感染していることがある	2	1%
18) 健康そうに見えても、HIVに感染していることがある	2	1%

「感染している人とキスをしても感染しない」「HIVは蚊によってうつされることはない」「保健所では無料でHIV検査が受けられる」以上3事項は、それぞれ21%・22%・18%の受検者が「知らなかった」と回答した。

#### D. 考察

令和2年度より始まった本研究は、職域における検査機会の提供を目的に、郵送検査キットを使用したHIV/梅毒検査提供を行ってきた。ちょうど新型コロナウイルス感染症の自己検査キットが販売された時期とも重なり、「医療機関以外で検査を実施する」ことの受検者の心的ハードルは下がってきていることが予想された。

本研究ではキットの申込者に対し、自己採血を行い検体を返送した率は60.7%だった。そして結果を確認した割合は返送した参加者のうち71.0%だった。つまり、実際にキットを取り寄せた参加者のうち、半数未満しか検査結果確認まで到達していない。

職域で郵送検査キットを用いた検査を行うのであれば、今後は健診時に医療従事者が採血した際に、一緒に検査を行うか、または残血を郵送検査キット用に使用してキット返送を行うなどして、いかに「使われないキット」を出さないようにするか、工夫が必要である。

HIVの知識に関する質問は、例年と同様「感染している人とキスをしても感染しない」「HIVは蚊によってうつされることはない」「保健所では無料でHIV検査が受けられる」の3項目が知らなかった知識として20%前後の参加者が挙げていた。新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変更になるのに合わせて、保健所検査も従来通りの検査体制に戻ってくることが予想される。HIV検査の機会を増やすためにも、これらの知識の啓発が望まれることが示唆された。

#### E. 結論

職域でのHIV/梅毒検査機会の提供を行った。郵送キット返送率は60.7%と低く、今後は使われないキットを減らす工夫が必要であることと、HIVの知

識に関する啓発が必要であることが示唆された。

#### F. 健康危険情報 なし

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

1. Kawatsu L, Kaneko N, Imahashi M, Kamada K, Uchimura K. Practices and attitudes towards tuberculosis and latent tuberculosis infection screening in people living with HIV/AIDS among HIV physicians in Japan. *AIDS Res Ther.* Dec 3 2022;19(1):60. doi:10.1186/s12981-022-00487-8
2. Kawatsu L, Uchimura K, Kaneko N, Imahashi M. Epidemiology of coinfection with tuberculosis and HIV in Japan, 2012–2020. *Western Pac Surveill Response J.* Jan-Mar 2022;13(1):1–8. doi:10.5365/psar.2022.13.1.896
3. Matsuoka K, Imahashi N, Ohno M, et al. SARS-CoV-2 accessory protein ORF8 is secreted extracellularly as a glycoprotein homodimer. *J Biol Chem.* Mar 2022; 298(3):101724. doi:10.1016/j.jbc.2022.101724
4. Mori M, Ode H, Kubota M, et al. Nanopore Sequencing for Characterization of HIV-1 Recombinant Forms. *Microbiol Spectr.* Aug 31 2022;10(4):e0150722. doi:10.1128/spectrum.01507-22
5. Ode H, Nakata Y, Nagashima M, et al. Molecular epidemiological features of SARS-CoV-2 in Japan, 2020–1. *Virus Evol.* 2022;8(1):veac034. doi:10.1093/ve/veac034
6. Shigemi U, Yamamura Y, Matsuda M, et al. Evaluation of the Geenius HIV 1/2 confirmatory assay for HIV-2 samples isolated in Japan. *J Clin Virol.* Jul 2022;152:105189. doi:10.1016/j.jcv.2022.105189

##### 2. 学会発表

1. Mayumi Imahashi, Teiichiro Shiino, Noriyo Kaneko, Yoshiyuki Yokomaku, and Chieko Hashiba. Geographic and risk vari

ation in transmission clusters of HIV testrecipients in Nagoya, Japan., IAS 2022, July 29-Aug 1, 2022, Montreal, Quebec, Canada

2. **今橋真弓** 「アンケート自由記載から読み取る検査を受ける側の本音」 【社会】シンポジウム2、第36回日本エイズ学会学術集会・総会. 2022年11月18日～20日（浜松）
3. **今橋真弓** 「PLWHと一緒に考える長時間作用型注射剤の位置づけ」【基礎・臨床】シンポジウム9、第36回日本エイズ学会学術集会・総会. 2022年11月18日～20日（浜松）
4. **今橋真弓** 「行政とコラボして進めるHIV検査体制～iTesting Channelの試み～」令和4年度北海道HIV/AIDS医療者研修会（WEB開催）2022年6月18日

H. 知的財産権の出願・登録状況  
（予定を含む。）

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他

## 研究成果の刊行に関する一覧

- 1) Yoshihiro Nakata, Hirotaka Ode, Mai Kubota, Takaaki Kasahara, Kazuhiro Matsuoka, Atsuko Sugimoto, Mayumi Imahashi, Yoshiyuki Yokomaku, Yasumasa Iwatani. Cellular APOBEC3A deaminase drives mutations in the SARS-CoV-2 genome. *Nucleic Acids Res*. 2023 Jan 25;51(2):783-795. doi: 10.1093/nar/gkac1238.
- 2) Mori M, Ode H, Kubota M, Nakata Y, Kasahara T, Shigemi U, Okazaki R, Matsuda M, Matsuoka K, Sugimoto A, Hachiya A, Imahashi M, Yokomaku Y, Iwatani Y. Nanopore Sequencing for Characterization of HIV-1 Recombinant Forms. *Microbiol Spectr*. 2022 Aug 31;10(4):e0150722. doi: 10.1128/spectrum.01507-22. Epub 2022 Jul 27. PMID: 35894615; PMCID: PMC9431566.
- 3) Hirotaka Ode, Yoshihiro Nakata, Mami Nagashima, Masaki Hayashi, Takako Yamazaki, Hiroyuki Asakura, Jun Suzuki, Mai Kubota, Kazuhiro Matsuoka, Masakazu Matsuda, Mikiko Mori, Atsuko Sugimoto, Mayumi Imahashi, Yoshiyuki Yokomaku, Kenji Sadamasu, Yasumasa Iwatani. Molecular epidemiological features of SARS-CoV-2 in Japan, 2020-1. *Virus Evol*. 2022;8(1):veac034. doi:10.1093/ve/veac034. eCollection 2022.
- 4) Shigemi U, Yamamura Y, Matsuda M, Okazaki R, Kubota M, Ibe S, Nemoto M, Maejima-Kitagawa M, Sukegawa S, Imahashi M, Kikuchi T, Sugiura W, Iwatani Y, Hachiya A, Yokomaku Y; Japanese Drug Resistance HIV-1 Surveillance Network. Evaluation of the Geenius HIV 1/2 confirmatory assay for HIV-2 samples isolated in Japan. *J Clin Virol*. 2022 Jul;152:105189. doi: 10.1016/j.jcv.2022.105189. Epub 2022 May 21. PMID: 35640401.
- 5) 生島嗣. HIV/AIDSの予防とケアに係るNGOのあり方. *医学のあゆみ*. 284(9): 769-774, 2023.
- 6) 生島嗣. HIVの新たな予防方法PrEPの登場と様々な動き. *季刊セクシュアリティ*. 107: 96-103, 2022.
- 7) Kawatsu L, Kaneko N, Imahashi M, Kamada K, Uchimura K. Practices and attitudes towards tuberculosis and latent tuberculosis infection screening in people living with HIV/AIDS among HIV physicians in Japan. *AIDS Res Ther*. Dec 3 2022;19(1):60. doi:10.1186/s12981-022-00487-8
- 8) Kawatsu L, Uchimura K, Kaneko N, Imahashi M. Epidemiology of coinfection with tuberculosis and HIV in Japan, 2012-2020. *Western Pac Surveill Response J*. Jan-Mar 2022;13(1):1-8. doi:10.5365/wpsar.2022.13.1.896
- 9) Matsuoka K, Imahashi N, Ohno M, et al. SARS-CoV-2 accessory protein ORF8 is secreted extracellularly as a glycoprotein homodimer. *J Biol Chem*. Mar 2022;298(3):101724. doi:10.1016/j.jbc.2022.101724
- 10) Mori M, Ode H, Kubota M, et al. Nanopore Sequencing for Characterization of HIV-1 Recombinant Forms. *Microbiol Spectr*. Aug 31 2022;10(4):e0150722. doi:10.1128/spectrum.01507-22
- 11) Ode H, Nakata Y, Nagashima M, et al. Molecular epidemiological features of SARS-CoV-2 in Japan, 2020-1. *Virus Evol*. 2022;8(1):veac034. doi:10.1093/ve/veac034
- 12) Shigemi U, Yamamura Y, Matsuda M, et al. Evaluation of the Geenius HIV 1/2 confirmatory assay for HIV-2 samples isolated in Japan. *J Clin Virol*. Jul 2022;152:105189. doi:10.1016/j.jcv.2022.105189



「厚生労働科学研究費における倫理審査及び利益相反の管理の状況に関する報告について  
(平成26年4月14日科発0414第5号)」の別紙に定める様式(参考)

令和5年 2月 14日

厚生労働大臣  
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿  
(国立保健医療科学院長)

機関名 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター

所属研究機関長 職 名 院長

氏 名 長谷川 好規

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 エイズ対策政策研究事業
2. 研究課題名 職域での健診機会を利用した検査機会拡大のための新たな HIV 検査体制の構築に向けた研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 感染症内科・エイズ総合診療部長  
(氏名・フリガナ) 横幕能行・ヨコマクヨシユキ

## 4. 倫理審査の状況

	該当性の有		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	無 有	無 有	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	名古屋医療センター	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること(指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

## 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況 受講  未受講 

## 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 国立保健医療科学院

所属研究機関長 職名 院長

氏名 曾根 智史

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 エイズ対策政策研究事業
2. 研究課題名 職域での健診機会を利用した検査機会拡大のための新たなHIV検査体制の構築に向けた研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 統括研究官・統括研究官  
(氏名・フリガナ) 高橋 秀人・タカハシ ヒデト

## 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	国立病院機構名古屋医療センター研究倫理審査委員会	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

## 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

## 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

「厚生労働科学研究費における倫理審査及び利益相反の管理の状況に関する報告について  
(平成26年4月14日科発0414第5号)」の別紙に定める様式(参考)

令和5年 2月 14日

厚生労働大臣  
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿  
(国立保健医療科学院長)

機関名 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター

所属研究機関長 職 名 院長

氏 名 長谷川 好規

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 エイズ対策政策研究事業
- 研究課題名 職域での健診機会を利用した検査機会拡大のための新たな HIV 検査体制の構築に向けた研究
- 研究者名 (所属部署・職名) 臨床研究センター 免疫不全研究室・客員研究員  
(氏名・フリガナ) 増田将史・マスダマサシ

## 4. 倫理審査の状況

	該当性の有		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	無 有	無 有	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	名古屋医療センター	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

## 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況 受講  未受講 

## 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

「厚生労働科学研究費における倫理審査及び利益相反の管理の状況に関する報告について  
(平成26年4月14日科発0414第5号)」の別紙に定める様式(参考)

令和5年3月31日

厚生労働大臣  
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿  
(国立保健医療科学院長)

機関名 特定非営利活動法人  
ぶれいす東京

所属研究機関長 職名 代表

氏名 生島 嗣

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 エイズ対策政策研究事業
2. 研究課題名 職域での健診機会を利用した検査機会拡大のための新たな HIV 検査体制の構築に向けた研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 研究・研修部門・代表  
(氏名・フリガナ) 生島 嗣 (イクシマ ユズル)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。  
(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

「厚生労働科学研究費における倫理審査及び利益相反の管理の状況に関する報告について  
(平成26年4月14日科発0414第5号)」の別紙に定める様式(参考)

令和5年 2月 7日

厚生労働大臣  
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿  
(国立保健医療科学院長)

機関名 産業医科大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 尾辻 豊

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 エイズ対策政策研究事業
2. 研究課題名 職域での健診機会を利用した検査機会拡大のための新たな HIV 検査体制の構築に向けた研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 産業生態科学研究所・准教授  
(氏名・フリガナ) 石丸 知宏・イシマル トモヒロ

## 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	国立病院機構名古屋医療センター研究倫理審査委員会	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

## その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

## 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況 受講  未受講

## 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

「厚生労働科学研究費における倫理審査及び利益相反の管理の状況に関する報告について  
(平成26年4月14日科発0414第5号)」の別紙に定める様式(参考)

令和5年 2月 14日

厚生労働大臣  
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿  
(国立保健医療科学院長)

機関名 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター

所属研究機関長 職 名 院長

氏 名 長谷川 好規

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 エイズ対策政策研究事業
- 研究課題名 職域での健診機会を利用した検査機会拡大のための新たな HIV 検査体制の構築に向けた研究
- 研究者名 (所属部署・職名) 臨床研究センター 感染・免疫研究部 ・ 感染症研究室長  
(氏名・フリガナ) 今橋真弓・イマハシマユミ

## 4. 倫理審査の状況

	該当性の有		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	無 有	無 有	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	名古屋医療センター	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

## 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況 受講  未受講 

## 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。